

StorageTek Tape Analytics

データリファレンスガイド

バージョン 2.1.0

E60888-01

2015 年 1 月

StorageTek Tape Analytics
データリファレンスガイド

E60888-01

Copyright © 2012, 2015, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

このソフトウェアおよび関連ドキュメントの使用と開示は、ライセンス契約の制約条件に従うものとし、知的財産に関する法律により保護されています。ライセンス契約で明示的に許諾されている場合もしくは法律によって認められている場合を除き、形式、手段に関係なく、いかなる部分も使用、複写、複製、翻訳、放送、修正、ライセンス供与、送信、配布、発表、実行、公開または表示することはできません。このソフトウェアのリバース・エンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイルは互換性のために法律によって規定されている場合を除き、禁止されています。

ここに記載された情報は予告なしに変更される場合があります。また、誤りが無いことの保証はいたしかねます。誤りを見つけた場合は、オラクルまでご連絡ください。

このソフトウェアまたは関連ドキュメントを、米国政府機関もしくは米国政府機関に代わってこのソフトウェアまたは関連ドキュメントをライセンスされた者に提供する場合は、次の通知が適用されます。

U.S. GOVERNMENT END USERS: Oracle programs, including any operating system, integrated software, any programs installed on the hardware, and/or documentation, delivered to U.S. Government end users are "commercial computer software" pursuant to the applicable Federal Acquisition Regulation and agency-specific supplemental regulations. As such, use, duplication, disclosure, modification, and adaptation of the programs, including any operating system, integrated software, any programs installed on the hardware, and/or documentation, shall be subject to license terms and license restrictions applicable to the programs. No other rights are granted to the U.S. Government.

このソフトウェアまたはハードウェアは様々な情報管理アプリケーションでの一般的な使用のために開発されたものです。このソフトウェアまたはハードウェアは、危険が伴うアプリケーション (人的傷害を発生させる可能性があるアプリケーションを含む) への用途を目的として開発されていません。このソフトウェアまたはハードウェアを危険が伴うアプリケーションで使用する際、安全に使用するために、適切な安全装置、バックアップ、冗長性 (redundancy)、その他の対策を講じることは使用者の責任となります。このソフトウェアまたはハードウェアを危険が伴うアプリケーションで使用したこと起因して損害が発生しても、Oracle Corporation およびその関連会社は一切の責任を負いかねます。

Oracle および Java はオラクルおよびその関連会社の登録商標です。その他の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。

Intel, Intel Xeon は、Intel Corporation の商標または登録商標です。すべての SPARC の商標はライセンスをもとに使用し、SPARC International, Inc. の商標または登録商標です。AMD, Opteron, AMD ロゴ、AMD Opteron ロゴは、Advanced Micro Devices, Inc. の商標または登録商標です。UNIX は、The Open Group の登録商標です。

このソフトウェアまたはハードウェア、そしてドキュメントは、第三者のコンテンツ、製品、サービスへのアクセス、あるいはそれらに関する情報を提供することがあります。適用されるお客様と Oracle Corporation との間の契約に別段の定めがある場合を除いて、Oracle Corporation およびその関連会社は、第三者のコンテンツ、製品、サービスに関して一切の責任を負わず、いかなる保証もいたしません。適用されるお客様と Oracle Corporation との間の契約に定めがある場合を除いて、Oracle Corporation およびその関連会社は、第三者のコンテンツ、製品、サービスへのアクセスまたは使用によって損失、費用、あるいは損害が発生しても一切の責任を負いかねます。

目次

はじめに	11
対象読者	11
ドキュメントのアクセシビリティ	11
関連ドキュメント	11
STA アプリケーションのユーザー向け	11
STA サーバーおよびアプリケーションのインストール担当者および管理者向け	12
表記規則	12
新機能	13
STA 2.1.0、2015 年 1 月	13
1. 属性の相互参照	17
2. 属性の定義	35
2.1. 記号	35
2.2. A	35
2.3. B	45
2.4. C	45
2.5. D	48
2.6. E	58
2.7. F	62
2.8. H	62
2.9. I	62
2.10. L	63
2.11. M	67
2.12. MV	80
2.13. N	86
2.14. P	86

2.15. R	89
2.16. S	92
2.17. T	93
2.18. U	94
2.19. W	94
3. 「Complexes Overview」 画面	95
3.1. 「Complexes Overview」詳細ビュー	96
3.2. タイトル	96
3.3. Library Complex	96
3.4. Library Complex Activity Counts (Last 30 days)	97
3.5. Library Complex Auxiliary Counts	97
3.6. User-Provided Information	98
4. 「Libraries Overview」 画面	99
4.1. 「Libraries Overview」詳細ビュー	100
4.2. タイトル	100
4.3. Library	101
4.4. Library Activity Counts (Last 30 days)	101
4.5. Library Auxiliary Counts	102
4.6. User-Provided Information	102
5. 「Drives Overview」 および 「Drives Analysis」 画面	103
5.1. 「Drives Overview」詳細ビュー	104
5.2. タイトル	107
5.3. Drive	107
5.4. Media	108
5.5. Most Recent Exchange	108
5.6. Drive Activity Counts (Last 30 Days)	109
5.7. Additional Exchange Information for Enterprise Drives	110
5.8. Additional Exchange Information for LTO Drives	110
5.9. Drive Location	111

5.10. Library Complex	111
5.11. Media Validation Information for Enterprise Drives	111
5.12. User-Provided Information	112
6. 「Media Overview」 および 「Media Analysis」 画面	113
6.1. 「Media Overview」詳細ビュー	114
6.2. タイトル	117
6.3. Media Details	117
6.4. Most Recent Exchange	118
6.5. Media Data Activity Counts (Last 30 Days)	118
6.6. Current Home Media Location	119
6.7. Drive	119
6.8. Additional Exchange Information for Enterprise Media	119
6.9. Additional Exchange Information for LTO Media	120
6.10. Library Complex	121
6.11. Cleaning Usage	121
6.12. User-Provided Information	121
6.13. Media Validation Information for Enterprise Media	121
6.14. Calibration Information for Enterprise Media	121
7. 「Robots Overview」 画面	123
7.1. 「Robots Overview」詳細ビュー	123
7.2. タイトル	123
7.3. Robot	124
7.4. Robot Activity Counts (Last 30 Days)	124
7.5. User-Provided Information	124
7.6. Library Complex	124
8. 「CAPs Overview」 画面	127
8.1. 「CAPs Overview」詳細ビュー	127
8.2. タイトル	127
8.3. CAP	128

8.4. CAP Activity Counts (Last 30 Days)	128
8.5. User-Provided Information	128
8.6. Library Complex	128
9. 「PTPs Overview」 画面	129
9.1. 「PTPs Overview」詳細ビュー	129
9.2. タイトル	129
9.3. PTP	130
9.4. PTP Activity Counts (Last 30 Days)	130
9.5. User-Provided Information	130
9.6. Library Complex	130
10. 「Elevators Overview」 画面	131
10.1. 「Elevators Overview」詳細ビュー	131
10.2. タイトル	131
10.3. Elevator	132
10.4. Elevator Activity Counts (Last 30 Days)	132
10.5. User-Provided Information	132
10.6. Library Complex	132
11. 「Alerts」 画面	133
11.1. 「Alerts Overview」詳細ビュー	133
11.2. Alert Details	133
11.3. Other Details	134
11.4. Alert Location Information	134
11.5. User-Provided Information	134
12. 「Exchanges Overview」 画面	135
12.1. 「Exchanges Overview」詳細ビュー	136
12.2. タイトル	141
12.3. Exchange Health and Activity	141
12.4. Drive	142

12.5. Media	143
12.6. Library Complex	143
12.7. Enterprise Specific Information	143
12.8. Additional Enterprise Exchange Information	144
12.9. LTO Specific Information	145
12.10. Drive Bay Location	145
12.11. Media Source Location	145
12.12. Media Destination Location	146
12.13. Enterprise Exchange Alerts – Severe	146
12.14. Enterprise Exchange Alerts – Warning	147
12.15. Enterprise Exchange Alerts – Informational	147
12.16. LTO Exchange Alerts – Severe	147
12.17. LTO Exchange Alerts – Warning	148
12.18. LTO Exchange Alerts – Informational	149
12.19. User-Provided Information	149
13. 「Drive Cleanings Overview」画面	151
13.1. 「Drive Cleanings Overview」詳細ビュー	152
13.2. タイトル	152
13.3. Drive	152
13.4. Cleaning Activity	153
13.5. Library	153
13.6. User-Provided Information	153
14. 「Media Validation Overview」画面	155
14.1. 「Media Validation Overview」リストビュー	155
14.2. 「Media Validation」属性の定義	155
15. 「Messages」画面	157
15.1. 「All Messages Overview」詳細ビュー	158
15.2. タイトル	158
15.3. Trap Details	158

- 15.4. Drive Trap Details 158
- 15.5. Library Trap Details 159
- 15.6. Library 159
- 15.7. Library Configuration Details 159
- 15.8. User-Provided Information 160

表の一覧

1.1. STA 属性の相互参照	17
------------------------	----

はじめに

このドキュメントでは、Oracle の StorageTek Tape Analytics (STA) で表示されるデータの使用および解釈に関する情報を提供します。STA に表示される、ライブラリ、ドライブ、およびメディアの全データフィールドの定義が記載されています。また、STA のすべてのツールバーおよびデータ入力フィールドに関する参照情報も提供されています。

対象読者

このドキュメントは、STA の新規ユーザーおよび経験豊富なユーザーを対象としています。

ドキュメントのアクセシビリティ

オラクルのアクセシビリティについての詳細情報は、Oracle Accessibility Program の Web サイト (<http://www.oracle.com/pls/topic/lookup?ctx=acc&id=docacc>) を参照してください。

Oracle Support へのアクセス

サポートをご契約のお客様には、My Oracle Support を通して電子支援サービスを提供しています。詳細情報は (<http://www.oracle.com/pls/topic/lookup?ctx=acc&id=info>) か、聴覚に障害のあるお客様は (<http://www.oracle.com/pls/topic/lookup?ctx=acc&id=trs>) を参照してください。

関連ドキュメント

STA のドキュメントセットは、次のドキュメントで構成されています。

STA アプリケーションのユーザー向け

- 『STA クイックスタートガイド』 — このガイドは、STA アプリケーションおよびユーザーインタフェースのいくつかの機能について概要を知るときに使用します。
- 『STA ユーザーズガイド』 — このガイドは、STA アプリケーションのすべての機能 (ダッシュボード、テンプレート、フィルタ、アラート、Executive Reports、論理グループ、STA メディア検証など) を使用する手順について使用します。このガイドでは、STA のユーザー名、電子メールアドレス、サービスログ、およびモニター対象ライブラリとの SNMP 接続を管理する手順も説明されています。
- 『STA 画面基本ガイド』 — このガイドは、STA ユーザーインタフェースの詳細について使用します。画面の移動およびレイアウト、グラフおよび表の使用について説明します。

- 『STA データリファレンスガイド』 — このガイドは、すべての STA テープライブラリシステムの画面およびデータ属性についての定義を参照するときに使用します。

STA サーバーおよびアプリケーションのインストール担当者および管理者向け

- 『STA リリースノート』 — STA のインストールおよび使用前に、このドキュメントをお読みください。既知の問題など、リリースに関する重要な情報が記載されています。このドキュメントは、STA メディアパックダウンロードに含まれています。
- 『STA 要件ガイド』 — このガイドは、STA の使用について最小および推奨要件を学習するときに使用します。このガイドには、ライブラリ、ドライブ、サーバー、ユーザーインターフェース、STA メディア検証、および IBM RACF アクセス制御の要件が含まれています。
- 『STA インストールおよび構成ガイド』 — このガイドは、STA のインストールの計画、Linux オペレーティングシステムのインストール、STA アプリケーションのインストール、そしてライブラリのモニタリングを開始するための STA の構成を行うときに使用します。このガイドでは、STA の新しいバージョンにアップグレードする手順も説明されています。
- 『STA 管理ガイド』 — このガイドは、STA サービス構成、データベースのバックアップおよび復元、データベースアカウントのパスワード管理など、STA サーバーの管理タスクの情報について使用します。
- 『STA セキュリティーガイド』 — 要件、推奨事項、一般的なセキュリティー原則といった重要な STA のセキュリティー情報については、このドキュメントをお読みください。
- 『STA ライセンス情報ユーザーマニュアル』 — STA 製品とともに配布されるサードパーティーのテクノロジーの使用については、このドキュメントをお読みください。

表記規則

このドキュメントでは、次のテキスト表記規則を使用しています。

表記規則	意味
boldface	太字は、アクションに関連付けられたグラフィカルユーザーインターフェースの要素、またはテキストや用語集で定義される用語を示します。
<i>italic</i>	斜体は、マニュアルタイトル、強調、または特定の値を指定するプレースホルダ変数を示します。
<code>monospace</code>	モノスペースは、段落内のコマンド、URL、例のコード、画面に表示されるテキスト、またはユーザーが入力するテキストを示します。

新機能

このセクションでは、StorageTek Tape Analytics 2.1.0 の新機能および拡張機能の概要について説明します。

STA 2.1.0、2015 年 1 月

新機能および拡張機能の詳細については、指定されたマニュアルを参照してください。

『STA 要件ガイド』の記載内容

- STA 2.1.0 をサポートするための、ライブラリおよびドライブの新しい推奨ファームウェアレベル。
- Oracle の StorageTek T10000C および T10000D ドライブ用の TTI 5.50 プロトコルのサポート。
- STA 2.1.0 をサポートするための、ライブラリおよびドライブの更新された推奨要件。
- 更新された推奨 STA サーバー構成。

『STA インストールおよび構成ガイド』の記載内容

- 次の新機能を提供する、新しい STA 2.1.0 インストーラおよびデインストーラ。
 - Oracle インストールユーザーおよびグループ — STA サーバーで Oracle 製品のインストールとアップグレードを行うためだけに使用される Linux ユーザーおよびグループ。
 - ユーザー定義の Oracle ストレージホームの場所 — STA アプリケーションおよび関連する Oracle ソフトウェアを十分な容量のある任意のファイルシステムにインストールできます。
 - ユーザー定義のデータベースおよびローカルのバックアップ場所。
 - Oracle セントラルインベントリの場所 — STA サーバーにインストールされた Oracle 製品についての情報を追跡するためのディレクトリ。
 - STA インストーラおよびデインストーラのサイレントモード — グラフィカルユーザーインタフェースを省略し、XML プロパティファイルでインストールオプションを指定できます。
 - 新しい詳細な STA インストーラおよびデインストーラのログ。
 - すべての STA グラフィカルインストーラおよびデインストーラの画面用の状況依存ヘルプ。

- 追加の Linux RPM パッケージ要件 — STA グラフィカルインストーラを実行するには、*xorg-x11-utils* パッケージをインストールする必要があります。
- WebLogic 管理コンソールのデフォルトポートは、7019 (HTTP) および 7020 (HTTPS) に変更されました。以前のデフォルトの割り当てを使用していた場合には、新しいものに変更します。
- STA および MySQL ユーザー名の新しいパスワード要件。
- STA 1.0.x および STA 2.0.x データベースを STA 2.1.0 にアップグレードする新しいプロセス。

『STA クイックスタートガイド』の記載内容

- 大きな変更なし

『STA ユーザーズガイド』の記載内容

- 追加情報の提供および使いやすさ向上のため、次のテンプレートに細かい更新が加えられました。
 - STA-Complex-Configuration
 - STA-Complex-Utilization
 - STA-Lib-Configuration
 - STA-Drive-MV
 - STA-Media-All
 - STA-Media-MV-Calibration
 - 「Media Validation Overview」画面、STA-Default テンプレート
- ドキュメントの変更 — 次の章が『STA 管理ガイド』から移動されました。『STA ユーザーズガイド』には、STA ユーザーインタフェースから実行できるすべての機能とアクティビティが記載されるようになりました。
 - STA ユーザー名と電子メール
 - STA サービスログ
 - STA での SNMP 接続の管理

『STA 画面基本ガイド』の記載内容

- 大きな変更なし

『STA データリファレンスガイド』の記載内容

- 使いやすさ向上のため、一部の画面で属性が再編成されました。

- CAP、ドライブ、エレベータ、ライブラリ、PTP、およびロボットのそれぞれの画面で「Last Messages」属性を使用できます。

『STA 管理ガイド』の記載内容

- ドキュメントの変更 — 次の章が『STA ユーザーズガイド』に移動されました。
 - ユーザーと電子メール
 - ログイン
 - SNMP 管理

属性の相互参照

表1.1「STA 属性の相互参照」では、STA のすべての属性をアルファベット順に一覧表示し、各属性が表示される画面を示します。属性の定義を表示するには、表のセルにあるリンクをクリックします。

各画面は、次のように略されています。

- Cmpx – 3章「[Complexes Overview](#)」画面
- Library – 4章「[Libraries Overview](#)」画面
- Drive – 5章「[Drives Overview](#)」および「[Drives Analysis](#)」画面
- Media – 6章「[Media Overview](#)」および「[Media Analysis](#)」画面
- Lib Comp – 「Library Components」タブ上にある次の画面のいずれか:
 - 7章「[Robots Overview](#)」画面
 - 8章「[CAPs Overview](#)」画面
 - 9章「[PTPs Overview](#)」画面
 - 10章「[Elevators Overview](#)」画面
- Alerts – 11章「[Alerts](#)」画面
- Exch – 12章「[Exchanges Overview](#)」画面
- Clean – 13章「[Drive Cleanings Overview](#)」画面
- Media Valid – 14章「[Media Validation Overview](#)」画面
- Msgs – 15章「[Messages](#)」画面

表1.1 STA 属性の相互参照

属性	Cmpx	Lib	Drive	Media	Lib Comp	Alerts	Exch	Clean	Media Valid	Msgs
% Drive Utilization	X	X	X							
Agent Boot Date/Time										X
Alert Event Type						X				
Alert Policy Name						X				

属性	Cmpx Lib	Drive	Media Lib	Alerts	Exch	Clean	Media	Msgs
			Comp				Valid	
Alert Policy Type				X				
Alert Reason				X				
Alert Severity				X				
Alert State				X				
Alert: Cleaning Media					X			
Alert: Drive Automated Interface					X			
Alert: Drive Clean Now					X			
Alert: Drive Clean Periodic Requested					X			
Alert: Drive Cooling Fan					X			
Alert: Drive Diagnostics Required		X			X			
Alert: Drive Dual-Port Interface					X			
Alert: Drive Dump Available					X			
Alert: Drive Event Log Near Full					X			
Alert: Drive Failure Predicted					X			
Alert: Drive FW Download					X			
Alert: Drive FW Failure					X			
Alert: Drive Hard Error					X			
Alert: Drive Hardware A					X			
Alert: Drive Hardware B					X			
Alert: Drive Interface Fault					X			
Alert: Drive Load Limit		X			X			

属性	Cmpx Lib	Drive	Media Lib Comp	Alerts	Exch	Clean	Media Valid	Msgs
Alert: Drive Model Incompatible					X			
Alert: Drive Temperature					X			
Alert: Drive Voltage					X			
Alert: Forced Eject Attempted					X			
Alert: Invalid Cleaning					X			
Alert: Media Cart Memory Failure			X		X			
Alert: Media Clean Expired					X	X		
Alert: Media Diminished Capacity					X			
Alert: Media Directory Corrupt			X		X			
Alert: Media Directory Invalid					X			
Alert: Media Eject Failed					X			
Alert: Media End of Warranty					X			
Alert: Media Error					X			
Alert: Media Life Exceeded					X			
Alert: Media Load Failure					X			
Alert: Media Load Limit			X		X			
Alert: Media Lost Statistics					X			
Alert: Media Maintenance					X			
Alert: Media Nearing End of Life			X		X			

属性	Cmpx Lib	Drive	Media Lib Comp	Alerts	Exch	Clean	Media Valid	Msgs
Alert: Media No Start of Data					X			
Alert: Media Not Data Grade					X			
Alert: Media Recoverable Mechanical					X			
Alert: Media RFID Warning					X			
Alert: Media System Read Failure					X			
Alert: Media System Write Failure					X			
Alert: Media Unrecoverable Mechanical					X			
Alert: Media Unrecoverable Snapped					X			
Alert: MIR Invalid					X			
Alert: Permanent Error					X			
Alert: Read Failure					X			
Alert: Read Only					X			
Alert: Read Warning					X			
Alert: Unload Prevented					X			
Alert: Unrecoverable Unload					X			
Alert: Unsupported Format					X			
Alert: WORM Integrity Failure					X			
Alert: WORM Overwrite Attempted					X			
Alert: Write Failure					X			

属性	Cmpx	Lib	Drive	Media	Lib Comp	Alerts	Exch	Clean	Media Valid	Msgs
Alert: Write Protect							X			
Alert: Write Warning							X			
Annotation History	X	X	X	X	X	X	X	X		X
Avg Mount R/W MB			X							
Avg Mount R/W MB/sec			X	X						
Avg Mount Read MB			X							
Avg Mount Read MB/sec			X	X						
Avg Mount Write MB			X							
Avg Mount Write MB/sec			X	X						
Base Model	X									
CAP					X					
CAP Accessibility					X					
CAP Alert Count					X					
CAP Count	X	X								
CAP Ejects	X	X			X					
CAP Enters	X	X			X					
CAP Identifier					X					
CAP Physical Address					X					
CAP SNMP Traps					X					
CAP State					X					
Clean Volume Serial Number								X		
Cleaning Media			X	X			X			
Cleans			X							
Complex Physical Library Count	X									
Component ID						X				

属性	Cmpx	Lib	Drive	Media Lib Comp	Alerts	Exch	Clean	Media Valid	Msgs
Cumulative Library Uptime		X							
Current Cleaning Uses						X	X		
Data Compression Ratio			X	X		X			
Date Created/Updated					X				
Device Activity									X
Device Address									X
Device ID									X
Device Serial Number									X
Device State									X
Device Time									X
Dismounts	X	X							
Dismounts With Errors			X	X					
Drive			X						
Drive Alert Count			X						
Drive Bays Installed	X	X							
Drive Bays Occupied	X	X							
Drive Bays Unoccupied	X	X							
Drive Cleans	X	X							
Drive Dismounts			X						
Drive Exchange Status			X			X	X		
Drive Firmware Version			X			X			
Drive Health			X	X		X	X		
Drive Health Trend			X			X			
Drive HLI Address			X			X			
Drive Interface			X						
Drive Library Name			X			X			
Drive Library Number			X			X			

属性	Cmpx Lib	Drive	Media Lib	Comp	Alerts	Exch	Clean	Media Valid	Msgs
Drive Library Serial Number		X				X			
Drive Lifetime Cleans		X				X	X		
Drive Lifetime Hours in Motion		X				X			
Drive Lifetime Loads		X				X	X		
Drive Lifetime Meters		X				X	X		
Drive Lifetime Meters of Head Contact						X			
Drive Lifetime Meters Positioning						X			
Drive Lifetime Power Hours		X				X			
Drive Manufacturer		X							
Drive Model		X				X		X	
Drive Physical Address		X				X			
Drive Properties Updated		X							
Drive Rail Number		X				X			
Drive SCSI Element ID		X				X			
Drive Serial Number		X	X		X	X	X	X	X
Drive SNMP Trap Count		X							
Drive Start Tracking						X	X		
Drive Stop Tracking						X	X		
Drive Suspicion Level		X				X			
Drive Tray Serial Number		X				X			
Drive Type		X	X			X	X		X
Drive Vendor									X
Drive WWNN		X	X			X	X		
Drive WWPN (Port A)		X					X		

属性	Cmpx	Lib	Drive	Media	Lib Comp	Alerts	Exch	Clean	Media	Msgs
									Valid	
Drive WWPN (Port B)			X					X		
Duplicate Detected				X			X			
Elevator					X					
Elevator Alert Count					X					
Elevator Count	X	X								
Elevator Identifier					X					
Elevator Physical Address					X					
Elevator Power LED State					X					
Elevator SNMP Traps					X					
Elevator State					X					
Encryption Capable			X							
Exchange Drive Cleaning Required			X	X			X	X		
Exchange DSC			X	X			X		X	
Exchange Elapsed Time			X	X			X	X		
Exchange Encryption Used			X	X			X			
Exchange End							X	X		
Exchange FSC			X	X			X	X	X	
Exchange Library Name				X						
Exchange Mount Time			X	X			X	X		
Exchange Read Margin			X	X						
Exchange Read Marginal			X	X			X			
Exchange Recording Technique			X	X			X		X	
Exchange Start			X				X	X	X	
Exchange Tape Alerts – Info			X	X			X			
Exchange Tape Alerts – Severe			X	X			X			

属性	Cmpx	Lib	Drive	Media	Lib Comp	Alerts	Exch	Clean	Media Valid	Msgs
Exchange Tape Alerts – Warning			X	X			X			
Exchange Write Efficiency			X	X						
Exchange Write Inefficient			X	X			X			
Formatted Density Code							X			
Host DB Sync Errors	X	X								
Host Request Timeouts	X	X								
HP Device Status			X				X			
HP Media Status				X			X			
IBM Drive Efficiency			X				X			
IBM Media Efficiency			X	X			X			
Interface Name										X
Last CAP Message					X					
Last Drive Message			X							
Last Elevator Message					X					
Last Exchange Start				X						
Last Library Message		X								X
Last PTP Message					X					
Last Robot Message					X					
Library		X								
Library Alert Count		X								
Library Complex	X									
Library Complex Alert Count	X									
Library Complex Name	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
Library Complex Number	X									X
Library Firmware Updated		X								
Library Firmware Version		X								

属性	Cmpx	Lib	Drive	Media	Lib Comp	Alerts	Exch	Clean	Media Valid	Msgs
Library IP address #1		X								
Library IP address #2		X								
Library Last Booted		X								
Library Model		X	X	X	X		X	X	X	X
Library Name		X			X	X		X		X
Library Number		X								
Library Scan Completed		X								
Library Serial Number		X			X	X		X		X
Library SNMP Traps		X								
Library WWNN		X						X		
Lifetime Hours Incompatible							X			
Logical Group(s)			X	X						
MB R/W	X	X	X	X						
MB Read	X	X	X	X						
MB Received	X	X	X	X						
MB Sent	X	X	X	X						
MB Write	X	X	X	X						
Media				X						
Media Alert Count				X						
Media Auxiliary Memory Capacity				X			X			
Media Blank				X			X			
Media Capacity Utilization				X						
Media Destination HLI Address							X			
Media Destination Library Number							X			

属性	Cmpx Lib	Drive	Media Lib Comp	Alerts	Exch	Clean	Media Msgs Valid
Media Destination Physical Address					X		
Media Destination Rail Number					X		
Media Destination SCSI Element ID					X		
Media Dismounts			X				
Media Ejected from Library			X				
Media Entered Library			X				
Media EOL Percentage			X				
Media Exchange Status			X		X	X	
Media Health		X	X		X	X	
Media Health Trend			X		X		
Media HLI Address			X				
Media Length in Meters			X		X		
Media Library Name			X				X
Media Library Number			X				
Media Library Serial Number			X				X
Media Life Indicator			X				
Media Long Type			X				
Media Manufacturer Date			X		X		
Media Manufacturer Serial Number		X	X		X		
Media MB Avail Post			X		X		
Media MB Avail Pre			X		X		
Media MB Capacity			X		X		
Media Physical Address			X				

属性	Cmpx	Lib	Drive	Media Lib Comp	Alerts	Exch	Clean	Media Msgs Valid
Media Rail Number				X				
Media Slot SCSI Element ID				X				
Media Slots Activated	X	X						
Media Slots Installed	X	X						
Media Slots Occupied	X	X						
Media Slots Unoccupied	X	X						
Media Source HLI Address						X		
Media Source Library Number						X		
Media Source Physical Address						X		
Media Source Rail Number						X		
Media Source SCSI Element ID						X		
Media Start Tracking						X		
Media Stop Tracking						X		
Media Suspicion Level				X		X		
Media Type				X		X		X
Media Write Efficiency				X		X		
Meters Between 2 Most Recent Cleans			X				X	
Meters since Last Clean			X					
Monitored since	X	X	X	X	X			
Mount R/W MB						X		
Mount R/W MB/sec			X	X		X		
Mount Read MB						X		

属性	Cmpx Lib	Drive	Media Lib Comp	Alerts	Exch	Clean	Media Valid	Msgs
Mount Read MB/sec					X			
Mount Received MB					X			
Mount Sent MB					X			
Mount Write MB					X			
Mount Write MB/sec					X			
MV Calibration Attempts		X						
MV Calibration Current State			X					
MV Calibration Drive SN			X					
MV Calibration Drive Type			X					
MV Calibration Information		X						
MV Calibration Initial DQI			X					
MV Calibration Initial Suspicion			X					
MV Calibration Last DQI			X					
MV Calibration Library Complex			X					
MV Calibration Library Model			X					
MV Calibration Library SN			X					
MV Calibration Number of Wraps			X					
MV Calibration Request							X	
MV Calibration Starting Suspicion		X						
MV Calibration State		X						

属性	Cmpx Lib	Drive	Media Lib Comp	Alerts Exch	Clean	Media Msgs Valid
MV Calibration Status Information			X			
MV Count			X			
MV Days Since Last Validation			X			
MV DQI			X			X
MV Drive Allocated		X				
MV Drive Available		X				X
MV Drive Capable		X				
MV Drive In Use		X				X
MV Drive Last Calibrated		X				
MV Drive Reserved		X				
MV Estimated Time Remaining						X
MV Incomplete						X
MV Initiator						X
MV Interrupted						X
MV Last Activity		X	X			
MV Last Calibration Date			X			
MV Last Calibration DQI		X				
MV Last Qualification Start		X				
MV Last Recommendation		X	X			
MV Last Recording Technique			X			
MV Last State Update						X
MV Last Test Type			X			
MV Library Error						X
MV MB Tape Used			X			

属性	Cmpx	Lib	Drive	Media Lib Comp	Alerts	Exch	Clean	Media Valid	Msgs
MV Policy Name								X	
MV Pool End Date				X					
MV Pool Start Date				X					
MV Primary Calibration Media				X					
MV Primary Qualification Start			X						
MV Priority Order								X	
MV Recommendation								X	
MV Request Start								X	
MV Request State								X	
MV Result								X	
MV Secondary Qualification Start			X						
MV Status Information								X	
MV Test Percentage						X		X	
MV Test Type						X		X	
MV Time Spent Validating								X	
New Property Effective									X
New Property Value									X
Partition Name			X	X		X			
Partition Number			X	X		X			
Partition Type			X	X		X			
Partitions	X	X							
Perm Read Errors						X			
Perm Write Errors						X			
Permanent Error				X		X		X	
Port Speed (Port A)			X						

属性	Cmpx	Lib	Drive	Media	Lib Comp	Alerts	Exch	Clean	Media Valid	Msgs
Port Speed (Port B)			X							
Property Name										X
PTP					X					
PTP Alert Count					X					
PTP Count	X	X								
PTP Ejects	X	X								
PTP Enters	X	X								
PTP Identifier					X					
PTP Physical Address					X					
PTP Power LED State					X					
PTP SNMP Traps					X					
PTP State					X					
R/W MB/sec			X	X			X			
R/W Mount Ratio			X	X			X			
Read Margin							X			
Read MB/sec			X	X			X			
Read Mount Ratio			X	X			X			
Received on										X
Recorded on							X	X		
Repositioning Cycles							X			
Repositioning Cycles Non ERP							X			
Request ID										X
Result Code										X
Robot					X					
Robot Alert Count					X					
Robot Count	X	X								
Robot Get Retries					X					

属性	Cmpx	Lib	Drive	Media	Lib Comp	Alerts	Exch	Clean	Media Valid	Msgs
Robot Get Totals					X					
Robot Health					X					
Robot Identifier					X					
Robot Physical Address					X					
Robot Power LED State					X					
Robot Put Retries					X					
Robot Put Totals					X					
Robot SNMP Traps					X					
Robot State					X					
RQI							X			
Severity										X
Servo Perm Errors							X			
SNMP Trap										X
STA Start Tracking			X	X						
STA Stop Tracking			X	X						
STA Supported				X						
Text										X
Theoretical Maximum Usage Count								X		
Time Spent Loaded							X			
Time Spent R/W			X	X			X			
Time Spent Reading			X	X			X			
Time Spent Writing			X	X			X			
Total Host Requests	X	X								
Trap Type										X
Unload Errors							X			
Usage Perm Errors							X			
Username										X

属性	Cmpx Lib	Drive	Media Lib	Alerts	Exch	Clean	Media	Msgs
			Comp				Valid	
Volume Serial Number		X	X	X	X		X	
WORM/VolSafe Media		X	X					
Write Efficiency					X			
Write MB/sec		X	X		X			
Write Mount Ratio		X	X		X			

属性の定義

下のリンクをクリックすると、そのセクションに直接移動します。

セクション	セクション
「記号」	「M」
「A」	「MV」
「B」	「N」
「C」	「P」
「D」	「R」
「E」	「S」
「F」	「T」
「H」	「U」
「I」	「W」
「L」	

2.1. 記号

% Drive Utilization

ライブラリ内の全ドライブが占有されていた時間の割合。アプリケーションの予約やライブラリの配置などが原因で、ドライブが使用不可になった時間は含まれません。

2.2. A

Agent Boot Date/Time

SNMP エージェントが起動された日時 (ライブラリのローカル時間)。

Alert Event Type

アラートがトリガーされたときに処理中だったイベントまたはアクティビティのタイプ。

オプションは次のとおりです。

- AppMonitor – STA アプリケーションの再起動中にアラートがトリガーされました。このイベントタイプは、選択可能なリンクではありません。

- Exchange – 交換中にアラートがトリガーされました。リンクをクリックすると、交換に関する詳細を示した「Exchanges Overview」画面に移動します。
- MIB Walk – 「Configuration – SNMP Connections」画面から「Get Latest Data」が実行されたときにアラートがトリガーされました。このイベントタイプは、選択可能なリンクではありません。
- Robot Analytic – ロボットヘルスの変更によりアラートがトリガーされました。このイベントタイプは、選択可能なリンクではありません。
- Trap – ライブラリからの SNMP トラップによりアラートがトリガーされました。リンクをクリックすると、トラップに関する詳細を示した「All Messages – Overview」画面に移動します。
- 空白 – STA の内部計算によりアラートがトリガーされたか、またはトリガーイベントが不明です。どちらの場合も、詳細は表示されません。

Alert Policy Name

アラートポリシーに割り当てられているユーザー定義の名前。

Alert Policy Type

アラートポリシーのタイプ。たとえば、「STA」、「Complex」、「MDV」、「Media」、「Move」、「Robot」です。

Alert Reason

このアラートを生成したアラートポリシーの条件。

Alert Severity

このアラートを生成したアラートポリシーの重大度。オプションは「Severe」、「Warning」、「Informative」です。ポリシーの重大度によって、アラートがトリガーされる頻度が決まります。

Alert State

アラートの現在の状態。オプションは「New」、「Acknowledged」、「In-progress」、「Dismissed」、「Unknown」です。「New」および「Unknown」の状態は、STA によって割り当てられます。ほかのすべての状態は、ユーザー側で導入されているオプションのアラートワークフローに従ってユーザーが割り当てます。

Alert: Cleaning Media

LTO のみ

クリーニングメディアがドライブにロードされました。

Alert: Drive Automated Interface

LTO のみ

ドライブで自動化インタフェースの障害が発生しました。

Alert: Drive Clean Now

エンタープライズと LTO の両方

メディアエラーによりクリーニングリクエストが生成されました。

Alert: Drive Clean Periodic Requested

エンタープライズと LTO の両方

クリーニングのしきい値を超過しました。StorageTek エンタープライズまたは IBM LTO ドライブで、日常的なクリーニングが必要であることが検出された場合に設定されます。

Alert: Drive Cooling Fan

LTO のみ

製造元が指定した制限内で、冷却ファンが動作していないことがドライブで検出されました。

Alert: Drive Diagnostics Required

LTO のみ

診断を必要とする障害が発生しました。テープアラート 39 でトリガーされます。このアラートは、診断が実行されるとリセットされます。

Alert: Drive Dual-Port Interface

LTO のみ

ドライブ上の冗長インタフェースポートに障害が発生しました。

Alert: Drive Dump Available

エンタープライズのみ

以前に作成されたドライブダンプが使用可能です。このアラートは、ダンプがダウンロードされるとリセットされます。

このアラートが表示された場合は、できるだけ早くドライブダンプとドライブログを収集することをお勧めします。これは Oracle サポートでドライブ障害を分析するのに役立ちます。

Alert: Drive Event Log Near Full

エンタープライズのみ

ドライブのイベントログが満杯の 75% 以上になっています。ログは循環しているため、これは予測された状態です。イベントは収集されていなければ、上書きされる可能性があります。Oracle Service Delivery Platform (SDP) がインストールされている場合、ログはクリアされます。

Alert: Drive Failure Predicted

エンタープライズと LTO の両方

ドライブファームウェアで、ドライブファームウェアの障害が予測されました。

Alert: Drive FW Download

LTO のみ

このドライブタイプで無効なファームウェアファイルが使用されたことが原因で、ドライブファームウェアのダウンロードが失敗しました。

Alert: Drive FW Failure

エンタープライズと LTO の両方

ドライブでファームウェアの障害が検出され、ドライブ自体がリセットされました。すべてのダンプがドライブから取得されるまで、このアラートはアクティブのままです。

ドライブダンプを取得してください。

Alert: Drive Hard Error

LTO のみ

回復不能な読み取り、書き込み、または位置決めエラーを示します。このアラートは、メディアが取り出されると内部でクリアされます。

追加の詳細については、「Media Error」、「Read Failure」、「Write Failure」のアラートを確認してください。

Alert: Drive Hardware A

LTO のみ

リセットすることで回復可能なハードウェア障害がドライブで発生しました。

Alert: Drive Hardware B

LTO のみ

電源を再投入することで回復可能なハードウェア障害がドライブで発生しました。このアラートは、テープドライブの内部電源投入セルフテストに失敗すると設定され、ドライブの電源が切断されると内部でクリアされます。

Alert: Drive Interface Fault

LTO のみ

ドライブのホストインタフェースで問題が発生しました。ケーブルと接続をチェックしてから、操作を再開してください。

Alert: Drive Load Limit

エンタープライズと LTO の両方

ドライブの交換時にメディアロードの存続期限を超過したことを示します。

Alert: Drive Model Incompatible

エンタープライズのみ

メディアのロードを試みるには、ドライブがダウンレベルです。

Alert: Drive Temperature

エンタープライズと LTO の両方

ドライブで冷却の問題が発生しました。これにより、メディアの整合性が影響を受ける可能性があります。

Alert: Drive Voltage

LTO のみ

ドライブの電圧制限を超過しました。

Alert: Forced Eject Attempted

LTO のみ

ドライブの読み取りまたは書き込み中に、手動または強制的な取り出しが発生しました。

Alert: Invalid Cleaning

LTO のみ

クリーニングメディアにドライブとの互換性がありません。

Alert: Media Cart Memory Failure

交換中にカートリッジメモリーに障害が発生したことを示します。これにより、パフォーマンスが低下します。

Alert: Media Clean Expired

エンタープライズと LTO の両方

クリーニングメディアがすでに最大回数使用され、このクリーニング交換では使用できないことがドライブファームウェアで判断されました。

Alert: Media Diminished Capacity

LTO のみ

パーティション 0 がボリュームの全ネイティブ容量を使用できないように、ボリュームの状態が設定されました。たとえば、ボリュームがパーティション分割されていたり、使用可能なメディアが SET CAPACITY コマンドによって削減されていたりします。

Alert: Media Directory Corrupt

エンタープライズと LTO の両方

テープメディア上のメディアディレクトリが破損しているため、ディレクトリが再構築されるまで、ファイル検索のパフォーマンスが低下します。これは、メディアがロードされた状態でドライブの電源が切断されたか、または永続的なエラーによってメディアディレクトリを更新できなかったことが原因で発生しました。

Alert: Media Directory Invalid

エンタープライズと LTO の両方

メディアディレクトリが破損しました。データの損失はありませんでしたが、メディアのパフォーマンスが影響を受けた可能性があります。

すべてのデータを読み取ることで、メディアディレクトリを再構築できます。

Alert: Media Eject Failed

LTO のみ

取り出し操作に失敗しました。

メディアを取り出し、再ロードしてから、操作を再開してください。

Alert: Media End of Warranty

エンタープライズのみ

メディアの保証期間の終わりに達したため、これ以降の使用は保証の対象外になります。

Alert: Media Error

エンタープライズと LTO の両方

メディアのパフォーマンスが大幅に低下しているか、またはメディアの読み取りまたは書き込みができなくなっています。このアラートは、メディアの障害によって回復不能な読み取り、書き込み、または位置決めエラーが発生すると設定され、メディアが取り出されると内部でクリアされます。

Alert: Media Life Exceeded

エンタープライズと LTO の両方

メディアの予測耐用期間を超過しました。IBM LTO4 以上のドライブでのみ使用可能です。

注:

代わりに、HP ドライブは「Nearing Media Life Alert」属性をレポートします。

Alert: Media Load Failure

両方

ドライブでメディアをロードし、テープを挿入することができませんでした。

Alert: Media Load Limit

両方

メディアで推奨されるドライブロード数を超過しました。

Alert: Media Lost Statistics

両方

メディアがロードされた状態でドライブまたはライブラリの電源が切断されたことが原因で、以前に存在していた一部のメディア統計情報が損失しました。

Alert: Media Maintenance

エンタープライズのみ

ドライブ内のメディアは、物理的なメンテナンスが必要です。つまり、メディアを正常にロードする前に、修正する必要があります。たとえば、カートリッジにリーダーを挿入する場合があります。

Alert: Media Nearing End of Life

メディアの予測耐用期間の終わりに近づいています。HP ドライブでのみ使用可能です。

Alert: Media No Start of Data

両方

カスタマデータの始まりを見つけることができませんでした。

Alert: Media Not Data Grade

LTO のみ

ドライブがメディア認識システムのスライブを読み取ることができませんでした。これは、メディアがデータグレードでないことを示します。メディアに書き込まれたデータに危険性があります。

Alert: Media Recoverable Mechanical

LTO のみ

ドライブ内でテープが折れたか、または機械的な障害が発生しましたが、メディアを取り出すことは可能です。

Alert: Media RFID Warning

エンタープライズのみ

ロード時にメディア RFID が開いていたことが判明しました。これは、前回のマウント時に、メディアがアンロードされる前にドライブの電源が切断されたことを示します。これにより、メディアのパフォーマンスが低下します。データの終わりが見つかるまで、書き込みはできません。

Alert: Media System Read Failure

両方

ロード時にメディア上のシステム領域から読み取ることができませんでした。データの損失はありませんでしたが、メディアのパフォーマンスが影響を受けた可能性があります。

Alert: Media System Write Failure

両方

アンロード時にメディア上のシステム領域に書き込むことができませんでした。データの損失はありませんでしたが、メディアのパフォーマンスが影響を受けた可能性があります。

ドライブおよびメディアをモニターしてください。このエラーが複数のメディアにわたって継続する場合は、ドライブを修理してください。

Alert: Media Unrecoverable Mechanical

LTO のみ

ドライブ内でテープが折れたか、または機械的な障害が発生したため、取り出すことができません。メディアを取り出そうとしないでください。

Alert: Media Unrecoverable Snapped

エンタープライズのみ

ドライブ内でテープが折れたため、取り出すことができません。メディアを取り出そうとしないでください。

Alert: MIR Invalid

エンタープライズのみ

過去にメディア情報レコード (MIR) が更新されないことがありました。これにより、ファイル検索のパフォーマンスが低下しています。

すべてのデータを読み取ることで、MIR を再構築できます。

Alert: Permanent Error

エンタープライズのみ

メディアがマウントされたときに、永続的なメディアエラーが発生しました。詳細は、交換 FSC または DSC を確認してください。

Alert: Read Failure

LTO のみ

読み取りに失敗しました。メディアが損傷したか、またはドライブに障害が発生しています。

Alert: Read Only

LTO のみ

このドライブでは、このタイプのメディアは読み取り専用です。メディアは書き込み保護されていると表示されます。

Alert: Read Warning

両方

メディアからの読み取り中に、ドライブで重大なトラブルが発生しました。

メディアまたはドライブへの注意が必要です。

Alert: Unload Prevented

LTO のみ

ドライブが使用中であるため、メディアを取り出すことができません。

操作が完了するまで待機してから、メディアを取り出してください。

Alert: Unrecoverable Unload

LTO のみ

ドライブがアンロード試行の最大回数に達したため、メディアをアンロードできませんでした。

Alert: Unsupported Format

LTO のみ

このドライブでは、このタイプのメディアがサポートされていません。

Alert: WORM Integrity Failure

LTO のみ

WORM ボリュームの整合性チェック中に、ドライブで不整合が検出されました。メディアが改ざんされた可能性があります。

Alert: WORM Overwrite Attempted

LTO のみ

WORM ボリューム上のユーザーデータの上書きが試みられました。

Alert: Write Failure

LTO のみ

ドライブがメディアにデータを書き込むことができませんでした。このアラートは、メディアの障害またはドライブハードウェアの障害が原因で、回復不能な書き込みまたは位置決めエラーが発生すると設定されます。このアラートは、テープが取り出されると内部でクリアされます。

Alert: Write Protect

LTO のみ

書き込み保護されたメディアに、書き込みコマンドが試みられました。

Alert: Write Warning

両方

メディアへの書き込み中に、ドライブで重大なトラブルが発生しました。

メディアまたはドライブへの注意が必要です。

Annotation History

ライブラリソースまたはアクティビティーに割り当てられているユーザー定義の注釈。リストビューには、最新の注釈が表示されます。詳細ビューには、完全な注釈履歴が新しい順に表示されます。

Avg Mount R/W MB

1回の交換で、ドライブによって読み書きされる平均メガバイト数。計算方法は次のとおりです。

$$\text{total MB (read +written) /total completed exchanges}$$
Avg Mount R/W MB/sec

ドライブの平均スループット率 (1秒あたりのメガバイト数)。計算方法は次のとおりです。

$$\text{total MB (read +written) /total seconds mount time}$$

注:

この値は、ロボットの速度やアプリケーションの動作など、ドライブ外部のさまざまな要因による影響を受ける可能性があります。たとえば、一部のアプリケーションでは、読み取りまたは書き込み操作の完了直後にメディアがマウント解除されないため、マウント時の大半はドライブがアイドル状態になります。その結果、この値がドライブの潜在的な最大スループット率を表さない可能性があります。

Avg Mount Read MB

1回の交換で、ドライブによって読み取られる平均メガバイト数。計算方法は次のとおりです。

$$\text{total MB read /total completed exchanges}$$
Avg Mount Read MB/sec

ドライブの平均読み取り率 (1秒あたりのメガバイト数)。計算方法は次のとおりです。

$$\text{total MB read /total seconds mount time}$$

注:

この値は、ロボットの速度やアプリケーションの動作など、ドライブ外部のさまざまな要因による影響を受ける可能性があります。たとえば、一部のアプリケーションでは、読み取りまたは書き込み操作の完了直後にメディアがマウント解除されないため、マウント時の大半はドライブがアイドル状態になります。その結果、この値がドライブの潜在的な最大読み取り率を表さない可能性があります。

Avg Mount Write MB

1回の交換で、ドライブによって書き込まれる平均メガバイト数。計算方法は次のとおりです。

$$\text{total MB written /total completed exchanges}$$

Avg Mount Write MB/sec

ドライブの平均書き込み率 (1 秒あたりのメガバイト数)。計算方法は次のとおりです。

```
total MB written /total seconds mount time
```

注:

この値は、ロボットの速度やアプリケーションの動作など、ドライブ外部のさまざまな要因による影響を受ける可能性があります。たとえば、一部のアプリケーションでは、読み取りまたは書き込み操作の完了直後にメディアがマウント解除されないため、マウント時の大半はドライブがアイドル状態になります。その結果、この値がドライブの潜在的な最大書き込み率を表さない可能性があります。

2.3. B**Base Model**

ライブラリのモデル。

2.4. C**CAP**

CAP のシリアル番号

CAP Accessibility

ライブラリでレポートされた現在の CAP アクセシビリティの状態。オプションは「ALLOW」、「CLOSED ALLOW」、「PREVENT」、「CLOSED PREVENT」です。

CAP Alert Count

定義されている STA アラートポリシーに基づいて、この CAP、AEM、またはメールスロット用に生成されたアラートの合計数。

注:

このフィールドは、この CAP 用のアラートが一覧表示された「Alerts Overview」画面のリストビューにリンクされています。[11章「Alerts」画面](#)を参照してください。

CAP Count

CAP、AEM (SL3000 のみ)、およびメールスロット (SL150 のみ) の合計数

CAP Ejects

「Complexes Overview」および「Libraries Overview」の場合、すべての CAP、AEM (SL3000 のみ)、メールスロット (SL150 のみ) を使用して、ライブラリまたはコンプレックスから取り出されたメディアの合計数。

「CAPs Overview」の場合、CAP を使用して取り出されたメディアの合計数

CAP Enters

「Complexes Overview」および「Libraries Overview」の場合、すべての CAP、AEM (SL3000 のみ)、メールスロット (SL150 のみ) を使用して、コンプレックスに挿入されたメディアの合計数。

「CAPs Overview」の場合、CAP を使用して挿入されたメディアの合計数

CAP Identifier

CAP の一意の識別子

CAP Physical Address

ライブラリの内部アドレス。

SL150 ライブラリの場合、形式は m, s, w, c です (例: $1, Left, 1, 2$)。ここでは:

- m = モジュール番号 (上 (ベースモジュール) から下に、1-10)
- s = 側面 («Left」または「Right」)
- w = 行番号 (上から下に、1-3)
- c = 列番号 (前面から背面に、1-5)

SL500 ライブラリの場合、形式は l, m, r, c です (例: $0, 2, 2, 3$)。ここでは:

- l = パーティション分割されていないライブラリの場合、これはライブラリ ID (常に 0) で、パーティション分割されているライブラリの場合、これはパーティション ID (1-8) です。
- m = モジュール番号 (ラックの上から下に、1-5)
- r = ドライブ行番号 (モジュールの上から下に、1-2 (ベースモジュール) または 1-4 (ドライブ拡張モジュール))
- c = 列番号 (ドライブの場合、常に 9)

SL3000 および SL8500 ライブラリの場合、形式は l, r, c, s, w です (例: $1, 1, 2, 2, 3$)。

ここでは:

- l = ライブラリ番号。パーティション分割されていないライブラリの場合、これはライブラリ ID で、パーティション分割されているライブラリの場合、これはパーティション ID (1-8) です。
- r = レール番号。SL3000 ライブラリの場合、この値は常に 1 です。SL8500 ライブラリの場合、取り得る値は 1、2、3、4 です。
- c = 列番号。
- s = 側面番号。
- w = 行番号。

CAP SNMP Traps

ライブラリから受信された CAP メッセージの合計数。この数値が突然増加した場合は、調査すべき状況であることを示しています。

CAP State

ライブラリでレポートされた現在の CAP 状態。オプションは「OPEN」または「CLOSED」です。この値は、STA によって 1 時間ごとに更新されます。SL3000 および SL8500 ライブラリの場合、さらに、CAP 用の SNMP トラップがライブラリから受信されるときにも、この値が更新されます。

Clean Volume Serial Number

外部ラベルによってメディアに割り当てられているボリュームシリアル番号 (VSN または volser)。ライブラリで volser が提供されていない場合は、STA によって「*Library Serial Number:Physical Address*」で構成される volser が提供されま

注:

一部のクリーニングメディアには、「CLN」で始まる volser が割り当てられてません。

注:

このフィールドは、このメディアに関する入手可能な詳細がすべて表示された「Media – Overview」画面の詳細ビューにリンクされています。6章「[Media Overview](#)」および「[Media Analysis](#)」画面を参照してください。

Cleaning Media

「Drives Overview」の場合、クリーニングメディアがドライブにロードされたかどうかを示します。

「Media Overview」および「Exchanges Overview」の場合、これが、メディアのドメインおよびタイプによって決定されたクリーニングメディアかどうかを示します。取り得る値は「True」または「False」です。

注:

一部のクリーニングメディアには、「CLN」で始まる volser が割り当てられてません。

Cleans

実行されたクリーニング操作の合計回数。

注:

このフィールドは、このドライブのクリーニングアクティビティが一覧表示された「Drives – Cleaning Activities」画面のリストビューにリンクされています。13章「[Drive Cleanings Overview](#)」画面を参照してください。

Complex Physical Library Count

コンプレックス内のライブラリの合計数 (SL8500 ライブラリ以外の場合、常に「1」)。

注:

このフィールドは、このコンプレックス内のライブラリがすべて一覧表示された「Libraries – Overview」画面のリストビューにリンクされています。4章「[Libraries Overview](#) 画面」を参照してください。

Component ID

アラートに参与するリソースの一意的識別子。ID のタイプは、アラートによって異なります。たとえば、ボリュームシリアル番号 (メディアの場合)、ドライブシリアル番号 (ドライブの場合)、ライブラリシリアル番号 (ライブラリの場合) です。

Cumulative Library Uptime

最後のレポート以降にライブラリが実行されている合計時間。「hh:mm:ss」の形式で表示されます。

Current Cleaning Uses

クリーニングメディアがドライブにマウントされた合計回数。一部のメディアタイプでは、この回数が追跡されます。この場合、この値はメディア自体でレポートされた値です。その他のメディアタイプでは、この回数が追跡されません。この場合、この値は STA によって記録されます。STA のモニタリングが開始される前に、クリーニングメディアが使用された可能性があるため、STA には、メディアで実行されたすべてのドライブクリーニングに関する交換レコードが存在しない可能性があります。

2.5. D

Data Compression Ratio

交換時の圧縮率。比率で表示されます。計算方法は次のとおりです。

```
(Total uncompressed data sent or received by the drive / Total compressed data read or written to the media) :1
```

Date Created/Updated

アラートがトリガーされた日時。

Device Activity

メッセージを生成している内部ライブラリ機能。たとえば、「AuditDaemon」は、ライブラリ監査機能からのロギング情報を示します。

値はライブラリから直接取得され、ライブラリのモデル、ファームウェアレベル、およびハードウェア構成によって異なります。値には、「reboot」や「setPartition」といった重要なライブラリイベントまたは構成変更が反映される可能性があります。ライブラリの問題のトラブルシューティングには、「All Messages – Overview」画面をこの属性でソートまたはフィルタリングすると役立つ場合があります。

Device Address

SNMP トラップに関連付けられたデバイスのライブラリ内部アドレス。

SL150 ライブラリの場合、形式は *m, s, w, c* です (例: *1, Left, 1, 2*)。ここでは:

- m = モジュール番号 (上 (ベースモジュール) から下に、1-10)
- s = 側面 (「*Left*」または「*Right*」)
- w = 行番号 (上から下に、1-3)
- c = 列番号 (前面から背面に、1-5)

SL500 ライブラリの場合、形式は l, m, r, c です (例: 0, 2, 2, 3)。ここでは:

- l = パーティション分割されていないライブラリの場合、これはライブラリ ID (常に 0) で、パーティション分割されているライブラリの場合、これはパーティション ID (1-8) です。
- m = モジュール番号 (ラックの上から下に、1-5)
- r = ドライブ行番号 (モジュールの上から下に、1-2 (ベースモジュール) または 1-4 (ドライブ拡張モジュール))
- c = 列番号 (ドライブの場合、常に 9)

SL3000 および SL8500 ライブラリの場合、形式は l, r, c, s, w です (例: 1, 1, 2, 2, 3)。ここでは:

- l = ライブラリ番号。パーティション分割されていないライブラリの場合、これはライブラリ ID で、パーティション分割されているライブラリの場合、これはパーティション ID (1-8) です。
- r = レール番号。SL3000 ライブラリの場合、この値は常に 1 です。SL8500 ライブラリの場合、取り得る値は 1, 2, 3, 4 です。
- c = 列番号。
- s = 側面番号。
- w = 行番号。

Device ID

イベントに関連付けられたデバイスの FRU ID。

Device Serial Number

イベントに関連付けられたデバイスのシリアル番号またはその他の一意の識別子。

Device State

トラップが送信された時点でのデバイスの状態。次の例に示すように、デバイスタイプによって異なります。

- ドライブ – 「EMPTY」、「LOADED」、「NEEDS_CLEANING」
- CAP – 「OPEN」、「CLOSE」、「UNKNOWN」
- パススルーポート (PTP) – 「OK」、「ERROR」、「WARNING」、「INFO」、「TRACE」

Device Time

イベントの日時 (UTC 標準形式)。

Dismounts

すべてのドライブに対するマウント解除の合計回数。

注:

このフィールドは、このライブラリの交換が一覧表示された「Exchanges Overview」画面にリンクされています。12章「[Exchanges Overview](#) 画面」を参照してください。

Dismounts With Errors

交換中にエラーが発生した、このドライブまたはメディアのマウント解除の合計回数。エラーの原因として、ドライブ、メディア、またはその両方の問題が考えられます。

注:

このフィールドは、エラーが発生した交換が一覧表示された「Exchanges Overview」画面にリンクされています。12章「[Exchanges Overview](#) 画面」を参照してください。

Drive

ドライブの電子シリアル番号。「*NO-SERIAL*」は、シリアル番号が不明であることを示します。

注:

このフィールドは、このドライブに関する入手可能な詳細がすべて表示された「Drives – Overview」画面の詳細ビューにリンクされています。「[Drives Overview](#)」および「[Drives Analysis](#)」画面を参照してください。

Drive Alert Count

定義されている STA アラートポリシーに基づいて、このドライブ用に生成されたアラートの合計数。

注:

このフィールドは、このドライブ用のアラートが一覧表示された「Alerts Overview」画面のリストビューにリンクされています。11章「[Alerts](#) 画面」を参照してください。

Drive Bays Installed

取り付けられたが、必ずしも使用するためにアクティブになっていないドライブスロットの合計数。計算方法は次のとおりです。

Drive Slots Occupied + Drives Slots Unoccupied.

Drive Bays Occupied

ドライブが取り付けられているドライブスロットの合計数。

注:

このフィールドは、このコンプレックス用のドライブがすべて一覧表示された「Drives – Overview」画面のリストビューにリンクされています。5章「[Drives Overview](#)」および「[Drives Analysis](#)」画面を参照してください。

Drive Bays Unoccupied

ドライブが取り付けられていないドライブスロットの合計数。

Drive Cleans

実行されたドライブクリーンの合計回数。

注:

このフィールドは、このライブラリのクリーニングアクティビティが一覧表示された「Drives – Cleaning Activities」画面のリストビューにリンクされています。13章「[Drive Cleanings Overview](#)」画面を参照してください。

Drive Dismounts

このドライブからメディアがアンロードされた合計回数。

注:

このフィールドは、このドライブの交換が一覧表示された「Exchanges Overview」画面のリストビューにリンクされています。12章「[Exchanges Overview](#)」画面を参照してください。

Drive Exchange Status

交換が完了した時点でのドライブのステータス。ドライブのエラー、書き込み効率、読み取りマージンなどのさまざまな要因から生じます。取り得る値は次のとおりです。

- CART_MEM_FAILURE
- CLEAN_REQ – ドライブをクリーニングする予定です。
- DRIVE_ERROR
- EXPIRED_CLEAN_TAPE
- FAILED_MOUNT
- FW_DOWN_LEVEL
- GOOD
- INCOMPLETE_UNLOAD – アプリケーションがメディアをアンロードするようにリクエストしました。テープドライブがまだバッファ内にあるデータを検出し、アプリケーションから確認するように要求しました。
- INSUFFICIENT_DATA(NULL) – STA がドライブのヘルスを計算するために、十分な交換データをライブラリから受信していません。ドライブがサポートされていなかった

り(たとえば、LTO 2)、ライブラリファームウェアがダウンレベルである可能性があります。

- LOAD_ERROR
- LTO_NON_ADI_MODE – ライブラリまたはドライブ (あるいは両方) で、ADI モードが有効になっていません。
- MEDIA_ERROR
- NON_DRV_ERROR – これはドライブの問題でも、メディアの問題でもありません。したがって、ドライブまたはメディアの疑いには影響しません。この交換ステータスが設定されている場合は、原因を特定するのに役立つ、次の追加情報をチェックしてください。

エンタープライズドライブの場合、交換の障害症状コード (FSC) をチェックしてください。LTO ドライブの場合、最近設定されたテープアラートをチェックしてください。

このステータスは、次の時点で設定される可能性があります。

* 「Media Write Protect Tape Alert」を設定する必要がある。ホストアプリケーションは、書き込み保護されているメディアへの書き込みを試みています。

* T10000B の交換用に FSC 6142 が設定されている。このコードは、Oracle Key Manager (OKM) 暗号化鍵を取得する際に問題があったことを示します。この原因として、ネットワーク接続に問題が発生した、OKM が故障した、ドライブの登録が期限切れになり、ドライブを再登録する必要があるなど、いくつかのシナリオが考えられます。OKM がオンラインに戻り、鍵の提供を再開するまで、暗号化解除されたテープを読み取るためにドライブが使用される可能性があります。

* FSC が 3627、3629、362A、または 362B に設定されている。これらの FSC コードは、「通常の操作」中に設定され、メディアの一部がラベルを付ける前に本当に空白であるかどうかチェックされます。ホストアプリケーションは、1) 新しいテープのマウント、2) ラベルがないかどうかのチェックの試み、3) 新しいテープへのラベル付けの順に実行します。

- OTHER_ERROR
- PERM_ERROR
- READ_ERROR
- WRITE_ERROR
- UNKNOWN
- UNLOAD_ERROR

Drive Firmware Version

ドライブファームウェアおよびホストインタフェースのレベル。このファームウェアバージョンで STA に関する豊富なデータがサポートされるかどうかの詳細は、『STA 要件ガイド』を参照してください。

Drive Health

STA 分析で計算されたドライブのヘルス。これは、現在および過去の交換時にドライブから収集されたデータに基づくポイントインタイム値です。これには、ドライブのエラー履歴、読み取りマージン、書き込み効率などのさまざまな要因が反映されます。

この値には、最後に完了した交換までのすべてのデータが含まれます。ドライブが関与する各交換が完了した直後に更新されます。

取り得る値は、ヘルスの低下順に次のとおりです。

- USE – 最近 10 回の交換で、ドライブに障害または低下が発生しませんでした。
- MONITOR – ドライブに複数のエラーが発生しました。修理する必要があるものは、80% 未満です。
- EVALUATE – ドライブに複数のエラーが発生しました。修理する必要があるものは、80% 以上です。
- ACTION – ドライブに注意を必要とするエラーが発生しました。ドライブの修理が必要な場合があります。調査して、適切なアクションを決定するようにしてください。
- UNKNOWN – STA が、ドライブのヘルスを計算するために十分なデータを受信しませんでした。この原因として、ドライブモデルがサポートされていない、ドライブファームウェアがダウンレベルである、LTO ドライブで ADI モードが有効になっていないなど、さまざまな要因が考えられます。

注:

STA は、メディアへの読み取りまたは書き込みアクティビティの実行時に、ドライブで検出されたエラーに関する情報のみを受信します。STA は、データパスまたはホストアプリケーションで発生した可能性のあるエラーに関する情報を受信しません。

注:

クリーニング交換によって、ドライブのヘルスが中立的な影響を受けます。

Drive Health Trend

STA 分析で計算された、最近 2 回の交換におけるドライブのヘルスの傾向。オプションは「BETTER」、「UNCHANGED」、「WORSE」です。

Drive HLI Address

場所のホストライブラリインタフェース (HLI) アドレス。HLI パーティションまたはライブラリ内のドライブまたはメディアスロットにのみ適用されます。このアドレスは、ACSL5 または ELS ホストソフトウェアによって割り当てられます。

注:

ファームウェア FRS_7.80 以上がインストールされた SL8500 ライブラリ、またはファームウェア FRS_4.0 以上がインストールされた SL3000 ライブラリでのみ使用可能です。その他の場合はすべて、値は空白のままです。

メディアスロットの場合、形式は l, p, w, c です。ここでは:

- l = 論理ストレージマネージャー (LSM) 番号。取り得る値は 0、1、2、3 です。
- p = パネル番号。
- r = 行番号。
- c = 列番号。

ドライブの場合、形式は l, p, t です。ここでは:

- l = 論理ストレージマネージャー (LSM) 番号。取り得る値は 0、1、2、3 です。
- p = パネル番号
- t = トランスポート番号

Drive Interface

ドライブのホストインタフェースタイプ。取り得る値は次のとおりです。

- SAS – Serial Attached SCSI
- SCSI – Small Computer System Interface
- FIBRE – ファイバチャネル
- UNKNOWN – ライブラリがインタフェースタイプをレポートしませんでした。

Drive Library Name

ユーザーが割り当てたライブラリの名前。「Settings – SNMP Connections」画面で割り当てられます。

Drive Library Number

ライブラリに割り当てられている一意の ID。

Drive Library Serial Number

ライブラリフレームのシリアル番号。

注:

このフィールドは、このドライブに関する入手可能な詳細がすべて表示された「Libraries – Overview」画面の詳細ビューにリンクされています。4章「[Libraries Overview](#) 画面」を参照してください。

Drive Lifetime Cleans

ドライブの耐用期間にわたって実行されたクリーンの合計回数。

注:

ドライブの耐用期間は、STA でモニターされた時間よりも長い場合があります。

Drive Lifetime Hours in Motion

ドライブの耐用期間にわたって、ドライブヘッドが移動していた合計時間。

注:

ドライブの耐用期間は、STA でモニターされた時間よりも長い場合があります。

Drive Lifetime Loads

ドライブの耐用期間にわたるメディアロードの合計回数。LTO3 以外のすべてのドライブタイプで使用可能です。

注:

ドライブの耐用期間は、STA でモニターされた時間よりも長い場合があります。

Drive Lifetime Meters

ドライブの耐用期間にわたって、ドライブヘッドを通過したテープの合計メートル数。LTO3 以外のすべてのドライブタイプで使用可能です。

注:

ドライブの耐用期間は、STA でモニターされた時間よりも長い場合があります。

Drive Lifetime Meters of Head Contact

ドライブの耐用期間にわたって、ドライブヘッドを通過したメディアの合計メートル数。

Drive Lifetime Meters Positioning

ドライブの耐用期間にわたって、ドライブヘッドを高速で通過したメディアの合計位置決めメートル数。位置決めメートルは、検索、巻き戻し、および間隔あけの操作時に発生します。

Drive Lifetime Power Hours

ドライブの耐用期間にわたって、電源が投入された合計時間。

注:

ドライブの耐用期間は、STA でモニターされた時間よりも長い場合があります。

Drive Manufacturer

ドライブの製造元。

たとえば、「STK」、「IBM」、「QUANTUM」です。

Drive Model

ドライブモデルの簡単な説明。たとえば、「T10000C」、「LTO4」です。「UNKNOWN」は、ドライブが故障しているか、または STA がタイプを特定できないことを示します。

注:

すべての DLT および SDLT ドライブでは、タイプが「UNKNOWN」であり、STA でヘルスが計算されません。

Drive Physical Address

ドライブのライブラリ内部アドレス。

SL150 ライブラリの場合、形式は m, p です (例: *Module 1, Bottom Drive*)。ここでは:

- m = モジュール番号 (上 (ベースモジュール) から下に、1-10)
- p = 位置 (「*Top Drive*」または「*Bottom Drive*」)

SL500 ライブラリの場合、形式は l, m, r, c です (例: $0, 2, 2, 3$)。ここでは:

- l = パーティション分割されていないライブラリの場合、これはライブラリ ID (常に 0) で、パーティション分割されているライブラリの場合、これはパーティション ID (1-8) です。
- m = モジュール番号 (ラックの上から下に、1-5)
- r = ドライブ行番号 (モジュールの上から下に、1-2 (ベースモジュール) または 1-4 (ドライブ拡張モジュール))
- c = 列番号 (ドライブの場合、常に 9)

SL3000 および SL8500 ライブラリの場合、形式は l, r, c, s, w です。ここでは:

- l = ライブラリ番号。パーティション分割されていないライブラリの場合、これはライブラリ ID で、パーティション分割されているライブラリの場合、これはパーティション ID (1-8) です。
- r = レール番号。SL3000 ライブラリの場合、この値は常に「1」です。SL8500 ライブラリの場合、この値はレール番号 (1-4) です。
- c = 列番号。
- s = 側面番号。
- w = 行番号。

Drive Properties Updated

ドライブのプロパティが最後に更新された日時。STA で最初にドライブが認識された日時に初期設定され、ドライブファームウェアの更新などの後続の更新が発生するたびに更新されます。

Drive Rail Number

レール番号。SL150、SL500、および SL3000 ライブラリの場合、この値は常に 1 です。SL8500 ライブラリの場合、取り得る値は 1、2、3、4 です。

使用されるドライブ: 「*Drives Overview*」、 「*Exchanges Overview*」

Drive SCSI Element ID

ドライブ場所の SCSI 要素 ID。SCSI パーティションまたはライブラリ内のドライブにのみ適用されます。SCSI ID を割り当てる方法の詳細は、適用可能なライブラリのユーザーズガイドを参照してください。

値「-1」は、ドライブが SCSI スロットにないことを示します。たとえば、SL8500 ライブラリ、SL3000 ライブラリ内の HLI パーティション、またはパーティション分割されたライブラリ内のパーティションに割り当てられていないスロット内にある可能性があります。

Drive Serial Number

ドライブの電子シリアル番号。「*NO-SERIAL*」は、シリアル番号が不明であることを示します。

注:

このフィールドは、このドライブに関する入手可能な詳細がすべて表示された「Drives – Overview」画面の詳細ビューにリンクされています。5章「[Drives Overview](#)」および「[Drives Analysis](#)」画面を参照してください。

Drive SNMP Trap Count

過去 30 日間にわたって、ライブラリから受信されたドライブメッセージの合計数。この数値が突然増加した場合は、調査すべき状況であることを示しています。

注:

このフィールドは、このドライブ用の SNMP トラップが一覧表示された「Drives – Messages」画面のリストビューにリンクされています。15章「[Messages](#)」画面を参照してください。

Drive Start Tracking

STA で最初に、このドライブシリアル番号の追跡が開始された日時。

Drive Stop Tracking

STA で、このドライブシリアル番号の追跡が停止された日時。これは、ドライブシリアル番号がモニター対象のライブラリのいずれにも存在しないことが STA で判断され、ドライブのステータスが「missing」から「removed」に更新された日時です。

Drive Suspicion Level

計算されたドライブの疑いレベル。取り得る値は 0–100 です。小さい数値ほど望ましいです。数値が大きくなるほど、ドライブへの注意が必要となる可能性も高くなります。

Drive Tray Serial Number

Oracle サポート担当者 で手動で入力する必要のあるドライブベイのシリアル番号。有効なエントリには、英数字のみが含まれます。特殊文字は使用できません。エントリが入力されていない場合、値は「unknown」です。

このエントリは、サービスリクエストが送信されるときに参照されます。

Drive Type

ライブラリで送信されるドライブタイプの詳細な説明。たとえば、「T10000c-Enc」、「HpUltrium4」です。「UNKNOWN」は、ドライブが故障しているか、または STA がタイプを特定できないことを示します。

注:

すべての DLT および SDLT ドライブでは、タイプが「UNKNOWN」であり、STA でヘルスが計算されません。

Drive Vendor

ドライブの製造元。

Drive WWNN

ドライブスロットの World Wide Node Name。

Drive WWP (Port A)

ドライブポート A の World Wide Port Name。これは、ライブラリの初期化時に、ライブラリコントローラによって自動的に生成されます。

Drive WWP (Port B)

ドライブポート B の World Wide Port Name。これは、ライブラリの初期化時に、ライブラリコントローラによって自動的に生成されます。

Duplicate Detected

STA で、交換時に使用されたメディアのボリュームシリアル番号 (VSN または volser) が重複していることが検出されました。このアラートは、交換時に重複が検出された場合にのみ表示されます。

volser の重複は、同じメディアタイプの 2 つのメディアが同じ volser を持ち、2 つの別々の製造元シリアル番号を持っている場合に発生します。このアラートが同じ volser に対して何度も表示される場合は、同じメディアタイプおよび volser ラベルの複数の物理メディアがテープ環境に存在する可能性があります。volser に対して 1 回だけ表示される場合は、廃止されたメディアの volser ラベルが新しいメディアで再利用されている可能性があります。

2.6. E

Elevator

エレベータのシリアル番号

Elevator Alert Count

定義されている STA アラートポリシーに基づいて、このエレベータ用に生成されたアラートの合計数。

注:

このフィールドは、このエレベータ用のアラートが一覧表示された「Alerts Overview」画面のリストビューにリンクされています。[11章「Alerts」画面](#)を参照してください。

Elevator Count

エレベータの合計数。SL8500 ライブラリにのみ適用されます。

Elevator Identifier

エレベータの一意の識別子

Elevator Physical Address

ライブラリの内部アドレス。

SL150 ライブラリの場合、形式は m, s, w, c です (例: $1, Left, 1, 2$)。ここでは:

- m = モジュール番号 (上 (ベースモジュール) から下に、1-10)
- s = 側面 («*Left*»または«*Right*»)
- w = 行番号 (上から下に、1-3)
- c = 列番号 (前面から背面に、1-5)

SL500 ライブラリの場合、形式は l, m, r, c です (例: $0, 2, 2, 3$)。ここでは:

- l = パーティション分割されていないライブラリの場合、これはライブラリ ID (常に 0) で、パーティション分割されているライブラリの場合、これはパーティション ID (1-8) です。
- m = モジュール番号 (ラックの上から下に、1-5)
- r = ドライブ行番号 (モジュールの上から下に、1-2 (ベースモジュール) または 1-4 (ドライブ拡張モジュール))
- c = 列番号 (ドライブの場合、常に 9)

SL3000 および SL8500 ライブラリの場合、形式は l, r, c, s, w です (例: $1, 1, 2, 2, 3$)。ここでは:

- l = ライブラリ番号。パーティション分割されていないライブラリの場合、これはライブラリ ID で、パーティション分割されているライブラリの場合、これはパーティション ID (1-8) です。
- r = レール番号。SL3000 ライブラリの場合、この値は常に 1 です。SL8500 ライブラリの場合、取り得る値は 1、2、3、4 です。
- c = 列番号。
- s = 側面番号。
- w = 行番号。

Elevator Power LED State

エレベータ電源 LED の現在の状態。正常な状況は「ON」です。オプションは「ON」、「OFF」、または「UNKNOWN」です。

Elevator SNMP Traps

ライブラリから受信されたエレベータメッセージの合計数。この数値が突然増加した場合は、調査すべき状況であることを示しています。

Elevator State

ライブラリでレポートされた現在のエレベータ状態。たとえば、「READY」です。STA は、1 時間ごとに、およびライブラリからエレベータ用の SNMP トラップが受信されたときに、この値を更新します。

Encryption Capable

ドライブで暗号化がサポートされているかどうかを示しますが、必ずしも暗号化が有効になっていることは示しません。取り得る値は「Yes」または「No」です。

注:

実際にドライブで暗号化を有効にするために、追加のハードウェアまたはソフトウェアコンポーネントが必要となる場合があります。たとえば、HP LTO-4 ドライブには Deoni カードが必要であり、IBM LTO-4 ドライブには Belisarius カードが必要です。

Exchange Drive Cleaning Required

交換時にドライブのクリーニングが必要だったことを示します。取り得る値は「Yes」または「No」です。

注:

「Clean Periodic Alert」および「Clean Now Alert」属性を使用すると、追加の詳細を入手できる場合があります。

Exchange DSC

交換用のデータステータスコード。ドライブのファームウェアが TTI 5.40 をサポートしている場合にのみ使用可能です。

Exchange Elapsed Time

メディアが交換に関与する合計時間。マウントの直前および直後の経過時間も含まれます。メディアスロットからメディアを取り出すための移動の開始時に始まり、ドライブからの取り外し後に、最初に使用可能な場所にメディアが配置されると終了します。SL8500 ライブラリの場合、ドライブからの取り出し後に最初に使用可能な場所がエレベータである可能性があります。その他のライブラリの場合は、常にメディアスロットです。「hh:mm:ss」の形式で表示されます。

Exchange Encryption Used

交換時にドライブで使用される暗号化方式。StorageTek エンタープライズドライブでのみ使用可能です。取り得る値は次のとおりです。

- *Encrypted_ANSI_10* – ANSI 暗号化。
- *Encrypted_Sun_KMS* – Oracle Key Manager (OKM) 暗号化。
- *Not Encrypted* – 暗号化されていません。
- *Unknown* – ドライブは暗号化情報をレポートしませんでした。
- 空白 (値が表示されない) – STA が暗号化情報を受信しませんでした。ADI/LTO の交換の場合、値は常に空白です。

Exchange End

交換が完了した日時。

Exchange FSC

4 バイトの 16 進数の障害症状コード (FSC)。たとえば、「FD55」、「S053」です。交換時にエラーが発生した場合にのみレポートされます。

Exchange Library Name

最近の交換が発生したライブラリにユーザーが割り当てた名前。メディアが取り出された場合、この値を使用して、メディアが取り出されたライブラリを特定できます。メディアが取り出された場合に、ライブラリ情報のレポートを有効にします。

Exchange Mount Time

メディアがドライブにマウントされている合計時間。マウントの開始からマウント解除の開始までの合計時間が含まれます。マウントの直前および直後の経過時間は含まれません。「hh:mm:ss」の形式で表示されます。

この属性が空白の場合、STA がライブラリからすべての交換データを受信しなかった可能性があります。

Exchange Read Margin

メディアに残っている誤り訂正符号 (ECC) の読み取りマージンの量。これは、最後のマウント時にドライブでレポートされます。パーセンテージでレポートされます。大きい値が望ましいです。StorageTek T10000A 以上のドライブでのみ使用可能です。

この値がこのドライブタイプ用のしきい値を下回ったことが STA で判断された場合、「Exchange Read Marginal」属性が「True」に設定されます。

Exchange Read Marginal

ドライブがドライブタイプ用の読み取りマージン標準を満たしているかどうかを示します。取り得る値は「True」または「False」です。StorageTek T10000A 以上のドライブでのみ使用可能です。

Exchange Recording Technique

交換時またはメディア検証時にドライブで使用される記録形式。「Exchanges Overview」の場合、オプションに「T10000D」、「LTO5」、および「9840B」が含まれます。

「Media Validation Overview」の場合、オプションは「T10000A」、「T10000B」、「T10000C」、および「T10000D」のみです。T10000A および T10000B ドライブは T10000T1 メディアに書き込むことができ、T10000C および T10000D ドライブは T10000T2 メディアに書き込むことができます。

Exchange Start

交換、クリーニングアクティビティ、またはメディア検証アクティビティ用にドライブが予約された日時。

注:

このフィールドは、この交換に関する入手可能な詳細がすべて表示された「Exchanges Overview」画面の詳細ビューにリンクされています。12章「[Exchanges Overview](#) 画面」を参照してください。

Exchange Tape Alerts – Info

交換時に受信された「Informational」テープアラートの数。

Exchange Tape Alerts – Severe

交換時に受信された「Severe」テープアラートの数。

Exchange Tape Alerts – Warning

交換時に受信された「Warning」テープアラートの数。

Exchange Write Efficiency

距離を通した容量に基づく、交換時の書き込み効率。パーセンテージでレポートされます。大きい値が望ましいです。StorageTek T10000A 以上のドライブでのみ使用可能です。

「Drives – Overview」および「Media – Overview」画面の「Exchange Write Efficiency」グラフには、すべてのドライブの経時的なシステム平均が表示されます。一部のドライブタイプでは書き込み効率がレポートされないため、レポートされる期間中にどのドライブで交換アクティビティーが行われたかによって、システム平均が経時的に大きく変化する場合があります。特定の日付で T10000A 以上のドライブの交換がない場合、その日の値は 0 に設定されます。

Exchange Write Inefficient

ドライブがドライブタイプ用の書き込み効率標準を満たすことができないかどうかを示します。取り得る値は「True」または「False」です。StorageTek T10000A 以上のドライブでのみ使用可能です。

2.7. F

Formatted Density Code

SCSI Report Density Support コマンドでレポートされた、ドライブでサポートされる密度。

2.8. H

Host DB Sync Errors

ホストデータベースの同期化エラーの合計数。

Host Request Timeouts

タイムアウトで終了したホストリクエストの合計数。

HP Device Status

ドライブのステータスを示す 4 バイトの 16 進数コード。HP ドライブでのみ使用可能です。

HP Media Status

メディアのステータスを示す 4 バイトの 16 進数コード。HP メディアでのみ使用可能です。

2.9. I

IBM Drive Efficiency

ドライブの耐用期間にわたる効率性を示す 3 バイトの 16 進数コード。取り得る値は「01h」(最大) - 「FFh」(最小) です。「00h」は、効率性が不明であることを示します。IBM LTO4 以上のドライブでのみ使用可能です。

IBM Media Efficiency

メディアの耐用期間にわたる効率性を示す 3 バイトの 16 進数コード。取り得る値は「01h」(最大) - 「FFh」(最小) です。「00h」は、効率性が不明であることを示します。IBM LTO4 以上のドライブでのみ使用可能です。

Interface Name

イベントに関連付けられたデバイスのインタフェースタイプ。

2.10. L

Last CAP Message

ライブラリで直接レポートされた CAP の現在の状況。オプションは「DEGRADED」、「NORMAL」、「NOTOPERATIVE」、「UNKNOWN」です。

Last Drive Message

ライブラリで直接レポートされたドライブの現在の状況。ドライブ用のメッセージがライブラリから STA で受信されるたびに更新されます。取り得る値は次のとおりです。

- DEGRADED – ドライブにエラーが発生しました。
- NORMAL – ドライブが正常に動作しています。
- NOTOPERATIVE – ライブラリとドライブとの通信が失われたか、またはドライブにエラーまたは機械的な障害が発生しました。
- UNKNOWN – STA がドライブに関するメッセージを受信しませんでした。ドライブに関する最初のメッセージが受信されるまで、これがデフォルト値です。

Last Elevator Message

ライブラリで直接レポートされたエレベータの現在の状況。オプションは「DEGRADED」、「NORMAL」、「NOTOPERATIVE」、「UNKNOWN」です。

Last Exchange Start

最近の交換用にドライブが予約された日時。

注:

このフィールドは、この交換に関する入手可能な詳細がすべて表示された「Exchanges Overview」画面の詳細ビューにリンクされています。12章「[Exchanges Overview](#) 画面」を参照してください。

Last Library Message

ライブラリで直接レポートされたライブラリの現在の状況。ライブラリの最上位状態に関するメッセージがライブラリから STA で受信されるたびに更新されます。取り得る値は次のとおりです。

- DEGRADED – ライブラリにエラーが発生しました。
- NORMAL – ライブラリが正常に動作しています。
- NOTOPERATIVE – ライブラリが動作していません。
- Null (値が表示されない) – STA がライブラリからメッセージを受信しませんでした。ライブラリに関する最初のメッセージが受信されるまで、これがデフォルト値です。

Last PTP Message

ライブラリで直接レポートされたパススルーポート (PTP) の現在の状況。SL8500 ライブラリにのみ適用されます。オプションは「DEGRADED」、「NORMAL」、「NOTOPERATIVE」、「UNKNOWN」です。

Last Robot Message

ライブラリでレポートされたロボットの現在のヘルス。オプションは「DEGRADED」、「NORMAL」、「NOTOPERATIVE」、「UNKNOWN」です。

注:

この属性は、ライブラリデータの収集が完了したときにのみ更新されます。通常の実行は自動的に実行されます。また、手動によるデータ収集はいつでも開始できます。詳細については、『STA ユーザーズガイド』を参照してください。

Library

ライブラリフレームのシリアル番号。

注:

このフィールドは、このドライブに関する入手可能な詳細がすべて表示された「Libraries – Overview」画面の詳細ビューにリンクされています。4章「[Libraries Overview](#) 画面」を参照してください。

Library Alert Count

定義されている STA アラートポリシーに基づいて、このライブラリ用に生成されたアラートの合計数。

注:

このフィールドは、このライブラリ用のアラートが一覧表示された「Alerts Overview」画面のリストビューにリンクされています。11章「[Alerts](#) 画面」を参照してください。

Library Complex

STA によってコンプレックスに割り当てられた名前。

- SL150、SL500、および SL3000 ライブラリの場合、この値の形式は「`library_model_library_serial_number`」です。例: SL150_262960B+1234BA0018、SL500_522000001839、SL3000_571000020075
- SL8500 ライブラリの場合、この値の形式は「`library_model_complex_ID`」です。例: SL8500_1、SL8500_4

このフィールドは、このコンプレックスに関する入手可能な詳細がすべて表示された「Libraries – Complexes Overview」画面の詳細ビューにリンクされています。「[Library Complexes](#)」画面を参照してください。

Library Complex Alert Count

定義されている STA アラートポリシーに基づいて、このライブラリコンプレックス用に生成されたアラートの合計数。

注:

このフィールドは、このコンプレックス用のアラートが一覧表示された「Alerts Overview」画面のリストビューにリンクされています。11章「[Alerts](#) 画面」を参照してください。

Library Complex Name

STA によってコンプレックスに割り当てられた名前。

- SL150、SL500、および SL3000 ライブラリの場合、この値の形式は「`library_model_library_serial_number`」です。例: `SL150_262960B+1234BA0018`、`SL500_522000001839`、`SL3000_571000020075`
 - SL8500 ライブラリの場合、この値の形式は「`library_model_complex_ID`」です。例: `SL8500_1`、`SL8500_4`
-

注:

このフィールドは、このコンプレックスに関する入手可能な詳細がすべて表示された「Libraries – Complexes Overview」画面の詳細ビューにリンクされています。3章「[Complexes Overview](#) 画面」を参照してください。

Library Complex Number

ライブラリ上に構成されたライブラリコンプレックス ID。SL150、SL500、および SL3000 ライブラリの場合、この値は常に「1」です。SL8500 ライブラリの場合、この値は Oracle サポート担当者によって設定され、コンプレックスごとに一意である必要があります。

Library Firmware Updated

最後にライブラリファームウェアを更新した日時。

Library Firmware Version

現在のライブラリファームウェアのバージョン。

Library IP address #1

ライブラリ上のパブリックポートの IP アドレス。属性値は、ライブラリ接続が構成されるときに、ユーザーまたは管理者によって指定されます。SL150 ライブラリの場合には Network Port 1 ポート、SL500 ライブラリの場合には 1B ポート、SL3000 および SL8500 ライブラリの場合には 2B ポートです。

注:

冗長電子装置機能を使用している SL3000 および SL8500 ライブラリの場合、これはアクティブコントローラカード上の 2B ポートにするべきです。

Library IP address #2

属性値は、ライブラリ接続が構成されるときに、ユーザーまたは管理者によって指定されます。SL150 および SL500 ライブラリの場合、この属性は常に空白です。

SL3000 および SL8500 ライブラリの場合、このエントリによって、冗長電子装置の切り替えまたはデュアル TCP/IP のフェイルオーバーが発生した場合でも、STA がライブラリとの中断なしの SNMP 通信を維持できます。エントリは、次のいずれかになる場合があります。

- 冗長電子装置機能を使用しているライブラリの場合、代替 (スタンバイ) コントローラカード上の 2B ポートの IP アドレスです。
- デュアル TCP/IP 機能を使用しているライブラリの場合、アクティブコントローラカード上の 2A ポートの IP アドレスです。
- 両方の機能を使用しているライブラリの場合、ユーザーまたは管理者が指定した内容に応じて、上記のいずれかになります。STA 用にライブラリを構成する詳細な手順については、『*STA インストールおよび構成ガイド*』を参照してください。
- どちらの機能も使用していないライブラリの場合、この属性は空白です。

Library Last Booted

最後にライブラリがリブートされた日時。SL150 および SL500 ライブラリにのみ指定されます。

Library Model

ライブラリモデル番号。取り得る値は「SL150」、「SL500」、「SL3000」、または「SL8500」です。

Library Name

ユーザーが割り当てたライブラリの名前。「Settings – SNMP Connections」画面で割り当てられます。

Library Number

ライブラリに割り当てられている一意の ID。

Library Scan Completed

最近のライブラリ構成データの収集が正常に完了した日時。

Library Serial Number

ライブラリフレームのシリアル番号。

注:

このフィールドは、このライブラリに関する入手可能な詳細がすべて表示された「Libraries – Overview」画面の詳細ビューにリンクされています。4章「[Libraries Overview](#) 画面」を参照してください。

Library SNMP Traps

ライブラリから STA で受信された SNMP トラップの合計数。ライブラリ、ドライブ、CAP またはメールスロット、およびパススルーポート (PTP) のステータスのいずれか、ライブラリ環境のチェック、ライブラリのログ、ライブラリの接続テスト、およびライブラリ構成データの収集用のトラップが含まれます。

注:

このフィールドは、このライブラリ用の SNMP トラップが一覧表示された「Libraries – Messages」画面のリストビューにリンクされています。15章「[Messages](#) 画面」を参照してください。

Library WWNN

ライブラリの World Wide Node Name。

Lifetime Hours Incompatible

ドライブの耐用期間にわたって、互換性のないメディアがロードされていた期間の合計ヘッド移動時間。

Logical Group(s)

ドライブまたはメディアが割り当てられている論理グループ。

2.11. M

MB R/W

「Complexes Overview」および「Libraries Overview」の場合、ライブラリまたはコンプレックス内のすべてのドライブによって読み書きされた合計メガバイト数。

「Drives Overview」の場合、ドライブによって読み書きされた合計メガバイト数。

「Media Overview」の場合、メディアから読み取られたおよびメディアに書き込まれた合計メガバイト数。

MB Read

「Complexes Overview」および「Libraries Overview」の場合、ライブラリまたはコンプレックス内のすべてのドライブによって読み取られた合計メガバイト数。

「Drives Overview」の場合、ドライブによって読み取られた合計メガバイト数。

「Media Overview」の場合、メディアから読み取られた合計メガバイト数。

MB Received

「Complexes Overview」および「Libraries Overview」の場合、ライブラリまたはコンプレックス内のすべてのドライブによってホストから受信された非圧縮データの合計メガバイト数。

「Drives Overview」の場合、書き込み操作中に、ドライブによってホストから受信された合計メガバイト数。ホストアプリケーションに応じて、圧縮データのメガバイト数の場合と非圧縮データのメガバイト数の場合があります。

「Media Overview」の場合、ホストからメディアに書き込まれた合計メガバイト数。ホストアプリケーションに応じて、圧縮のメガバイト数の場合と非圧縮のメガバイト数の場合があります。

MB Sent

「Complexes Overview」または「Libraries Overview」の場合、ライブラリまたはコンプレックス内のすべてのドライブによってホストに送信された非圧縮データの合計メガバイト数。

「Drives Overview」の場合、読み取り操作中に、ドライブによってホストに送信された合計メガバイト数。ドライブで圧縮が有効になっているかどうかに応じて、圧縮のメガバイト数の場合と非圧縮のメガバイト数の場合があります。

「Media Overview」の場合、メディアからホストに送信された合計メガバイト数。ドライブで圧縮が有効になっているかどうかに応じて、圧縮のメガバイト数の場合と非圧縮のメガバイト数の場合があります。

MB Write

「Complexes Overview」または「Libraries Overview」の場合、ライブラリまたはコンプレックス内のすべてのドライブによって書き込まれた合計メガバイト数。

「Drives Overview」の場合、ドライブによって書き込まれた合計メガバイト数。

「Media Overview」の場合、メディアに書き込まれた合計メガバイト数。

Media

外部ラベルによってメディアに割り当てられているボリュームシリアル番号 (VSN または volser)。ライブラリで volser が提供されていない場合は、STA によって「Library Serial Number:Physical Address」で構成される volser が提供されます。

注:

このフィールドは、このメディアに関する入手可能な詳細がすべて表示された「Media – Overview」画面の詳細ビューにリンクされています。6章「[Media Overview](#)」および「[Media Analysis](#)」画面を参照してください。

Media Alert Count

定義されている STA アラートポリシーに基づいて、このメディア用に生成されたアラートの合計数。

注:

このフィールドは、このメディア用のアラートが一覧表示された「Alerts Overview」画面のリストビューにリンクされています。11章「[Alerts](#)」画面を参照してください。

Media Auxiliary Memory Capacity

製造時点でのメディアの合計補助メモリー (バイト単位)

Media Blank

メディアに書き込まれたデータが存在しないことを示します。

Media Capacity Utilization

データで使用された合計メディア容量の割合。計算方法は次のとおりです。

Media MB Avail Pre / Media MB Capacity

Media Destination HLI Address

場所のホストライブラリインタフェース (HLI) アドレス。HLI パーティションまたはライブラリ内のドライブまたはメディアスロットにのみ適用されます。このアドレスは、ACSL5 または ELS ホストソフトウェアによって割り当てられます。

注:

ファームウェア FRS_7.80 以上がインストールされた SL8500 ライブラリ、またはファームウェア FRS_4.0 以上がインストールされた SL3000 ライブラリでのみ使用可能です。その他の場合はすべて、値は空白のままです。

メディアスロットの場合、形式は l, p, w, c です。ここでは:

- l = 論理ストレージマネージャー (LSM) 番号。取り得る値は 0、1、2、3 です。
- p = パネル番号。
- r = 行番号。
- c = 列番号。

ドライブの場合、形式は l, p, t です。ここでは:

- l = 論理ストレージマネージャー (LSM) 番号。取り得る値は 0、1、2、3 です。
- p = パネル番号
- t = トランスポート番号

Media Destination Library Number

ライブラリに割り当てられている一意の ID。

Media Destination Physical Address

ライブラリの内部アドレス。

SL150 ライブラリの場合、形式は m, s, w, c です (例: $1, Left, 1, 2$)。ここでは:

- m = モジュール番号 (上 (ベースモジュール) から下に、1-10)
- s = 側面 (「*Left*」または「*Right*」)
- w = 行番号 (上から下に、1-3)
- c = 列番号 (前面から背面に、1-5)

SL500 ライブラリの場合、形式は l, m, r, c です (例: $0, 2, 2, 3$)。ここでは:

- l = パーティション分割されていないライブラリの場合、これはライブラリ ID (常に 0) で、パーティション分割されているライブラリの場合、これはパーティション ID (1-8) です。
- m = モジュール番号 (ラックの上から下に、1-5)
- r = ドライブ行番号 (モジュールの上から下に、1-2 (ベースモジュール) または 1-4 (ドライブ拡張モジュール))
- c = 列番号 (ドライブの場合、常に 9)

SL3000 および SL8500 ライブラリの場合、形式は l, r, c, s, w です (例: $1, 1, 2, 2, 3$)。ここでは:

- l = ライブラリ番号。パーティション分割されていないライブラリの場合、これはライブラリ ID で、パーティション分割されているライブラリの場合、これはパーティション ID (1-8) です。
- r = レール番号。SL3000 ライブラリの場合、この値は常に 1 です。SL8500 ライブラリの場合、取り得る値は 1、2、3、4 です。
- c = 列番号。
- s = 側面番号。
- w = 行番号。

Media Destination Rail Number

レール番号。SL150、SL500、および SL3000 ライブラリの場合、この値は常に 1 です。SL8500 ライブラリの場合、取り得る値は 1、2、3、4 です。

Media Destination SCSI Element ID

宛先場所の SCSI 要素 ID。SCSI パーティションまたはライブラリ内のドライブおよびメディアスロットにのみ適用されます。SCSI ID を割り当てる方法の詳細は、適用可能なライブラリのユーザーズガイドを参照してください。

値「-1」は、その場所が SCSI スロットでないことを示します。たとえば、SL8500 ライブラリ、SL3000 ライブラリ内の HLI パーティション、またはパーティション分割されたライブラリ内のパーティションに割り当てられていないスロット内にある可能性があります。

Media Dismounts

このメディアに対するマウント解除の合計回数。

注:

このフィールドは、このメディアの交換が一覧表示された「Exchanges Overview」画面にリンクされています。12章「[「Exchanges Overview」画面](#)」を参照してください。

Media Ejected from Library

CAP を使用して最後にメディアがライブラリから取り出された日時。

Media Entered Library

CAP を使用して最後にメディアがライブラリに挿入された日時。

Media EOL Percentage

経過したメディアの予測耐用期間の割合。

Media Exchange Status

交換が完了した時点のメディアのステータス。メディアのエラー、書き込み効率、読み取りマージンなどのさまざまな要因から生じます。取り得る値は次のとおりです。

- CART_MEM_FAILURE
- CLEAN_REQ – ドライブをクリーニングする予定です。
- DRIVE_ERROR
- EXPIRED_CLEAN_TAPE

- FAILED_MOUNT
- FW_DOWN_LEVEL
- GOOD
- INCOMPLETE_UNLOAD – アプリケーションがメディアをアンロードするようにリクエストしました。テープドライブがまだバッファ内にあるデータを検出し、アプリケーションから確認するように要求しました。
- INSUFFICIENT_DATA(NULL) – STA がドライブのヘルスを計算するために、十分な交換データをライブラリから受信していません。ドライブがサポートされていなかったり (たとえば、LTO 2)、ライブラリファームウェアがダウンレベルである可能性があります。
- LOAD_ERROR
- LTO_NON_ADI_MODE – ライブラリまたはドライブ (あるいは両方) で、ADI モードが有効になっていません。
- MEDIA_ERROR
- NON_DRV_ERROR – これはドライブの問題でも、メディアの問題でもありません。したがって、ドライブまたはメディアの疑いには影響しません。この交換ステータスが設定されている場合は、原因を特定するのに役立つ、次の追加情報をチェックしてください。

エンタープライズドライブの場合、交換の障害症状コード (FSC) をチェックしてください。

LTO ドライブの場合、最近設定されたテープアラートをチェックしてください。

このステータスは、次の時点で設定される可能性があります。

「Media Write Protect Tape Alert」を設定する必要がある。ホストアプリケーションは、書き込み保護されているメディアへの書き込みを試みています。

T10000B の交換に FSC 6142 が設定されている。このコードは、Oracle Key Manager (OKM) 暗号化鍵を取得する際に問題があったことを示します。この原因として、ネットワーク接続に問題が発生した、OKM が故障した、ドライブの登録が期限切れになり、ドライブを再登録する必要があるなど、いくつかのシナリオが考えられます。OKM がオンラインに戻り、鍵の提供を再開するまで、暗号解除されたテープを読み取るためにドライブが使用される可能性があります。

FSC が 3627、3629、362A、または 362B に設定されている。これらの FSC コードは、「通常の操作」中に設定され、メディアの一部がラベルを付ける前に本当に空白であ

るかどうかチェックされます。ホストアプリケーションは、1) 新しいテープのマウント、2) ラベルがないかどうかのチェックの試み、3) 新しいテープへのラベル付けの順に実行します。

- OTHER_ERROR
- PERM_ERROR
- READ_ERROR
- WRITE_ERROR
- UNKNOWN
- UNLOAD_ERROR

Media Health

STA 分析で計算されたメディアのヘルス。この値には、メディアのエラー履歴、読み取りマージン、書き込み効率などのさまざまな要因が反映されます。最後に完了した交換までのすべてのデータが含まれ、交換の完了直後に更新されます。

取り得る値は、ヘルスの低下順に次のとおりです。

- USE – 最近 10 回の交換で、メディアの障害または低下は発生していません。
- MONITOR – メディアに複数のエラーが発生しました。修理する必要があるものは、80% 未満です。
- EVALUATE – メディアに複数のエラーが発生しました。修理する必要があるものは、80% 以上です。
- ACTION – メディアに修理を必要とするエラーが発生しました。
- UNKNOWN – STA がメディアのヘルスを計算するために十分なデータを受信しませんでした。この原因として、サポートされていないドライブモデル、ダウンレベルのファームウェアがインストールされているドライブ、ADI モードが有効になっていない LTO ドライブでの交換などのさまざまな要因が考えられます。

注:

STA は、メディアへの読み取りまたは書き込みアクティビティーの実行時に、ドライブで検出されたエラーに関する情報のみを受信します。STA は、データパスまたはホストアプリケーションで発生した可能性のあるエラーに関する情報を受信しません。

Media Health Trend

STA 分析で計算された、最近 2 回の交換におけるメディアのヘルスの傾向。オプションは「BETTER」、「UNCHANGED」、「WORSE」です。

Media HLI Address

場所のホストライブラリインタフェース (HLI) アドレス。HLI パーティションまたはライブラリ内のドライブまたはメディアスロットにのみ適用されます。このアドレスは、ACSL5 または ELS ホストソフトウェアによって割り当てられます。

注:

ファームウェア FRS_7.80 以上がインストールされた SL8500 ライブラリ、またはファームウェア FRS_4.0 以上がインストールされた SL3000 ライブラリでのみ使用可能です。その他の場合はすべて、値は空白のままです。

メディアスロットの場合、形式は l, p, w, c です。ここでは:

- l = 論理ストレージマネージャー (LSM) 番号。取り得る値は 0、1、2、3 です。
- p = パネル番号。
- r = 行番号。
- c = 列番号。

ドライブの場合、形式は l, p, t です。ここでは:

- l = 論理ストレージマネージャー (LSM) 番号。取り得る値は 0、1、2、3 です。
- p = パネル番号
- t = トランスポート番号

Media Length in Meters

メディアの長さ (メートル)

Media Library Name

ユーザーが割り当てたライブラリの名前。「Settings – SNMP Connections」画面で割り当てられます。

Media Library Number

ライブラリに割り当てられている一意の ID。

Media Library Serial Number

ライブラリフレームのシリアル番号

注:

このフィールドは、このライブラリに関する入手可能な詳細がすべて表示された「Libraries – Overview」画面の詳細ビューにリンクされています。4章「[Libraries Overview](#) 画面」を参照してください。

Media Life Indicator

メディアの予測耐用期間の終わりに達しているかどうかを示します。取り得る値は「EOL」、「GOOD」、「UNKNOWN」です。

Media Long Type

ライブラリでレポートされた詳細なメディアタイプ。たとえば、「LtoGen5_1500GB」、「LtoGen6_2.5TB」、「T10000」、「T10000T2_Sport」、「T10kUniv_Cleaning」です。「UNKNOWN」は、外部ボリュームシリアル番号 (VSN または volser) ラベルが見つからないメディア、または読み取り不可であるメディアを示します。

Media Manufacturer Date

メディアが製造された日付 (「yyyymmdd」の形式)。

注:

この日付は、UTC 時間からユーザーの「Preferences」設定で指定されたタイムゾーンに変換されます。

Media Manufacturer Serial Number

製造元によって割り当てられたメディアのシリアル番号。

注:

ドライブでメディアがマウントされるまで、STA には、この情報が存在しません。

Media MB Avail Post

使用されていないメディア容量 (メガバイト単位)。この値は、交換の完了後に指定されます。StorageTek エンタープライズドライブでのみ使用可能です。

注:

レポートされる値は、ドライブのベンダーなどの要素によって異なります。

Media MB Avail Pre

使用されていないメディア容量 (メガバイト単位)。この値は、交換の開始前に指定されます。LTO ドライブでのみ使用可能です。

注:

レポートされる値は、ドライブのベンダーなどの要素によって異なります。

Media MB Capacity

最大のメディア容量 (メガバイト単位)。

注:

レポートされる値は、ドライブのベンダーなどの要素によって異なります。

Media Physical Address

ライブラリの内部アドレス。

SL150 ライブラリの場合、形式は *m, s, w, c* です (例: *1, Left, 1, 2*)。ここでは:

- *m* = モジュール番号 (上 (ベースモジュール) から下に、1-10)
- *s* = 側面 («*Left*» または «*Right*»)
- *w* = 行番号 (上から下に、1-3)
- *c* = 列番号 (前面から背面に、1-5)

SL500 ライブラリの場合、形式は l, m, r, c です (例: 0, 2, 2, 3)。ここでは:

- l = パーティション分割されていないライブラリの場合、これはライブラリ ID (常に 0) で、パーティション分割されているライブラリの場合、これはパーティション ID (1-8) です。
- m = モジュール番号 (ラックの上から下に、1-5)
- r = ドライブ行番号 (モジュールの上から下に、1-2 (ベースモジュール) または 1-4 (ドライブ拡張モジュール))
- c = 列番号 (ドライブの場合、常に 9)

SL3000 および SL8500 ライブラリの場合、形式は l, r, c, s, w です (例: 1, 1, 2, 2, 3)。ここでは:

- l = ライブラリ番号。パーティション分割されていないライブラリの場合、これはライブラリ ID で、パーティション分割されているライブラリの場合、これはパーティション ID (1-8) です。
- r = レール番号。SL3000 ライブラリの場合、この値は常に 1 です。SL8500 ライブラリの場合、取り得る値は 1, 2, 3, 4 です。
- c = 列番号。
- s = 側面番号。
- w = 行番号。

Media Rail Number

レール番号。SL150、SL500、および SL3000 ライブラリの場合、この値は常に 1 です。SL8500 ライブラリの場合、取り得る値は 1, 2, 3, 4 です。

Media Slot SCSI Element ID

メディアが配置されているスロットの SCSI 要素 ID。SCSI パーティションまたはライブラリ内のメディアスロットにのみ適用されます。SCSI ID を割り当てる方法の詳細は、適用可能なライブラリのユーザーズガイドを参照してください。

値「-1」は、メディアが SCSI スロットにないことを示します。たとえば、SL8500 ライブラリ、SL3000 ライブラリ内の HLI パーティション、またはパーティション分割されたライブラリ内のパーティションに割り当てられていないスロット内にある可能性があります。

Media Slots Activated

ハードウェアアクティベーションによってアクティブになったメディアスロットの合計数。

Media Slots Installed

取り付けられたが、必ずしも使用するためにアクティブになっていないメディアスロットの合計数。

Media Slots Occupied

占有されているメディアスロットの合計数。この数には、アクティブになっているストレージスロットとシステムスロットの両方が含まれます。

システムスロットはデータメディアの長期間の格納を目的としていませんが、特定の状況では、データメディアが一時的に含まれる可能性があります。STA によるモニター対象のメディアがシステムスロットに存在する状況の例は、次のとおりです。システムスロットの使用に関する詳細は、使用しているライブラリのユーザーズガイドを参照してください。

- ライブラリの診断セルフテスト中に、データメディアがシステムスロットに移動される可能性がある。
- 冗長電子装置のフェイルオーバー中に、データメディアがシステムスロットに移動される可能性がある。
- ライブラリが自動クリーニングを使用している場合に、クリーニングメディアがシステムスロットに格納される可能性がある。

注:

この属性は、ライブラリデータの収集が完了したときのみ更新されます。たとえば、CAP を使用してメディアを挿入する場合は、この属性で新しいメディア数が反映される前に、手動によるデータ収集を実行したり、スケジュールされた収集が完了するまで待機したりすることが必要な場合があります。詳細については、『STA ユーザーズガイド』を参照してください。

注:

このフィールドは、このライブラリ用のメディアがすべて一覧表示された「Media – Overview」画面のリストビューにリンクされています。6章「[Media Overview](#)」および「[Media Analysis](#)」画面を参照してください。

Media Slots Unoccupied

メディアが存在しないメディアスロットの合計数。この数には、アクティブになっているストレージスロットとシステムスロットの両方が含まれます。

Media Source HLI Address

場所のホストライブラリインタフェース (HLI) アドレス。HLI パーティションまたはライブラリ内のドライブまたはメディアスロットにのみ適用されます。このアドレスは、ACSL5 または ELS ホストソフトウェアによって割り当てられます。

注:

ファームウェア FRS_7.80 以上がインストールされた SL8500 ライブラリ、またはファームウェア FRS_4.0 以上がインストールされた SL3000 ライブラリでのみ使用可能です。その他の場合はすべて、値は空白のままです。

メディアスロットの場合、形式は l, p, w, c です。ここでは:

- l = 論理ストレージマネージャー (LSM) 番号。取り得る値は 0、1、2、3 です。
- p = パネル番号。
- r = 行番号。

- c = 列番号。

ドライブの場合、形式は l, p, t です。ここでは:

- l = 論理ストレージマネージャー (LSM) 番号。取り得る値は 0、1、2、3 です。
- p = パネル番号
- t = トランスポート番号

Media Source Library Number

ライブラリに割り当てられている一意の ID。

Media Source Physical Address

ライブラリの内部アドレス。

SL150 ライブラリの場合、形式は m, s, w, c です (例: $1, Left, 1, 2$)。ここでは:

- m = モジュール番号 (上 (ベースモジュール) から下に、1-10)
- s = 側面 (「*Left*」または「*Right*」)
- w = 行番号 (上から下に、1-3)
- c = 列番号 (前面から背面に、1-5)

SL500 ライブラリの場合、形式は l, m, r, c です (例: $0, 2, 2, 3$)。ここでは:

- l = パーティション分割されていないライブラリの場合、これはライブラリ ID (常に 0) で、パーティション分割されているライブラリの場合、これはパーティション ID (1-8) です。
- m = モジュール番号 (ラックの上から下に、1-5)
- r = ドライブ行番号 (モジュールの上から下に、1-2 (ベースモジュール) または 1-4 (ドライブ拡張モジュール))
- c = 列番号 (ドライブの場合、常に 9)

SL3000 および SL8500 ライブラリの場合、形式は l, r, c, s, w です (例: $1, 1, 2, 2, 3$)。

ここでは:

- l = ライブラリ番号。パーティション分割されていないライブラリの場合、これはライブラリ ID で、パーティション分割されているライブラリの場合、これはパーティション ID (1-8) です。
- r = レール番号。SL3000 ライブラリの場合、この値は常に 1 です。SL8500 ライブラリの場合、取り得る値は 1、2、3、4 です。
- c = 列番号。
- s = 側面番号。
- w = 行番号。

Media Source Rail Number

レール番号。SL150、SL500、および SL3000 ライブラリの場合、この値は常に 1 です。SL8500 ライブラリの場合、取り得る値は 1、2、3、4 です。

Media Source SCSI Element ID

ソース場所の SCSI 要素 ID。SCSI パーティションまたはライブラリ内のドライブおよびメディアスロットにのみ適用されます。SCSI ID を割り当てる方法の詳細は、適用可能なライブラリのユーザーズガイドを参照してください。

値「-1」は、その場所が SCSI スロットでないことを示します。たとえば、SL8500 ライブラリ、SL3000 ライブラリ内の HLI パーティション、またはパーティション分割されたライブラリ内のパーティションに割り当てられていないスロット内にある可能性があります。

Media Start Tracking

STA で最初に、このボリュームシリアル番号 (VSN または volser) の追跡が開始された日時。複数のメディアで volser が使用されている場合、このフィールドには使用可能なもっとも早い開始日付が反映されます。

Media Stop Tracking

STA で最初に、このボリュームシリアル番号 (VSN または volser) の追跡が停止された日時。これは、volser がモニター対象のライブラリのいずれにも存在しないことが STA で判断され、volser のステータスが「missing」から「removed」に更新された日時です。

Media Suspicion Level

計算されたメディアの疑いレベル。取り得る値は 0–100 です。小さい数値ほど望ましいです。数値が大きくなるほど、メディアへの注意が必要となる可能性も大きくなります。

Media Type

メディアタイプの簡単な説明。たとえば、「LTO4」、「LTO_CLNU」、「T10000T1」、「T10000T2_CLN」です。「UNKNOWN」は、外部ボリュームシリアル番号 (VSN または volser) ラベルが見つからないメディア、または読み取り不可であるメディアを示します。

注:

すべての DLT および SDLT メディアでは、タイプが「UNKNOWN」であり、STA でヘルスが計算されません。

Media Write Efficiency

距離を通した容量に基づく、メディア上のすべてのデータの書き込み効率。パーセンテージで表示されます。データの書き込みに要したブロック数と、必要なブロック数を比較することで計算されます。

ドライブファームウェアが TTI 5.4 をサポートしている場合にのみ使用可能です。

この属性は、ドライブの補正および制限で使用されるメディアを選択する際に役立ちます。

Meters Between 2 Most Recent Cleans

最近 2 回のクリーニング間で、ドライブによって読み書きされた合計メガバイト数。

Meters since Last Clean

最後のクリーニング以降に、ドライブによって読み書きされた合計メガバイト数。

Monitored since

STA で、このリソース (ライブラリ、コンプレックス、ドライブ、またはメディア) の追跡が開始された日時。

Mount R/W MB

マウント時に、ドライブによって読み書きされた合計メガバイト数。

Mount R/W MB/sec

ドライブの平均スループット率 (1 秒あたりのメガバイト数)。計算方法は次のとおりです。

```
total MB (read +written) /total seconds mount time
```

注:

この値は、ロボットの速度やアプリケーションの動作など、ドライブ外部のさまざまな要因による影響を受ける可能性があります。たとえば、一部のアプリケーションでは、読み取りまたは書き込み操作の完了直後にメディアがマウント解除されないため、マウント時の大半はドライブがアイドル状態になります。その結果、この値がドライブの潜在的な最大スループット率を表さない可能性があります。

Mount Read MB

マウント時にドライブによって読み取られた合計メガバイト数。

注:

一部のメディアトランザクションでは、入出力が非常に少量です。0.0 よりも大きい値と 0.1 よりも小さい値は、すべて「0.01」と表示されます。値「0.0」は、入出力がないことを示します。

Mount Read MB/sec

ドライブの平均読み取り率 (1 秒あたりのメガバイト数)。計算方法は次のとおりです。

```
total MB read /total seconds mount time
```

注:

この値は、ロボットの速度やアプリケーションの動作など、ドライブ外部のさまざまな要因による影響を受ける可能性があります。たとえば、一部のアプリケーションでは、読み取りまたは書き込み操作の完了直後にメディアがマウント解除されないため、マウント時の大半はドライブがアイドル状態になります。その結果、この値がドライブの潜在的な最大読み取り率を表さない可能性があります。

Mount Received MB

マウント時にアプリケーションによってドライブから受信された非圧縮の合計メガバイト数。

Mount Sent MB

マウント時にアプリケーションからドライブに送信された非圧縮の合計メガバイト数。

Mount Write MB

マウント時にドライブによって書き込まれた合計メガバイト数。

Mount Write MB/sec

ドライブの平均書き込み率 (1 秒あたりのメガバイト数)。計算方法は次のとおりです。

$$\text{total MB written} / \text{total seconds mount time}$$

注:

この値は、ロボットの速度やアプリケーションの動作など、ドライブ外部のさまざまな要因による影響を受ける可能性があります。たとえば、一部のアプリケーションでは、読み取りまたは書き込み操作の完了直後にメディアがマウント解除されないため、マウント時の大半はドライブがアイドル状態になります。その結果、この値がドライブの潜在的な最大書き込み率を表さない可能性があります。

2.12. MV

MV Calibration Attempts

最近の補正または制限サイクル時に、ドライブ上で試みられた補正の回数。正常に補正または制限を行うには、最低でも 2 回の試みが必要です。取り得る値は 0、1、2、3 です。

MV Calibration Current State

ドライブの補正および制限に関連するメディアの現在の状態。

プライマリまたはセカンダリ補正メディアとして、メディアが検証ドライブに割り当てられている場合にのみ適用されます。オプションには「Assigned」、「Available」、「Calibrated」、「Not Suitable」、「Media in Calibration」、「Media in Qualification」が含まれます。

MV Calibration Drive SN

このメディアを使用して最近補正または制限された検証ドライブのシリアル番号。

MV Calibration Drive Type

このメディアを使用して最近補正または制限された検証ドライブのドライブタイプ。

MV Calibration Information

ドライブの最近の補正または制限に関する情報。オプションには「Calibration in progress」、「Completed」が含まれます。

MV Calibration Initial DQI

このメディアが使用された最近のドライブ補正時に計算された Data Quality Index (DQI)。DQI は、メディア上に残っているエラー修正数の測定値です。大きい値ほど望ましいです。

補正メディアの論理グループに割り当てられ、検証ドライブファームウェアが TTI 5.4 をサポートしている T1000T2 メディアにのみ指定されます。

MV Calibration Initial Suspicion

このメディアが使用された最近のドライブ補正のメディア疑いレベル。取り得る値は 0–100 です。小さい数値ほど望ましいです。数値が大きくなるほど、メディアへの注意が必要となる可能性も大きくなります。

検証ドライブのプライマリまたはセカンダリ補正メディアとしてメディアが割り当てられている場合にのみ指定されます。

MV Calibration Last DQI

このメディアが使用された最近のドライブ制限時に計算された Data Quality Index (DQI)。DQI は、メディア上に残っているエラー修正数の測定値です。大きい値ほど望ましいです。

検証ドライブのプライマリまたはセカンダリ補正メディアとして割り当てられ、ドライブファームウェアが TTI 5.4 をサポートしている T1000T2 にのみ指定されます。

MV Calibration Library Complex

このメディアを使用して最近のドライブ補正または制限が実行されたライブラリコンプレックスの名前。

MV Calibration Library Model

このメディアを使用して最近のドライブ補正または制限が実行されたライブラリのモデル。

MV Calibration Library SN

このメディアを使用して最近のドライブ補正または制限が実行されたライブラリコンプレックスのシリアル番号。

MV Calibration Number of Wraps

メディア上に存在するデータのラップの合計数。「Media Type」および「MV Calibration MB Used」に基づいて計算されます。

ドライブ補正および制限で使用されるデータがメディアに十分にあるかどうかを判断する際に使用されます。

MV Calibration Request

次のプロセスのいずれかを実行するために、STA によって交換が開始されたことを示します。

- ドライブの補正
- ドライブの制限
- STA 履歴のない補正メディア上で実行された「Basic Verify」

MV Calibration Starting Suspicion

最近のドライブ補正の開始時にレポートされたドライブの疑いレベル。取り得る値は 0-100 です。小さい数値ほど望ましいです。数値が大きくなるほど、ドライブへの注意が必要となる可能性も高くなります。

MV Calibration State

ドライブ上で実行された最近のドライブ補正または制限の状態。オプションは次のとおりです。

- ドライブとメディアの両方の場合、「Calibrated」、「Not calibrated」、「Not Suitable」、「Offline」、「Drive Calibration Needs Media」、「Media Make History」です。
- ドライブのみの場合、「Drive In Calibration 1」、「Drive In Calibration 2」、「Drive In Qualification 1」、「Drive In Qualification 2」です。

- メディアのみの場合、「Media In Calibration」、「Media In Qualification」です。

MV Calibration Status Information

最近のメディア検証ステータスに関する情報。補正メディアの論理グループにメディアが割り当てられている場合にのみ使用可能です。

MV Count

メディア上で実行された検証の合計回数。

MV Days Since Last Validation

最後の検証時間に基づいて、メディアが最後に検証された以降の日数。メディアが検証されていない場合は、Null です。

MV DQI

メディア検証の結果に基づいて、STA 分析によって計算された Data Quality Index (DQI)。DQI は、メディア上に残っているエラー修正数の測定値です。これはメディアに固有の値であり、ドライブの関与を除外することで、Read Quality Index (RQI) よりもメディアの品質に的を絞った測定が実現されます。

T10000T2 メディアが関与する検証、および TTI 5.4 をサポートしているファームウェアがインストールされた検証ドライブにのみ指定されます。

DQI はパーセンテージでレポートされ、値が大きいほど望ましいです。次の状況では計算されません。

- 検証が「Basic Verify」である。
- 検証対象メディアの「Media Type」が「T10000T1」である。
- 検証の結果、メディア検証の「Perm Status」が「True」になる。
- 検証の結果、「Invalid MIR」エラーが発生する。

MV Drive Allocated

SL コンソールを使用して、メディア検証ドライブプールにドライブが割り当てられていることを示します。

MV Drive Available

STA 分析で判断されたように、メディア検証の交換を実行するために、ドライブが現在使用可能であることを示します。この属性が空白である場合、ドライブは STA メディア検証の最小要件を満たしていません。

MV Drive Capable

STA が検証アクティビティで、このデバイスを使用できることを示します。SL コンソールを使用してメディア検証ドライブプールにドライブが割り当てられ、ドライブタイプおよびドライブファームウェアのバージョンで STA メディア検証がサポートされています。

MV Drive In Use

検証ドライブが STA、別のアプリケーション、または診断操作によって現在使用中であることを示します。

MV Drive Last Calibrated

ドライブが最近補正された日時。

MV Drive Reserved

メディア検証で使用するために、検証ドライブが STA によって予約されていることを示します。

MV Estimated Time Remaining

ドライブでレポートされた、メディア検証で残っている推定時間。この値は定期的に更新されます。進行中の検証でのみ使用可能です。

MV Incomplete

検証が完了していないことを示します。検証は保留中の場合と処理中の場合があります。オプションは「True」または「False」です。

MV Initiator

メディア検証アクティビティを開始するために使用されるソフトウェアアプリケーションまたはデバイス。オプションは「DRIVE」、「HOST」、「LIBRARY」、「SLC」、「STA」です。

MV Interrupted

検証がメディアに対するホストリクエストによって中断されたか、または処理中に取り消されたことを示します。オプションは「True」または「False」です。

この値が「True」になっている検証は、再送信できます。

MV Last Activity

最近のメディア検証が開始された日時。「Drives – Overview」の場合、これはドライブで実行された最近の検証です。「Media – Overview」の場合、これはメディア上で実行された最近の検証です。

MV Last Calibration Date

ドライブ補正で最後にメディアが使用された日時。

補正メディアの論理グループにメディアが割り当てられている場合にのみ使用可能です。

MV Last Calibration DQI

最近のドライブ補正の完了時にレポートされた Data Quality Index。DQI は、メディア上に残っているエラー修正数の測定値です。大きい値ほど望ましいです。

T10000T2 メディアが関与する検証、および TTI 5.4 をサポートしているファームウェアがインストールされた検証ドライブにのみ指定されます。

MV Last Qualification Start

ドライブの最近の制限が開始された日時。

MV Last Recommendation

最近完了したメディア検証に対する推奨ユーザーアクション。検証の結果に基づいて、STA 分析によって判断されます。たとえば、「Media OK: Continue using」、「Corrupted MIR: Rebuild MIR and Re-run Media Validation」、「Migrate the data and scratch the tape」です。

MV Last Recording Technique

このメディアで実行された最近の補正または制限時に、ドライブで使用された「Exchange Recording Technique」。

MV Last State Update

このメディア検証のステータスが最後に更新された日時。「MV Request State」が変更されるたびに更新されます。

MV Last Test Type

このメディア上での最近の検証時に実行された検証テストのタイプ。

MV Library Error

メディア検証時に発生したライブラリエラーに対応するライブラリイベントコード。値は、テストの完了を妨げた操作上の問題がメディア検証で発生したことを示します。メディア自体に問題が発生したことは示しません。

ライブラリイベントコードは、SL コンソールを使用して表示できます。詳細は、『SL8500 ユーザーズガイド』を参照してください。

MV MB Tape Used

ドライブ補正時にドライブによって特定された、メディアに書き込まれたデータの合計量。

メディアの「MV Calibration Number of Wraps」を計算するために、「Media Type」で使用されます。

MV Policy Name

メディア検証ポリシーに割り当てられているユーザー定義の名前。

MV Pool End Date

メディアが補正での使用に適さなくなった日付。考えられる理由は次のとおりです。補正メディアの制限の詳細については、『STA ユーザーズガイド』を参照してください。

- メディアが補正メディア論理グループから削除された。
- メディアが補正に不適格になった。
- メディアに新しいデータが書き込まれ、以前の補正情報が無効になった。
- メディアがテープライブラリシステムから取り外された。

MV Pool Start Date

メディアが補正メディア論理グループに追加された日付。

MV Primary Calibration Media

プライマリ補正メディアとして、このメディアが検証ドライブに割り当てられていることを示します。取り得る値は「True」または「False」(空白)です。

- プライマリ補正メディアの場合、この属性は「True」であり、「MV Calibration Drive SN」属性は割り当てられているドライブを示します。
- セカンダリ補正メディアの場合、この属性は「False」であり、「MV Calibration Drive SN」属性は割り当てられているドライブを示します。
- ドライブ補正で使用されていないメディアの場合、この属性は「False」であり、「MV Calibration Drive SN」のエントリは存在しません。

MV Primary Qualification Start

プライマリ補正メディアを使用しているドライブの最近の制限が開始された日時。

MV Priority Order

メディア検証リクエストがキューで処理される順序。保留中および処理中のリクエストにのみ適用されます。完了した検証の場合、この値は空白です。

MV Recommendation

メディア検証の結果に基づいて STA 分析によって決定された、推奨されるユーザーアクション。完了した検証でのみ指定されます。たとえば、「Media OK: Continue using」、「Corrupted MIR: Rebuild MIR and Re-run Media Validation」、「Migrate the data and scratch the tape」です。

MV Request Start

メディア検証リクエストが MV キューに配置された日時。リクエストのソースに応じて、これは MV リスクストが STA によって開始された時間、または別のアプリケーションによって開始されたリクエストが STA で認識された時間です。

MV Request State

メディア検証リクエストのステータス。たとえば、「Completed」、「Error」、「In-Progress - Stop Requested」、「Pending」、「Starting」、「Unknown」です。

MV Result

検証テストの正常な完了時に STA 分析によって判断された、メディア検証の最終結果。この属性は、メディア上のデータの品質にのみ適用されます。

オプションは「DEGRADED」、「FAILED」、「USE」、「UNKNOWN」です。検証が中断されたり、正常に完了しなかったりした場合、この値は「UNKNOWN」です。

MV Secondary Qualification Start

セカンダリ補正メディアを使用しているドライブの最近の制限が開始された日時。

MV Status Information

メディア検証リクエストで発生した問題に関する情報を提供します。この情報では、問題について説明する場合や、実行する必要がある修正アクションを提案する場合があります。通常、この属性は空白です。たとえば、「Waiting for drive; all drives in use」や「Incompatible tape format for drive」です。

値「Drive Timeout; MDV manager cancel」は、検証を完了するまでに 9 時間以上かかるため、STA がメディアをメディアスロットに戻すようにライブラリにリクエストしたことを示します。通常、これはライブラリ操作上のエラーの結果です。検証交換の「Read Percentage」属性が 100% よりも小さい場合、検証が完了しませんでした。このステータスがメディアで再発する場合、そのメディアで問題が発生している可能性があります。ドライブで再発する場合、そのドライブで問題が発生している可能性があります。

MV Test Percentage

このメディア検証時に完了した検証テストの割合。この値は、進行中の検証で定期的に更新されます。

値 100 は、テストが正常に完了したことを示します。テストが中断された場合、値は 100 よりも小さいままです。

MV Test Type

メディア検証時に実行された検証テストのタイプを示します。たとえば、「Basic Verify」、「Cancel Validation」、「Complete Verify Plus」、「Standard Verify」、「Verify and Rebuild MIR」です。

MV Time Spent Validating

ドライブでレポートされた、メディア検証が実行された合計時間。この時間は、ドライブ上で検証テストが開始されたときに始まり、テストが完了したときに終わります。進行中の検証の場合、値は定期的に更新されます。保留中の検証リクエストの場合、値は Null です。

2.13. N

New Property Effective

新しいプロパティ値が有効になる日時。

New Property Value

プロパティに割り当てられた新しい値。

2.14. P

Partition Name

STA によってパーティションに割り当てられた一意の名前。ライブラリで割り当てられたパーティション番号も含まれます。形式:

Library Complex Name:Partition Type:Partition Number

Partition Number

ライブラリに割り当てられている一意のパーティション ID。パーティション分割されていないライブラリの場合、この値は常に「0」です。パーティション分割されているライブラリの場合、取り得る値は 1-8 です。

Partition Type

ホストとパーティション間の接続タイプ。取り得る値は次のとおりです。

- HLI – HLI (Host Library Interface) プロトコル
- OTHER – システムセル (診断メディアの格納用に使用)。
- SCSI – SCSI プロトコル

Partitions

コンプレックスまたはライブラリで定義されているパーティションの合計数。1 ライブラリあたりのパーティションの最大数は 8、1 コンプレックスあたりの最大数は 16 です。

注:

これには、ユーザー定義のパーティションのみが含まれます。システムパーティション (クリーニングおよび診断メディアの格納用) は、この数に含まれません。

SL8500 コンプレックスのパーティションは、ライブラリ間で拡張可能です。この場合、同じコンプレックス内のライブラリではすべて、パーティション数を同じにする必要があります。たとえば、コンプレックス SL8500_1 に、10 個のライブラリと 4 つのパーティションが

あるとします。「Complexes Overview」画面で、コンプレックス SL8500_1 の「Partitions」値は「4」、「Libraries Overview」画面で、コンプレックス内の 10 個の各ライブラリの「Partition」数も「4」です。

Perm Read Errors

永続的な読み取りエラーの数

Perm Write Errors

永続的な書き込みエラーの数

Permanent Error

交換時に永続的なエラーが発生したことを示します。ドライブファームウェアが TTI 5.4 をサポートしている場合にのみ使用可能です。オプションは「True」または「False」です。

このステータスは、操作上のエラー、不正なドライブ、または不正なメディアが原因で発生する可能性があります。メディア検証の交換では、この値が「True」の場合はほとんど、「MV Result」が「Unknown」です。

Port Speed (Port A)

ライブラリでレポートされたドライブポート A の接続速度。取り得る値は次のとおりです。

- 特定の値 (たとえば、FC-8Gb や SAS-3Gb) — ポートが初期化され、速度が割り当てられていることを示します。
- Auto — ドライブとスイッチ間の速度が自動ネゴシエートされることを示します。
- Unknown — おそらくポートが構成されていないか存在しないため、ライブラリに十分な情報がないことを示します。
- Null — ポートが存在しないことを示します。たとえば、ドライブにポートが 1 つしかない場合、ポート B の値は Null です。

Port Speed (Port B)

ライブラリでレポートされたドライブポート B の接続速度。取り得る値は次のとおりです。

- 特定の値 (たとえば、FC-8Gb や SAS-3Gb) — ポートが初期化され、速度が割り当てられていることを示します。
- Auto — ドライブとスイッチ間の速度が自動ネゴシエートされることを示します。
- Unknown — おそらくポートが構成されていないか存在しないため、ライブラリに十分な情報がないことを示します。
- Null — ポートが存在しないことを示します。たとえば、ドライブにポートが 1 つしかない場合、ポート B の値は Null です。

Property Name

変更されるデバイスプロパティ。

PTP

パススルーポート (PTP) の一意の識別子。SL8500 ライブラリにのみ適用されます。

PTP Alert Count

定義されている STA アラートポリシーに基づいて、この PTP 用に生成されたアラートの合計数。

注:

このフィールドは、この PTP 用のアラートが一覧表示された「Alerts Overview」画面のリストビューにリンクされています。11章「[Alerts](#) 画面」を参照してください。

PTP Count

パススルーポート (PTP) の合計数。SL8500 ライブラリにのみ適用されます。

PTP Ejects

過去 30 日間にわたって、すべてのパススルーポート (PTP) を使用して取り出されたメディアの合計数。SL8500 ライブラリにのみ適用されます。その他のすべてのライブラリでは、「0」が表示されます。

PTP Enters

過去 30 日間にわたって、すべてのパススルーポート (PTP) を使用して挿入されたメディアの合計数。SL8500 ライブラリにのみ適用されます。その他のすべてのライブラリでは、「0」が表示されます。

PTP Identifier

パススルーポート (PTP) の一意の識別子

PTP Physical Address

パススルーポート (PTP) のライブラリ内部アドレス。SL8500 ライブラリにのみ適用されます。形式は l, r, c, s, w です (例: $1, 1, -6, 1, 0$)。ここでは:

- l = ライブラリ番号。パーティション分割されていないライブラリの場合、これはライブラリ ID で、パーティション分割されているライブラリの場合、これはパーティション ID (1-8) です。
- r = レール番号。SL8500 ライブラリの場合、取り得る値は 1、2、3、4 です。
- c = 列番号。PTP の場合、この値は常に -6 です。
- s = 側面番号。PTP の場合、この値は常に 1 です。
- w = 行番号。PTP の場合、この値は常に 0 です。

PTP Power LED State

パススルーポート (PTP) 電源 LED の現在の状態。正常な状況は「ON」です。オプションは「ON」、「OFF」、または「UNKNOWN」です。

PTP SNMP Traps

ライブラリから受信されたパススルーポート (PTP) メッセージの合計数。この数値が突然増加した場合は、調査すべき状況であることを示しています。

PTP State

ライブラリでレポートされた、現在のパススルーポート (PTP) の状態。SL8500 ライブラリにのみ適用されます。たとえば、「READY」です。STA は、1 時間ごとに、およびライブラリから PTP 用の SNMP トラップが受信されたときに、この値を更新します。

2.15. R

R/W MB/sec

アクティブな読み取りおよび書き込みに要した時間に対するスループット率。アイドル時間は除外されます。1秒あたりのメガバイト数で表示されます。StorageTek エンタープライズドライブでのみ使用可能です。

計算方法は次のとおりです。

$$(\text{compressed MB read} + \text{compressed MB written}) / (\text{read time} + \text{write time})$$

R/W Mount Ratio

合計マウント時間に対する読み取りおよび書き込み時間の比率。パーセンテージで表示されます。「1.0」に近い値は、ドライブがマウント全体でアクティブであることを示します。StorageTek エンタープライズドライブでのみ使用可能です。

計算方法は次のとおりです。

$$(\text{read time} + \text{write time}) / \text{total mount time}$$

Read Margin

メディアに残っている誤り訂正符号 (ECC) の読み取りマージンの量。これは、最後のマウント時にドライブでレポートされます。StorageTek T10000A 以上のドライブでのみ使用可能です。パーセンテージでレポートされます。大きい値が望ましいです。

この値がこのドライブタイプ用のしきい値を下回ったことが STA で判断された場合、「Exchange Read Marginal」属性が「Yes」に設定されます。

Read MB/sec

アクティブな読み取りに要した時間に対する読み取り率。アイドル時間は除外されます。1秒あたりのメガバイト数で表示されます。StorageTek エンタープライズドライブでのみ使用可能です。

計算方法は次のとおりです。

$$\text{compressed MB read} / \text{total read time}$$

Read Mount Ratio

合計マウント時間に対する読み取り時間の比率。計算方法は次のとおりです。

$$\text{read time} / \text{total mount time}$$

Received on

STA サーバーがライブラリから SNMP トラップを受信した日時。

Recorded on

交換が開始された日時。

Repositioning Cycles

何らかの原因でメディアが再配置された合計回数。

Repositioning Cycles Non ERP

ERP (エラー回復処理) 以外の理由 (データの超過や不足など) で、メディアが再配置された合計回数。

Request ID

SNMP リクエストの一意の ID。

Result Code

イベントのデバイス結果コード。

Robot

ロボットのシリアル番号

Robot Alert Count

定義されている STA アラートポリシーに基づいて、このロボット用に生成されたアラートの合計数。

注:

このフィールドは、このロボット用のアラートが一覧表示された「Alerts Overview」画面のリストビューにリンクされています。[11章「Alerts 画面」](#)を参照してください。

Robot Count

ロボットの合計数。

Robot Get Retries

ロボットの *get* 再試行の合計回数。

Robot Get Totals

ロボットメディアの *get* アクションの合計回数。

Robot Health

STA で計算されたロボットの現在のヘルス。オプションは「ACTION」、「DEGRADED」、「ERROR」、「EVALUATE」、「MONITOR」、「USE」、「UNKNOWN」です。

注:

この属性は、ライブラリデータの収集が完了したときにのみ更新されます。通常の実行は自動的に実行されます。また、手動によるデータ収集はいつでも開始できます。詳細については、『[STA ユーザーズガイド](#)』を参照してください。

Robot Identifier

ロボットの一意の識別子

Robot Physical Address

ライブラリの内部アドレス。

SL150 ライブラリの場合、形式は *m, s, w, c* です (例: *1, Left, 1, 2*)。ここでは:

- *m* = モジュール番号 (上 (ベースモジュール) から下に、1-10)

- s = 側面 (「*Left*」または「*Right*」)
- w = 行番号 (上から下に、1-3)
- c = 列番号 (前面から背面に、1-5)

SL500 ライブラリの場合、形式は l, m, r, c です (例: $0, 2, 2, 3$)。ここでは:

- l = パーティション分割されていないライブラリの場合、これはライブラリ ID (常に 0) で、パーティション分割されているライブラリの場合、これはパーティション ID (1-8) です。
- m = モジュール番号 (ラックの上から下に、1-5)
- r = ドライブ行番号 (モジュールの上から下に、1-2 (ベースモジュール) または 1-4 (ドライブ拡張モジュール))
- c = 列番号 (ドライブの場合、常に 9)

SL3000 および SL8500 ライブラリの場合、形式は l, r, c, s, w です (例: $1, 1, 2, 2, 3$)。ここでは:

- l = ライブラリ番号。パーティション分割されていないライブラリの場合、これはライブラリ ID で、パーティション分割されているライブラリの場合、これはパーティション ID (1-8) です。
- r = レール番号。SL3000 ライブラリの場合、この値は常に 1 です。SL8500 ライブラリの場合、取り得る値は 1、2、3、4 です。
- c = 列番号。
- s = 側面番号。
- w = 行番号。

Robot Power LED State

ロボット電源 LED の現在の状態。正常な状況は「ON」です。オプションは「ON」、「OFF」、または「UNKNOWN」です。

Robot Put Retries

ロボットメディアの *put* 再試行の合計回数。

Robot Put Totals

ロボットメディアの *put* アクションの合計回数。

Robot SNMP Traps

ライブラリから受信されたロボットメッセージの合計数。この数値が突然増加した場合は、調査すべき状況であることを示しています。

Robot State

ライブラリでレポートされた現在のロボットの状態。オプションは「READY」または「INOPERATIVE」です。この値は、STA によって 1 時間ごとに更新されます。SL3000 および SL8500 ライブラリの場合、さらに、ロボット用の SNMP トラップがライブラリから受信されるときにも、この値が更新されます。

RQI

最後の交換またはメディア検証から計算された、メディア上に残っているエラー修正数の測定値。これは、ドライブとメディアの両方が関与する交換に固有の値です。これと比較すると、STA はドライブの関与を除外するため、Data Quality Index (DQI) の方がメディアの品質に的を絞った測定値です。

RQI はパーセンテージでレポートされます。大きい値が望ましいです。

2.16. S

Severity

イベントの重大度。

Servo Perm Errors

永続的なサーボエラーの数

SNMP Trap

SNMPトラップのタイプ。オプションは次のとおりです。

- CAP
- Drive
- ハートビート
- ライブラリ環境のチェック
- ライブラリのログ
- ライブラリのステータス
- PTP
- SNMP エージェントの起動

STA Start Tracking

「Drives Overview」の場合、STA で最初に、このドライブシリアル番号の追跡が開始された日時。

「Media Overview」の場合、STA で最初に、このボリュームシリアル番号 (VSN または volser) の追跡が開始された日時。複数のメディアで volser が使用されている場合、このフィールドには使用可能なもっとも早い開始日付が反映されます。

STA Stop Tracking

「Drives Overview」の場合、STA で、このドライブシリアル番号の追跡が停止された日時。これは、ドライブシリアル番号がモニター対象のライブラリのいずれにも存在しないことが STA で判断され、ドライブのステータスが「missing」から「removed」に更新された日時です。

「Media Overview」の場合、STA で、このボリュームシリアル番号 (VSN または volser) の追跡が停止された日時。これは、volser がモニター対象のライブラリのいずれにも存在しないことが STA で判断され、volser のステータスが「missing」から「removed」に更新された日時です。

STA Supported

メディアが STA 分析の最小要件を満たしていることを示します。取り得る値は「True」または「False」です。通常、次のメディアタイプの値は「True」です。

- StorageTek T10000T1 以上
- StorageTek 9840
- LTO-3 以上

STA では、この値が「False」になっているメディアが追跡されますが、これらのメディアに関するデータは最小限しか受信されないため、完全な分析は実行できません。

サポートされるメディアについての詳細は、『STA 要件ガイド』を参照してください。

2.17. T**Text**

サブシステムによって送信された、イベントに関する追加テキスト。

Theoretical Maximum Usage Count

クリーニングメディアに対する製造元推奨の使用制限。

注:

一部のメディアおよびドライブタイプでは使用できません。この値が「0」または空白で表示される場合は、使用不可または不明として解釈するようにしてください。

Time Spent Loaded

この交換中に、メディア上のドライブに電圧がある合計時間。メディアの装着に必要な時間は含まれません。

Time Spent R/W

交換時に、ドライブがデータの読み取りおよび書き込みに要した合計時間

Time Spent Reading

交換時に、ドライブがデータの読み取りに要した合計時間

Time Spent Writing

交換時に、ドライブがデータの書き込みに要した合計時間

Total Host Requests

このライブラリまたはコンプレックスで受信されたホストリクエストの合計数。

Trap Type

トラップが関係するエンティティタイプ。次のいずれかです。

- CAP – CAP、AEM、またはメールスロットのステータス
- Drive – ドライブのステータス
- ハートビート
- ライブラリ環境のチェック

- ライブラリのログ
- ライブラリのステータス

2.18. U

Unload Errors

永続的なアンロードエラーの数

Usage Perm Errors

不明な使用エラーの数

Username

イベントに関連付けられた STA ユーザー名。

Volume Serial Number

外部ラベルによってメディアに割り当てられているボリュームシリアル番号 (VSN または volser)。ライブラリで volser が提供されていない場合は、STA によって「*Library Serial Number:Physical Address*」で構成される volser が提供されません。

注:

このフィールドは、このメディアに関する入手可能な詳細がすべて表示された「Media – Overview」画面の詳細ビューにリンクされています。6章「[Media Overview](#)」および「[Media Analysis](#)」画面を参照してください。

2.19. W

WORM/VolSafe Media

メディアで StorageTek VolSafe テクノロジーが使用されているかどうかを示します。メディアがマウントされるまで、STA ではステータスが認識されません。取り得る値は「Yes」または「No」です。空白は不明を示します。

Write Efficiency

距離を通した容量に基づく、交換時の書き込み効率。

Write MB/sec

アクティブな書き込みに要した時間に対する書き込み率。アイドル時間は除外されません。1 秒あたりのメガバイト数で表示されます。計算方法は次のとおりです。

compressed MB written /total write time

Write Mount Ratio

合計マウント時間に対する書き込み時間の比率。計算方法は次のとおりです。

write time /total mount time

「Complexes Overview」画面

「Libraries – Complexes Overview」画面には、選択した1つ以上のライブラリコンプレックスに関連する属性が表示されます。

属性は、次のセクションで構成されています。

- [「タイトル」](#)
- [「Library Complex」](#)
- [「Library Complex Activity Counts \(Last 30 days\)」](#)
- [「Library Complex Auxiliary Counts」](#)
- [「User-Provided Information」](#)

3.1. 「Complexes Overview」詳細ビュー

3.2. タイトル

これらの属性の値は、STA で最初にライブラリコンプレックスの追跡が開始されるときに割り当てられます。

- [Library Complex](#)
- [Monitored since](#)

3.3. Library Complex

ライブラリコンプレックスに関する詳細。同じコンプレックス ID を共有するすべてのライブラリに対して、これらの属性がまとめられます。これらの属性はライブラリから直接取得され、ライブラリ構成データの収集が実行されるたびに更新されます。

- [Library Complex Name](#)
- [Base Model](#)
- [Library Complex Number](#)

- [Complex Physical Library Count](#)

3.4. Library Complex Activity Counts (Last 30 days)

過去 30 日間にわたるコンプレックス内のすべてのライブラリに対するアクティビティの合計回数。これらの値は、交換が完了するたびに更新されます。

- [Dismounts](#)
- [CAP Enters](#)
- [CAP Ejects](#)
- [PTP Enters](#)
- [PTP Ejects](#)
- [Drive Cleans](#)
- [MB Read](#)
- [MB Write](#)
- [MB R/W](#)
- [MB Sent](#)
- [MB Received](#)
- [% Drive Utilization](#)
- [Library Complex Alert Count](#)
- [Host DB Sync Errors](#)
- [Total Host Requests](#)
- [Host Request Timeouts](#)

3.5. Library Complex Auxiliary Counts

コンプレックス内のすべてのライブラリに関するリソースの合計数。サマリーフィールドは、交換が完了するたびに更新されます。アセットフィールドは、ライブラリデータの収集が実行されるたびに更新されます。

- [Partitions](#)
- [Drive Bays Occupied](#)
- [Drive Bays Unoccupied](#)
- [Drive Bays Installed](#)
- [Media Slots Occupied](#)
- [Media Slots Unoccupied](#)

- [Media Slots Installed](#)
- [Media Slots Activated](#)
- [Robot Count](#)
- [CAP Count](#)
- [PTP Count](#)
- [Elevator Count](#)

3.6. User-Provided Information

- [Annotation History](#)

「Libraries Overview」画面

「Libraries – Overview」画面には、選択した 1 つ以上のライブラリに関連する属性が表示されます。

ライブラリの属性は、次のセクションで構成されています。

- [「タイトル」](#)
- [「Library」](#)
- [「Library Activity Counts \(Last 30 days\)」](#)
- [「Library Auxiliary Counts」](#)
- [「User-Provided Information」](#)

4.1. 「Libraries Overview」詳細ビュー

Libraries - Overview Templates: STA-Default

Format: [Icons]

Details for Library 516000200164 Monitored since 2014-03-25 14:42:42

Library		Library Activity Counts (Last 30 days)	
Library Complex Name:	SL8500_51	Library SNMP Traps:	1,131
Library Name:	SL8500-169	Library Alert Count:	1
Library Number:	1	Dismounts:	7,231
Library Model:	SL8500	CAP Enters:	0
Library Serial Number:	516000200164	CAP Ejects:	0
Library WWNN:	50:01:04:F0:00:A0:E4:92	PTP Enters:	0
Last Library Message:	DEGRADED	PTP Ejects:	0
Library Booted:		Drive Cleans:	0
Library Firmware Updated:	2014-03-25 14:42:42	MB Read:	19,090.53
Library Firmware Version:	FRS_8.35	MB Write:	9,545.26
Library IP address #1:	10.80.46.169	MB R/W:	28,635.79
Library IP address #2:		MB Sent:	19,072.50
Library Scan Completed:	2014-03-26 10:08:32	MB Received:	9,536.25
Cumulative Library Uptime:		% Drive Utilization:	0.19%
		Host DB Sync Errors:	0
		Total Host Requests:	14,309
		Host Request Timeouts:	0

Library Auxiliary Counts	
Partitions:	0
Drive Bays Occupied:	32
Drive Bays Unoccupied:	32
Drive Bays Installed:	64
Media Slots Occupied:	80
Media Slots Unoccupied:	1,566
Media Slots Installed:	1,448
Media Slots Activated:	1,450
Robot Count:	8
CAP Count:	1
PTP Count:	0
Elevator Count:	2

User-Provided Information	
Annotation History:	
2014-03-26 16:11:18 by admin-user:	Sample annotation for library SL8500-169.

4.2. タイトル

これらの属性の値は、STA で最初にライブラリの追跡が開始されるときに割り当てられません。

- [Library](#)
- [Monitored since](#)

4.3. Library

ライブラリに関する詳細。これらの属性はライブラリから直接取得され、ライブラリ構成データの収集が実行されるたびに更新されます。

- [Library Complex Name](#)
- [Library Name](#)
- [Library Number](#)
- [Library Model](#)
- [Library Serial Number](#)
- [Library WWNN](#)
- [Last Library Message](#)
- [Library Last Booted](#)
- [Library Firmware Updated](#)
- [Library Firmware Version](#)
- [Library IP address #1](#)
- [Library IP address #2](#)
- [Library Scan Completed](#)
- [Cumulative Library Uptime](#)

4.4. Library Activity Counts (Last 30 days)

過去 30 日間にわたるライブラリに対するアクティビティの合計回数。これらの値は、交換が完了するたびに更新されます。

- [Library SNMP Traps](#)
- [Library Alert Count](#)
- [Dismounts](#)
- [CAP Enters](#)
- [CAP Ejects](#)
- [PTP Enters](#)
- [PTP Ejects](#)
- [Drive Cleans](#)
- [MB Read](#)
- [MB Write](#)

- [MB R/W](#)
- [MB Sent](#)
- [MB Received](#)
- [% Drive Utilization](#)
- [Host DB Sync Errors](#)
- [Total Host Requests](#)
- [Host Request Timeouts](#)

4.5. Library Auxiliary Counts

ライブラリリソースの数。サマリーフィールドは、交換が完了するたびに更新されます。アセットフィールドは、ライブラリデータの収集が実行されるたびに更新されます。

- [Partitions](#)
- [Drive Bays Occupied](#)
- [Drive Bays Unoccupied](#)
- [Drive Bays Installed](#)
- [Media Slots Occupied](#)
- [Media Slots Unoccupied](#)
- [Media Slots Installed](#)
- [Media Slots Activated](#)
- [Robot Count](#)
- [CAP Count](#)
- [PTP Count](#)
- [Elevator Count](#)

4.6. User-Provided Information

- [Annotation History](#)

「Drives Overview」 および 「Drives Analysis」 画面

「Drives – Overview」および「Drives – Analysis」画面には、ドライブに関連する属性が表示されます。StorageTek エンタープライズドライブには 1 セットの属性がありますが、LTO ドライブのセットとはわずかに異なります。

ドライブの属性は、次のセクションで構成されています。

- [「タイトル」](#)
- [「Drive」](#)
- [「Media」](#)
- [「Most Recent Exchange」](#)
- [「Drive Activity Counts \(Last 30 Days\)」](#)
- [「Additional Exchange Information for Enterprise Drives」](#)
- [「Additional Exchange Information for LTO Drives」](#)
- [「Drive Location」](#)
- [「Library Complex」](#)
- [「Media Validation Information for Enterprise Drives」](#)
- [「User-Provided Information」](#)

5.1. 「Drives Overview」詳細ビュー

エンタープライズドライブに関する詳細 (パート 1)

Drives - Overview Templates: STA-Default

Format: [Icons]

Monitored since 2013-04-24 12:28:51

Details for Drive 57600

Drive

- Drive Serial Number: 57600
- Drive Tray Serial Number: UNKNOWN
- Drive WWNN: 50:01:04:F0:00:B0:BE:D3
- Drive Type: T10000c-Enc
- Drive Health: USE
- Drive Health Trend: UNCHANGED
- Last Drive Message: UNKNOWN
- Drive WWPN (Port A): 50:01:04:F0: [Redacted]
- Port Speed (Port A): FC-1Gb
- Drive WWPN (Port B): [Redacted]
- Port Speed (Port B): [Redacted]
- Drive Model: T10000C
- Drive Manufacturer: STK
- Encryption Capable: Yes
- Drive Interface: FIBRE
- Drive Properties Updated: 2014-03-20 14:29:32
- Drive Firmware Version: 1.53.316-5.30
- STA Start Tracking: 2013-04-24 12:28:51
- STA Stop Tracking: [Redacted]

Media

- Volume Serial Number: SG022
- Media Manufacturer Serial Number: 8121860
- Media Health: USE
- WORM/NoSafe Media: No
- Cleaning Media: No

Most Recent Exchange

- Exchange Start: 2014-03-26 11:28:22
- Exchange Elapsed Time: 1:17:05
- Exchange Mount Time: 1:16:46
- Mount R/W MB/sec: 13.01
- Exchange Recording Technique: T10000C
- Drive Exchange Status: GOOD
- Exchange Tape Alerts - Severe: 0
- Exchange Tape Alerts - Warning: 0
- Exchange Tape Alerts - Info: 0
- Data Compression Ratio: 1.01 : 1
- Alert: Drive Load Limit: No
- Drive Suspicion Level: 0.00%
- Exchange Drive Cleaning Required: No
- Meters Between 2 Most Recent Cleans: [Redacted]
- Meters since Last Clean: [Redacted]
- Drive Lifetime Cleans: 0
- Drive Lifetime Loads: 608
- Drive Lifetime Meters: 2,702,979
- Drive Lifetime Power Hours: 11,415

Drive Activity Counts (Last 30 Days)

- % Drive Utilization: 60.01%
- Drive Dismounts: 255
- Drive SNMP Trap Count: 0
- Drive Alert Count: 0
- Dismounts with Errors: 0
- Cleans: 0
- MB Read: 605.65
- MB Write: 15,656,743.89
- MB R/W: 15,657,349.54
- MB Sent: 2,803.65

エンタープライズドライブに関する詳細 (パート 2)

Drives - Overview Templates: STA-Default

Format: [Icons]

MB Received: **21,287,776.95**
 Avg Mount Read MB/sec: **0.00**
 Avg Mount Write MB/sec: **9.75**
 Avg Mount R/W MB/sec: **9.75**
 Avg Mount Read MB: **2.38**
 Avg Mount Write MB: **61,399.00**
 Avg Mount R/W MB: **61,401.40**

Drive Location
 Drive Library Name: **sl3000-175**
 Drive Library Serial Number: **57100**
 Drive Library Number: **1**
 Drive Rail Number: **1**
 Drive Physical Address: **1,1,4,1,2**
 Drive HLI Address:
 Drive SCSI Element ID: **-1**

Library Complex
 Library Complex Name: **SL3000_57100**
 Library Model: **SL3000**
 Partition Type: **HLI**
 Partition Name: **SL3000_57100:HLI:0**
 Partition Number: **0**

Additional Exchange Information for Enterprise Drives
 Exchange FSC:
 Exchange DSC:
 Exchange Write Inefficient: **No**
 Exchange Read Marginal: **No**
 Exchange Write Efficiency: **100.00%**
 Exchange Read Margin: **93.74%**
 Time Spent Reading: **0:00:01**
 Time Spent Writing: **0:04:49**
 Time Spent R/W: **0:04:50**
 Read MB/sec: **0.00**
 Write MB/sec: **207.41**
 R/W MB/sec: **206.70**
 Read Mount Ratio: **0.02%**
 Write Mount Ratio: **6.27%**
 R/W Mount Ratio: **6.30%**
 Exchange Encryption Used: **Encrypted Sun KMS**

Media Validation Information for Enterprise Drives
 MV Calibration Attempts:
 MV Calibration State:
 MV Calibration Information:
 MV Last Calibration DQI:
 MV Calibration Starting Suspicion:
 MV Drive Last Calibrated:
 MV Last Activity: **2014-12-18 13:30:04**
 MV Last Recommendation:
 MV Drive Allocated: **Yes**
 MV Drive Capable: **Yes**
 MV Drive Available: **Yes**
 MV Drive In Use: **No**
 MV Drive Reserved: **No**
 MV Last Qualification Start:
 MV Primary Qualification Start:
 MV Secondary Qualification Start:

User-Provided Information
 Logical Group(s): **EDC Other**
 Annotation History: **None**

LTO ドライブに関する詳細 (パート 1)

Drives - Overview
Templates: STA-Default

Format: [Icons]

Details for Drive 10680

Drive

Drive Serial Number: **106801**
 Drive Tray Serial Number: **unknown**
 Drive WWNN: **50:01:04:F0:00:A0:E4:A2**
 Drive Type: **IbmUltrium5**
 Drive Health: **USE**

Drive Health Trend: **UNCHANGED**
 Last Drive Message: **DEGRADED**
 Drive WWPN (Port A): **50:01:04:F0:00:A0:E4:A3**
 Port Speed (Port A): **FC-8Gb**
 Drive WWPN (Port B): **50:01:04:F0:00:A0:E4:A4**
 Port Speed (Port B): **Auto**
 Drive Model: **LT05**
 Drive Manufacturer: **IBM**
 Encryption Capable: **Yes**
 Drive Interface: **FIBRE**
 Drive Properties Updated: **2014-03-26 10:08:01**
 Drive Firmware Version: **D2AC**
 STA Start Tracking: **2014-03-25 14:46:48**
 STA Stop Tracking:

Drive Activity Counts (Last 30 Days)

% Drive Utilization: **2.45%**
 Drive Dismounts: **2**
 Drive SNMP Trap Count: **30**
 Drive Alert Count: **3**
 Dismounts with Errors: **1**
 Cleans: **0**
 MB Read: **28,635.79**
 MB Write: **9,545.26**
 MB R/W: **38,181.05**
 MB Sent: **28,608.75**
 MB Received: **9,536.25**
 Avg Mount Read MB/sec: **0.44**

Monitored since 2014-03-25 14:46:48

Media

Volume Serial Number: **LT5048**
 Media Manufacturer Serial Number: **AA6ME2**
 Media Health: **USE**
 WORM/VolSafe Media: **No**
 Cleaning Media: **No**

Most Recent Exchange

Exchange Start: **2014-03-26 10:08:05**
 Exchange Elapsed Time: **0:15:17**
 Exchange Mount Time: **0:14:41**
 Mount R/W MB/sec: **10.83**
 Exchange Recording Technique: **LT05**
 Drive Exchange Status: **GOOD**
 Exchange Tape Alerts - Severe: **0**
 Exchange Tape Alerts - Warning: **0**
 Exchange Tape Alerts - Info: **0**
 Data Compression Ratio: **1 : 1**
 Alert: Drive Load Limit: **No**
 Drive Suspicion Level: **0.00%**
 Exchange Drive Cleaning Required: **No**

Meters Between 2 Most Recent Cleans:

Meters since Last Clean:

Drive Lifetime Cleans: **0**
 Drive Lifetime Loads: **7,234**
 Drive Lifetime Meters: **274,976**
 Drive Lifetime Power Hours: **7,935**

Additional Exchange Information for LTO Drives

Alert: Drive Diagnostics Required: **No**
 Drive Lifetime Hours in Motion: **21**
 IBM Drive Efficiency: **0x22**
 IBM Media Efficiency: **0x06**
 HP Device Status:

LTO ドライブに関する詳細 (パート 2)

The screenshot shows the 'Drives - Overview' window with the following data:

Metric	Value
Avg Mount Write MB/sec	0.15
Avg Mount R/W MB/sec	0.58
Avg Mount Read MB	3,181.75
Avg Mount Write MB	1,060.58
Avg Mount R/W MB	4,242.34

User-Provided Information

Logical Group(s): None

Annotation History:
2014-03-26 16:30:02 by admin-user: **Sample annotation for drive 1068002774.**

Drive Location

Drive Library Name: **SL8500-169**
Drive Library Serial Number: **516000200164**
Drive Library Number: **1**
Drive Rail Number: **4**
Drive Physical Address: **1,4,2,1,4**
Drive HLI Address: **3,1,15**
Drive SCSI Element ID: **-1**

Library Complex

Library Complex Name: **SL8500_51**
Library Model: **SL8500**
Partition Type: **HLI**
Partition Name: **SL8500_51:HLI:0**
Partition Number: **0**

5.2. タイトル

これらの属性の値は、STA で最初にドライブの追跡が開始されるときに割り当てられます。

- [Drive](#)
- [Monitored since](#)

5.3. Drive

ドライブのプロパティに関する情報。

- [Drive Serial Number](#)
- [Drive Tray Serial Number](#)
- [Drive WWNN](#)
- [Drive Type](#)
- [Drive Health](#)
- [Drive Health Trend](#)

- Last Drive Message
- Drive WWPN (Port A)
- Port Speed (Port A)
- Drive WWPN (Port B)
- Port Speed (Port B)
- Drive Model
- Drive Manufacturer
- Encryption Capable
- Drive Interface
- Drive Properties Updated
- Drive Firmware Version
- STA Start Tracking
- STA Stop Tracking

5.4. Media

このアグリゲーション期間中または期間前に発生した最近のドライブ交換で使用されたメディアに関する詳細。

- Volume Serial Number
- Media Manufacturer Serial Number
- Media Health
- WORM/VolSafe Media
- Cleaning Media

5.5. Most Recent Exchange

このアグリゲーション期間中または期間前に発生した最近のドライブ交換に関する詳細。

- Exchange Start
- Exchange Elapsed Time
- Exchange Mount Time
- Mount R/W MB/sec
- Exchange Recording Technique
- Drive Exchange Status

- Exchange Tape Alerts – Severe
- Exchange Tape Alerts – Warning
- Exchange Tape Alerts – Info
- Data Compression Ratio
- Alert: Drive Load Limit
- Drive Suspicion Level
- Exchange Drive Cleaning Required
- Meters Between 2 Most Recent Cleans
- Meters since Last Clean
- Drive Lifetime Cleans
- Drive Lifetime Loads
- Drive Lifetime Meters
- Drive Lifetime Power Hours

5.6. Drive Activity Counts (Last 30 Days)

過去 30 日間にわたるドライブに対するアクティビティの合計回数。これらの値は、ドライブが関与する交換が完了するたびに更新されます。

- % Drive Utilization
- Drive Dismounts
- Drive SNMP Trap Count
- Drive Alert Count
- Dismounts With Errors
- Cleans
- MB Read
- MB Write
- MB R/W
- MB Sent
- MB Received
- Avg Mount Read MB/sec
- Avg Mount Write MB/sec
- Avg Mount R/W MB/sec
- Avg Mount Read MB

- [Avg Mount Write MB](#)
- [Avg Mount R/W MB](#)

5.7. Additional Exchange Information for Enterprise Drives

最近のドライブ交換に関する追加の詳細。このセクションは、StorageTek エンタープライズドライブ (9840D や T10000C など) の場合にのみ表示されます。

- [Exchange FSC](#)
- [Exchange DSC](#)
- [Exchange Write Inefficient](#)
- [Exchange Read Marginal](#)
- [Exchange Write Efficiency](#)
- [Exchange Read Margin](#)
- [Time Spent Reading](#)
- [Time Spent Writing](#)
- [Time Spent R/W](#)
- [Read MB/sec](#)
- [Write MB/sec](#)
- [R/W MB/sec](#)
- [Read Mount Ratio](#)
- [Write Mount Ratio](#)
- [R/W Mount Ratio](#)
- [Exchange Encryption Used](#)

5.8. Additional Exchange Information for LTO Drives

最近のドライブ交換に関する追加の詳細。このセクションは、LTOドライブの場合にのみ表示されます。

- [Alert: Drive Diagnostics Required](#)
- [Drive Lifetime Hours in Motion](#)
- [IBM Media Efficiency](#)
- [IBM Drive Efficiency](#)
- [HP Device Status](#)

5.9. Drive Location

ライブラリ内のドライブの場所に関する詳細。これらの属性は、ライブラリデータの収集が実行されるたびに更新されます。

- [Drive Library Name](#)
- [Drive Library Serial Number](#)
- [Drive Library Number](#)
- [Drive Rail Number](#)
- [Drive Physical Address](#)
- [Drive HLI Address](#)
- [Drive SCSI Element ID](#)

5.10. Library Complex

ライブラリデータの収集が最後に完了した時点での、ドライブが配置されているライブラリコンプレックスに関する情報。

- [Library Complex Name](#)
- [Library Model](#)
- [Partition Type](#)
- [Partition Name](#)
- [Partition Number](#)

5.11. Media Validation Information for Enterprise Drives

このドライブに対するメディアの検証およびドライブの補正と制限操作に関する情報。このセクションは、SL コンソールからメディア検証ドライブプールに割り当てられているドライブの場合にのみ表示されます。

- [MV Calibration Attempts](#)
- [MV Calibration State](#)
- [MV Calibration Information](#)
- [MV Last Calibration DQI](#)
- [MV Calibration Starting Suspicion](#)
- [MV Drive Last Calibrated](#)
- [MV Last Activity](#)

- [MV Last Recommendation](#)
- [MV Drive Allocated](#)
- [MV Drive Capable](#)
- [MV Drive Available](#)
- [MV Drive In Use](#)
- [MV Drive Reserved](#)
- [MV Last Qualification Start](#)
- [MV Primary Qualification Start](#)
- [MV Secondary Qualification Start](#)

5.12. User-Provided Information

- [Logical Group\(s\)](#)
- [Annotation History](#)

「Media Overview」 および 「Media Analysis」 画面

「Media – Overview」および「Media – Analysis」画面には、メディアに関連する属性が表示されます。StorageTek エンタープライズメディアには 1 セットの属性がありますが、LTO メディアのセットとはわずかに異なります。

メディアの属性は、次のセクションで構成されています。

- [「タイトル」](#)
- [「Media Details」](#)
- [「Most Recent Exchange」](#)
- [「Media Data Activity Counts \(Last 30 Days\)」](#)
- [「Current Home Media Location」](#)
- [「Drive」](#)
- [「Additional Exchange Information for LTO Media」](#)
- [「Additional Exchange Information for Enterprise Media」](#)
- [「Library Complex」](#)
- [「Cleaning Usage」](#)
- [「User-Provided Information」](#)
- [「Media Validation Information for Enterprise Media」](#)
- [「Calibration Information for Enterprise Media」](#)

6.1. 「Media Overview」詳細ビュー

エンタープライズメディアに関する詳細 (パート 1)

Media - Overview Templates: STA-Default

Format:

Details for Media SG0088 Monitored since 2013-04-24 12:28:55

Media Details	Most Recent Exchange
Volume Serial Number: SG0703	Last Exchange Start: 2014-03-26 11:28:22
Media Type: T10000T2	Exchange Elapsed Time: 1:17:05
Media Long Type: T10000T2	Exchange Mount Time: 1:16:46
STA Supported: Yes	Exchange Library Name: elib19
Media Health: USE	Exchange Recording Technique: T10000C
Media Health Trend: UNCHANGED	Media Exchange Status: GOOD
WORM/VolSafe Media: No	Exchange Tape Alerts - Severe: 0
Media Manufacturer Serial Number: 81218605022	Exchange Tape Alerts - Warning: 0
STA Start Tracking: 2013-04-24 12:28:55	Exchange Tape Alerts - Info: 0
STA Stop Tracking:	Media Suspicion Level: 0.00%
Media Entered Library:	Exchange Drive Cleaning Required: No
Media Ejected from Library:	Media Life Indicator: GOOD
	Media EOL Percentage: 1
	Mount R/W MB/sec: 13.01
	Data Compression Ratio: 1.01 : 1
	Duplicate Detected: No
	Alert: Media Cart Memory Failure: No
	Alert: Media Load Limit: No
Media DATA Activity Counts (Last 30 Days)	Additional Exchange Information for Enterprise Media
Media Dismounts: 12	Media MB Capacity: 5,242,880.00
Dismounts with Errors: 0	Media MB Avail Post: 3,823,620.94
MV Count: 0	Media Capacity Utilization: 27.07%
Media Alert Count: 0	Exchange Encryption Used: Encrypted Sun KMS
MB Read: 881,962.21	Exchange FSC:
MB Write: 111.65	Exchange DSC:
MB R/W: 882,073.86	Permanent Error:
MB Sent: 261.33	Media Blank:
MB Received: 729,043.69	Exchange Write Inefficient: No
Avg Mount Read MB/sec: 0.01	Exchange Read Marginal: No
Avg Mount Write MB/sec: 18.03	Exchange Write Efficiency: 100.00%
Avg Mount R/W MB/sec: 18.04	Exchange Read Margin: 93.74%
	Time Spent Reading: 0:00:01
	Time Spent Writing: 0:04:49
	Time Spent R/W: 0:04:50
	Read MB/sec: 0.00
	Write MB/sec: 207.41
	R/W MB/sec: 206.34
Current Home Media Location	
Media Library Name: elib19	
Media Library Serial Number: 516000100633	
Media Library Number: 1	
Media Rail Number: 1	
Media Physical Address: 1,1,4,1,2	
Media HLI Address:	
Media Slot SCSI Element ID: -1	
Drive	
Drive Serial Number: 57600400	
Drive WWNN: 50:01:04:F0:00	
Drive Type: T10000c-Enc	
Drive Health: USE	

エンタープライズメディアに関する詳細 (パート 2)

Media - Overview Templates: STA-Default

Format: [Icons]

Library Complex Library Complex Name: SL8500_2 Library Model: SL8500 Partition Type: HLI Partition Name: SL8500_2:HLI:0 Partition Number: 0	Read Mount Ratio: 0.02% Write Mount Ratio: 6.27% R/W Mount Ratio: 6.30%
Media Validation Information for Enterprise Media Media Write Efficiency: 100.60 MV DQI: 81.18% MV Days Since Last Validation: 0 MV Last Activity: 2014-03-26 10:49:22 MV Last Test Type: Standard Verify MV Recommendation: Media OK: Continue using.	Cleaning Usage Cleaning Media: No
Calibration Information for Enterprise Media MV Calibration Library Complex: MV Calibration Library SN: MV Calibration Library Model: MV Calibration Drive Type: MV Calibration Drive SN: MV Pool Start Date: MV Pool End Date: MV Last Calibration Date: MV Calibration Initial DQI: MV Calibration Initial Suspicion: MV Calibration Last DQI: MV Last Recording Technique: MV MB Tape Used: MV Calibration Number of Wraps: MV Primary Calibration Media: MV Calibration Current State: MV Calibration Status Information:	User-Provided Information Logical Group(s): EDC-Other Annotation History: None

LTO メディアに関する詳細 (パート 1)

Media - Overview Templates: STA-Default

Format: [Icons] Monitored since 2014-03-25 14:46:59

Details for Media LT5048

Media Details

Volume Serial Number: **LT5048**
 Media Type: **LTO5**
 Media Long Type: **LtoGen5_1500GB**
 STA Supported: **Yes**
 Media Health: **USE**
 Media Health Trend: **UNCHANGED**
 WORM/VolSafe Media: **No**
 Media Manufacturer Serial Number: **AA6ME23RMF**
 STA Start Tracking: **2014-03-25 14:46:59**
 STA Stop Tracking:
 Media Entered Library:
 Media Ejected from Library:

Media DATA Activity Counts (Last 30 Days)

Media Dismounts: **5**
 Dismounts with Errors: **0**
 MV Count: **0**
 Media Alert Count: **0**
 MB Read: **9,545.26**
 MB Write: **28,635.79**
 MB R/W: **38,181.05**
 MB Sent: **28,608.75**
 MB Received: **9,536.25**
 Avg Mount Read MB/sec: **0.00**
 Avg Mount Write MB/sec: **0.00**
 Avg Mount R/W MB/sec: **0.00**

Current Home Media Location

Media Library Name: **SL8500-169**
 Media Library Serial Number: **516000200164**
 Media Library Number: **1**
 Media Rail Number: **4**
 Media Physical Address: **1,4,2,1,4**

Most Recent Exchange

Last Exchange Start: **2014-03-26 10:08:05**
 Exchange Elapsed Time: **0:15:17**
 Exchange Mount Time: **0:14:41**
 Exchange Library Name: **SL8500-169**
 Exchange Recording Technique: **LTO5**
 Media Exchange Status: **GOOD**
 Exchange Tape Alerts - Severe: **0**
 Exchange Tape Alerts - Warning: **0**
 Exchange Tape Alerts - Info: **0**
 Media Suspicion Level: **0.00%**
 Exchange Drive Cleaning Required: **No**
 Media Life Indicator: **GOOD**
 Media EOL Percentage:
 Mount R/W MB/sec: **10.83**
 Data Compression Ratio: **1 : 1**
 Duplicate Detected: **No**
 Alert: Media Cart Memory Failure: **No**
 Alert: Media Load Limit: **No**

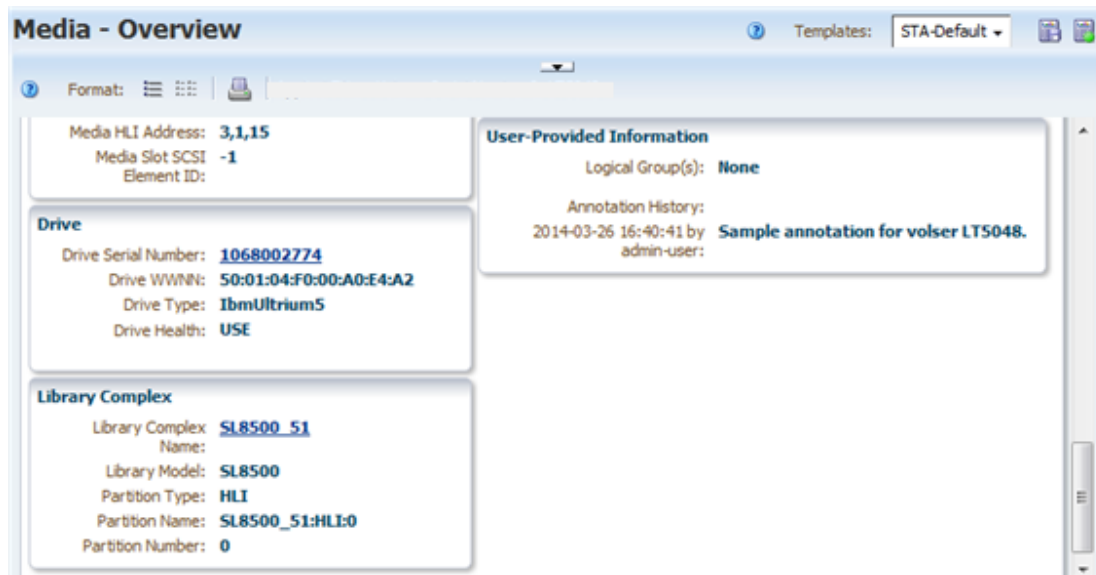
Additional Exchange Information for LTO Media

Media MB Capacity: **1,449,585.00**
 Media MB Avail Pre: **1,440,038.00**
 Media Capacity Utilization: **0.66%**
 IBM Media Efficiency: **0x06**
 HP Media Status:
 Media Length in Meters: **846**
 Media Manufacturer Date: **2010-07-19**
 Media Auxiliary Memory Capacity:
 Alert: Media Directory Corrupt: **No**
 Alert: Media Nearing End of Life: **No**

Cleaning Usage

Cleaning Media: **No**

LTO メディアに関する詳細 (パート 2)



6.2. タイトル

これらの属性の値は、STA で最初にメディアの追跡が開始されるときに割り当てられます。

- [Media](#)
- [Monitored since](#)

6.3. Media Details

データまたはクリーニングメディアに関する詳細。

- [Volume Serial Number](#)
- [Media Type](#)
- [Media Long Type](#)
- [STA Supported](#)
- [Media Health](#)
- [Media Health Trend](#)
- [WORM/VolSafe Media](#)
- [Media Manufacturer Serial Number](#)
- [STA Start Tracking](#)
- [STA Stop Tracking](#)
- [Media Entered Library](#)

- [Media Ejected from Library](#)

6.4. Most Recent Exchange

最近のメディア交換に関する詳細。

- [Last Exchange Start](#)
- [Exchange Elapsed Time](#)
- [Exchange Mount Time](#)
- [Exchange Library Name](#)
- [Exchange Recording Technique](#)
- [Media Exchange Status](#)
- [Exchange Tape Alerts – Severe](#)
- [Exchange Tape Alerts – Warning](#)
- [Exchange Tape Alerts – Info](#)
- [Media Suspicion Level](#)
- [Exchange Drive Cleaning Required](#)
- [Media Life Indicator](#)
- [Media EOL Percentage](#)
- [Mount R/W MB/sec](#)
- [Data Compression Ratio](#)
- [Duplicate Detected](#)
- [Alert: Media Cart Memory Failure](#)
- [Alert: Media Load Limit](#)

6.5. Media Data Activity Counts (Last 30 Days)

過去 30 日間にわたるメディアに対するアクティビティの合計回数。このセクションは、データメディアの場合にのみ表示されます。

- [Media Dismounts](#)
- [Dismounts With Errors](#)
- [MV Count](#)
- [Media Alert Count](#)
- [MB Read](#)

- [MB Write](#)
- [MB R/W](#)
- [MB Sent](#)
- [MB Received](#)
- [Avg Mount Read MB/sec](#)
- [Avg Mount Write MB](#)
- [Avg Mount R/W MB/sec](#)

6.6. Current Home Media Location

最後に交換を完了した時点での、メディアの現在の場所に関する詳細。

- [Media Library Name](#)
- [Media Library Serial Number](#)
- [Media Library Number](#)
- [Media Rail Number](#)
- [Media Physical Address](#)
- [Media HLI Address](#)
- [Media Slot SCSI Element ID](#)

6.7. Drive

最近の交換に関与するドライブに関する詳細。

- [Drive Serial Number](#)
- [Drive WWNN](#)
- [Drive Type](#)
- [Drive Health](#)

6.8. Additional Exchange Information for Enterprise Media

StorageTek エンタープライズメディアの場合にのみ表示されます。

- [Media MB Capacity](#)
- [Media MB Avail Post](#)
- [Media Capacity Utilization](#)

- Exchange Encryption Used
- Exchange FSC
- Exchange DSC
- Permanent Error
- Media Blank
- Exchange Write Inefficient
- Exchange Read Marginal
- Exchange Write Efficiency
- Exchange Read Margin
- Time Spent Reading
- Time Spent Writing
- Time Spent R/W
- Read MB/sec
- Write MB/sec
- R/W MB/sec
- Read Mount Ratio
- Write Mount Ratio
- R/W Mount Ratio

6.9. Additional Exchange Information for LTO Media

LTOメディアの場合にのみ表示されます。

- Media MB Capacity
- Media MB Avail Pre
- Media Capacity Utilization
- IBM Media Efficiency
- HP Media Status
- Media Length in Meters
- Media Manufacturer Date
- Media Auxiliary Memory Capacity
- Alert: Media Directory Corrupt
- Alert: Media Nearing End of Life

6.10. Library Complex

メディアが配置されているライブラリコンプレックスに関する詳細。

- [Library Complex Name](#)
- [Library Model](#)
- [Partition Type](#)
- [Partition Name](#)
- [Partition Number](#)

6.11. Cleaning Usage

- [Cleaning Media](#)

6.12. User-Provided Information

- [Logical Group\(s\)](#)
- [Annotation History](#)

6.13. Media Validation Information for Enterprise Media

メディアに対する最近のメディア検証に関する詳細。StorageTek エンタープライズメディアの場合にのみ表示されます。

- [Media Write Efficiency](#)
- [MV DQI](#)
- [MV Days Since Last Validation](#)
- [MV Last Activity](#)
- [MV Last Test Type](#)
- [MV Last Recommendation](#)

6.14. Calibration Information for Enterprise Media

- [MV Calibration Library Complex](#)
- [MV Calibration Library SN](#)
- [MV Calibration Library Model](#)
- [MV Calibration Drive Type](#)
- [MV Calibration Drive SN](#)

- MV Pool Start Date
- MV Pool End Date
- MV Last Calibration Date
- MV Calibration Initial DQI
- MV Calibration Initial Suspicion
- MV Calibration Last DQI
- MV Last Recording Technique
- MV MB Tape Used
- MV Calibration Number of Wraps
- MV Primary Calibration Media
- MV Calibration Current State
- MV Calibration Status Information

「Robots Overview」画面

「Robots Overview」画面には、1つ以上のライブ러리ロボットに関連する属性が表示されます。

エレベータの属性は、次のセクションで構成されています。

- 「タイトル」
- 「Robot」
- 「Robot Activity Counts (Last 30 Days)」
- 「User-Provided Information」
- 「Library Complex」

7.1. 「Robots Overview」詳細ビュー

Library Components - Robots Overview Templates: STA-Default

Format: [Icons]

Details for Robot 74018716 Monitored since 2014-12-18 09:05:55

Robot	Robot Activity Counts (Last 30 Days)
Robot Identifier: 74018716	Robot Get Totals: 134,282
Robot Physical Address: 1,4,0,1,0	Robot Get Retries: 0
Robot Health: MONITOR	Robot Put Totals: 134,316
Last Robot Message: NORMAL	Robot Put Retries: 136
Robot State: READY	Robot Alert Count: 2
Robot Power LED State: ON	Robot SNMP Traps: 17

Library Complex	User-Provided Information
Library Complex Name: SL8500_53	Annotation History: None
Library Name: sl8500-95	
Library Serial Number: 51600000442	
Library Model: SL8500	

7.2. タイトル

これらの属性の値は、ライブ러리から SNMP トラップを受信するときに割り当てられます。

- [Robot](#)

- [Monitored since](#)

7.3. Robot

ロボットに関する詳細。「Robot STA Health」を除いて、これらの属性はライブラリから直接取得され、ライブラリ構成データの収集が実行されるたびに更新されます。「Robot STA Health」は、STA によって計算された分析結果です。

- [Robot Identifier](#)
- [Robot Physical Address](#)
- [Robot Health](#)
- [Last Robot Message](#)
- [Robot State](#)
- [Robot Power LED State](#)

7.4. Robot Activity Counts (Last 30 Days)

過去 30 日間にわたるロボットに対するアクティビティーの合計回数。これらの値は、関連するアクティビティーが完了するたびに更新されます。

- [Robot Get Totals](#)
- [Robot Get Retries](#)
- [Robot Put Totals](#)
- [Robot Put Retries](#)
- [Robot Alert Count](#)
- [Robot SNMP Traps](#)

7.5. User-Provided Information

- [Annotation History](#)

7.6. Library Complex

ライブラリデータの収集が最後に完了した時点での、ロボットが配置されているライブラリコンプレックスに関する情報。

- [Library Complex Name](#)
- [Library Name](#)

- [Library Serial Number](#)
- [Library Model](#)

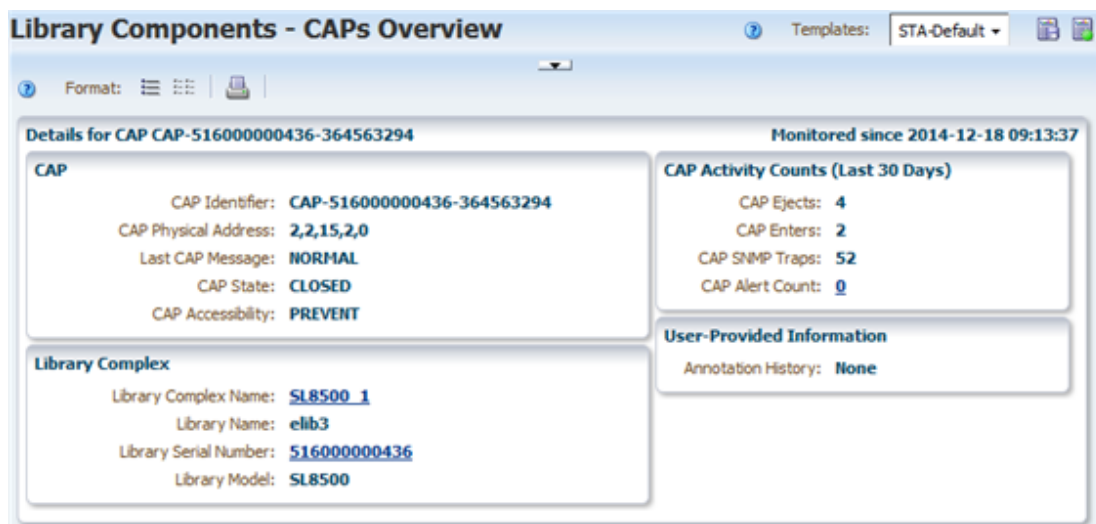
「CAPs Overview」画面

「CAPs Overview」画面には、1つ以上のライブラリ CAP、AEM (Access Expansion Module - SL3000 ライブラリのみ)、またはメールスロット (SL150 ライブラリのみ) に関連する属性が表示されます。

CAP の属性は、次のセクションで構成されています。

- 「タイトル」
- 「CAP」
- 「CAP Activity Counts (Last 30 Days)」
- 「User-Provided Information」
- 「Library Complex」

8.1. 「CAPs Overview」詳細ビュー



8.2. タイトル

これらの属性の値は、ライブラリから SNMP トラップを受信するときに割り当てられます。

- CAP

- [Monitored since](#)

8.3. CAP

CAP に関する詳細。これらの属性はライブラリから直接取得され、ライブラリ構成データの収集が実行されるたびに更新されます。

- [CAP Identifier](#)
- [CAP Physical Address](#)
- [Last CAP Message](#)
- [CAP State](#)
- [CAP Accessibility](#)

8.4. CAP Activity Counts (Last 30 Days)

過去 30 日間にわたる CAP に対するアクティビティの合計回数。これらの値は、関連するアクティビティが完了するたびに更新されます。

- [CAP Ejects](#)
- [CAP Enters](#)
- [CAP SNMP Traps](#)
- [CAP Alert Count](#)

8.5. User-Provided Information

- [Annotation History](#)

8.6. Library Complex

ライブラリデータの収集が最後に完了した時点での、CAP が配置されているライブラリコンプレックスに関する情報。

- [Library Complex Name](#)
- [Library Name](#)
- [Library Serial Number](#)
- [Library Model](#)

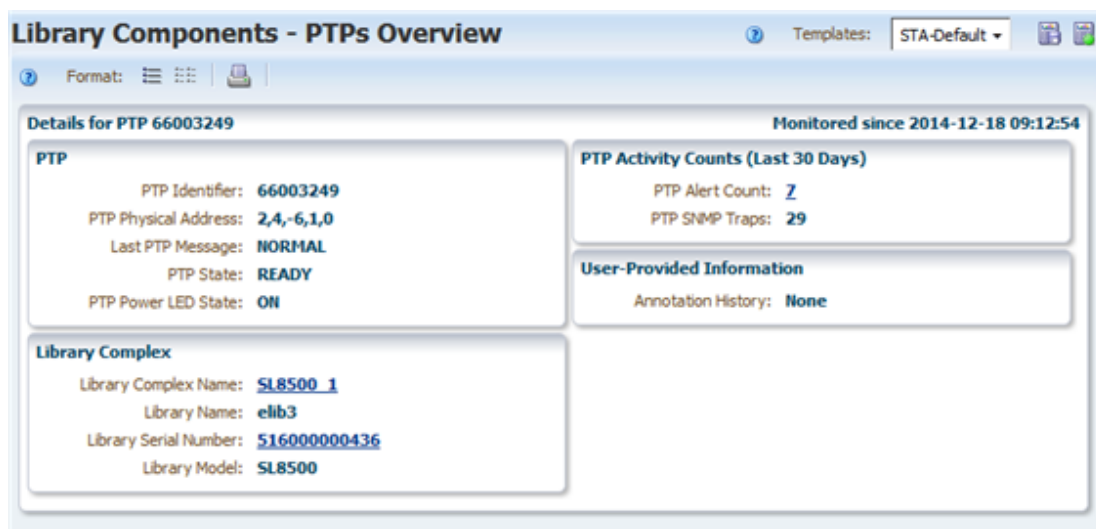
「PTPs Overview」画面

「PTPs Overview」画面には、1つ以上のライブラリ PTP (パススルーポート) に関連する属性が表示されます。SL8500 ライブラリにのみ適用可能です。

エレベータの属性は、次のセクションで構成されています。

- 「タイトル」
- 「PTP」
- 「PTP Activity Counts (Last 30 Days)」
- 「User-Provided Information」
- 「Library Complex」

9.1. 「PTPs Overview」詳細ビュー



9.2. タイトル

これらの属性の値は、ライブラリから SNMP トラップを受信するときに割り当てられます。

- PTP

- [Monitored since](#)

9.3. PTP

PTP に関する詳細。これらの属性はライブラリから直接取得され、ライブラリ構成データの収集が実行されるたびに更新されます。

- [PTP Identifier](#)
- [PTP Physical Address](#)
- [Last PTP Message](#)
- [PTP State](#)
- [PTP Power LED State](#)

9.4. PTP Activity Counts (Last 30 Days)

過去 30 日間にわたる PTP に対するアクティビティの合計回数。これらの値は、アラートが生成され、ライブラリから SNMP メッセージを受信するときに更新されます。

- [PTP Alert Count](#)
- [PTP SNMP Traps](#)

9.5. User-Provided Information

- [Annotation History](#)

9.6. Library Complex

ライブラリデータの収集が最後に完了した時点での、PTP が配置されているライブラリコンプレックスに関する情報。

- [Library Complex Name](#)
- [Library Name](#)
- [Library Serial Number](#)
- [Library Model](#)

「Elevators Overview」画面

「Elevators Overview」画面には、1つ以上のライブラリエレベータに関連する属性が表示されます。SL8500 ライブラリにのみ適用可能です。

エレベータの属性は、次のセクションで構成されています。

- 「タイトル」
- 「Elevator」
- 「Elevator Activity Counts (Last 30 Days)」
- 「User-Provided Information」
- 「Library Complex」

10.1. 「Elevators Overview」詳細ビュー

Library Components - Elevators Overview

Format: [Icons]

Templates: STA-Default

Details for Elevator ELEVATOR-74032842+754889920

Monitored since 2014-12-18 09:02:59

Elevator

Elevator Identifier: **ELEVATOR-74032842+754889920**
Elevator Physical Address: **1,0,54,2,0**
Last Elevator Message: **NORMAL**
Elevator State: **READY**
Elevator Power LED State: **ON**

Elevator Activity Counts (Last 30 Days)

Elevator Alert **0**
Count: **4**
Elevator SNMP Traps: **4**

Library Complex

Library Complex Name: **SL8500_8**
Library Name: **elib6**
Library Serial Number: **516000201238**
Library Model: **SL8500**

User-Provided Information

Annotation History: **None**

10.2. タイトル

これらの属性の値は、ライブラリから SNMP トラップを受信するときに割り当てられます。

- Elevator
- Monitored since

10.3. Elevator

エレベータに関する詳細。これらの属性はライブラリから直接取得され、ライブラリ構成データの収集が実行されるたびに更新されます。

- [Elevator Identifier](#)
- [Elevator Physical Address](#)
- [Last Elevator Message](#)
- [Elevator State](#)
- [Elevator Power LED State](#)

10.4. Elevator Activity Counts (Last 30 Days)

過去 30 日間にわたるエレベータに対するアクティビティの合計回数。これらの値は、アラートが生成され、ライブラリから SNMP メッセージを受信するときに更新されます。

- [Elevator Alert Count](#)
- [Elevator SNMP Traps](#)

10.5. User-Provided Information

- [Annotation History](#)

10.6. Library Complex

ライブラリデータの収集が最後に完了した時点での、エレベータが配置されているライブラリコンプレックスに関する情報。

- [Library Complex Name](#)
- [Library Name](#)
- [Library Serial Number](#)
- [Library Model](#)

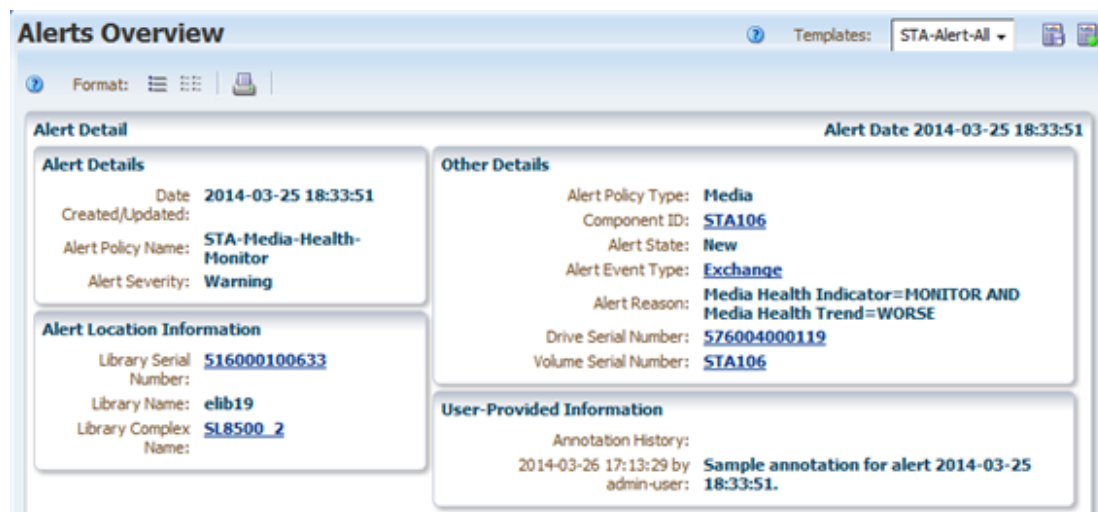
「Alerts」画面

「Alerts Overview」画面には、1つ以上のアラートに関連する属性が表示されます。

アラートの属性は、次のセクションで構成されています。

- [「Alert Details」](#)
- [「Other Details」](#)
- [「Alert Location Information」](#)
- [「User-Provided Information」](#)

11.1. 「Alerts Overview」詳細ビュー



The screenshot shows the 'Alerts Overview' window with the following details:

Alert Detail		Alert Date 2014-03-25 18:33:51	
Alert Details		Other Details	
Date	2014-03-25 18:33:51	Alert Policy Type	Media
Created/Updated:		Component ID:	STA106
Alert Policy Name:	STA-Media-Health-Monitor	Alert State:	New
Alert Severity:	Warning	Alert Event Type:	Exchange
		Alert Reason:	Media Health Indicator=MONITOR AND Media Health Trend=WORSE
Alert Location Information		Drive Serial Number:	576004000119
Library Serial Number:	516000100633	Volume Serial Number:	STA106
Library Name:	elib19		
Library Complex Name:	SL8500_2	User-Provided Information	
		Annotation History:	
		2014-03-26 17:13:29 by admin-user:	Sample annotation for alert 2014-03-25 18:33:51.

11.2. Alert Details

トリガーされたアラートに関する詳細。

- [Date Created/Updated](#)
- [Alert Policy Name](#)
- [Alert Severity](#)

11.3. Other Details

- [Alert Policy Type](#)
- [Component ID](#)
- [Alert State](#)
- [Alert Event Type](#)
- [Alert Reason](#)
- [Drive Serial Number](#) (ドライブまたはメディアのアラートに対してのみ)
- [Volume Serial Number](#) (ドライブまたはメディアのアラートに対してのみ)

11.4. Alert Location Information

- [Library Serial Number](#)
- [Library Name](#)
- [Library Complex Name](#)

11.5. User-Provided Information

- [Annotation History](#)

「Exchanges Overview」画面

「Exchanges Overview」画面には、1つ以上の交換に関連する属性が表示されます。StorageTek エンタープライズメディアが関与する交換には1つのビューがありますが、LTO メディアのビューとはわずかに異なります。

交換の属性は、次のセクションで構成されています。

- [「タイトル」](#)
- [「Exchange Health and Activity」](#)
- [「Drive」](#)
- [「Media」](#)
- [「Library Complex」](#)
- [「Enterprise Specific Information」](#)
- [「Additional Enterprise Exchange Information」](#)
- [「LTO Specific Information」](#)
- [「Drive Bay Location」](#)
- [「Media Source Location」](#)
- [「Media Destination Location」](#)
- [「Enterprise Exchange Alerts – Severe」](#)
- [「Enterprise Exchange Alerts – Warning」](#)
- [「Enterprise Exchange Alerts – Informational」](#)
- [「LTO Exchange Alerts – Severe」](#)
- [「LTO Exchange Alerts – Warning」](#)
- [「LTO Exchange Alerts – Informational」](#)
- [「User-Provided Information」](#)

12.1. 「Exchanges Overview」詳細ビュー

エンタープライズメディア交換に関する詳細 (パート 1)

Exchanges Overview Templates: STA-Default

Format: [Icons]

Recorded on 2014-03-26 11:28:22

Details for Exchange

Exchange Health and Activity

Exchange Start: 2014-03-26 11:28:22
 Exchange End: 2014-03-26 12:45:27
 Exchange Elapsed Time: 1:17:05
 Exchange Mount Time: 1:16:46
 Drive Exchange Status: **GOOD**
 Media Exchange Status: **GOOD**
 Exchange Tape Alerts - Severe: 0
 Exchange Tape Alerts - Warning: 0
 Exchange Tape Alerts - Info: 0
 Mount Read MB/sec: 0.00
 Mount Write MB/sec: 13.01
 Mount R/W MB/sec: 13.01
 Mount Read MB: 0.00
 Mount Write MB: 59,943.00
 Mount R/W MB: 59,943.00
 Mount Sent MB: 6.00
 Mount Received MB: 60,718.00
 Exchange Drive Cleaning Required: **No**
 Current Cleaning Uses:

Enterprise Specific Information

Media MB Capacity: 5,242,880.00
 Media MB Avail Post: 3,823,620.94
 Exchange Write Inefficient: **No**
 Exchange Read Marginal: **No**
 Write Efficiency: 100.00%
 Read Margin: 93.74%
 Time Spent Loaded: 1:16:21
 Time Spent Reading: 0:00:01
 Time Spent Writing: 0:04:49
 Time Spent R/W: 0:04:50
 Read MB/sec: 0.00
 Write MB/sec: 207.41
 R/W MB/sec: 206.70
 Read Mount Ratio: 0.02%
 Write Mount Ratio: 6.27%
 R/W Mount Ratio: 6.30%

Drive

Drive Serial Number: **576004**
 Drive Tray Serial Number: **UNKNOWN**
 Drive WWN: 50:01:04:F0:00
 Drive Type: T10000c-Enc
 Drive Model: T10000C
 Drive Firmware Version: 1.53.316-5.30
 Drive Health: **USE**
 Drive Suspicion Level: 0.00%
 Drive Health Trend: **UNCHANGED**
 Drive Lifetime Cleans: 0
 Drive Lifetime Loads: 608
 Drive Lifetime Meters: 2,702,979
 Drive Lifetime Power Hours: 11,415
 Drive Start Tracking: 2013-04-24 12:28:51
 Drive Stop Tracking:

Media

Volume Serial Number: **SG00**
 Media Type: T10000T2
 Cleaning Media: **No**
 Media Manufacturer Serial Number: 812186050
 Media Health: **USE**
 Media Suspicion Level: 0.00%
 Media Health Trend: **UNCHANGED**
 Data Compression Ratio: 1.01 : 1
 Exchange Recording Technique: T10000C
 Exchange Encryption Used: **Encrypted Sun KMS**
 Duplicate Detected: **No**
 Media Start Tracking: 2013-04-24 12:28:55
 Media Stop Tracking:

Library Complex

Library Complex Name: **SL3000_57100**
 Library Model: SL3000
 Partition Type: HLI
 Partition Name: SL3000_57100:HLI:0
 Partition Number: 0

エンタープライズメディア交換に関する詳細 (パート 2)

Exchanges Overview Templates: STA-Default

Format: [Icons]

Repositioning Cycles: **40**
 Repositioning Cycles Non ERP: **10**

Additional Enterprise Exchange Information

Exchange FSC:
 Exchange DSC:
 Media Blank: **No**
 Media Write Efficiency:
 RQI:
 Permanent Error: **No**
 MV Test Type:
 MV Test Percentage:
 Perm Read Errors: **0**
 Perm Write Errors: **0**
 Servo Perm Errors: **0**
 Unload Errors: **0**
 Usage Perm Errors: **0**
 Drive Lifetime Meters: **496,769**
 Positioning:
 Drive Lifetime Meters of Head Contact: **2,702,979**

Enterprise Exchange Alerts - Severe

Alert: Drive Clean Now: **No**
 Alert: Drive Failure Predicted: **No**
 Alert: Drive Temperature: **No**
 Alert: Media Clean Expired: **No**
 Alert: Media Error: **No**
 Alert: Media Loading Failure: **No**
 Alert: Media Maintenance: **No**
 Alert: Media No Start of Data: **No**
 Alert: Media System Read Failure: **No**
 Alert: Media System Write Failure: **No**
 Alert: Media Unrecoverable Snapped: **No**
 Alert: Permanent Error: **No**

Enterprise Exchange Alerts - Warning

Drive Bay Location

Drive Library Name: **s13000-175**
 Drive Library Serial Number: **57100**
 Drive Library Number: **1**
 Drive Rail Number: **1**
 Drive Physical Address: **1,1,4,1,2**
 Drive HLI Address:
 Drive SCSI Element ID: **-1**

Media Source Location

Media Source Library Number: **1**
 Media Source Rail Number: **1**
 Media Source Physical Address: **1,1,7,2,6**
 Media Source HLI Address:
 Media Source SCSI Element ID: **-1**

Media Destination Location

Media Destination Library Number: **1**
 Media Destination Rail Number: **1**
 Media Destination Physical Address: **1,1,7,2,6**
 Media Destination HLI Address:
 Media Destination SCSI Element ID: **-1**

Enterprise Exchange Alerts - Informational

Alert: Drive Dump Available: **No**
 Alert: Drive Event Log Near Full: **No**
 Alert: Drive Load Limit: **No**
 Alert: Drive Model Incompatible: **No**
 Alert: Media End of Warranty: **No**
 Alert: Media Life Exceeded: **No**
 Alert: Media Load Limit: **No**

エンタープライズメディア交換に関する詳細 (パート 3)

The screenshot displays the 'Exchanges Overview' application window. At the top, the title bar reads 'Exchanges Overview' and includes a 'Templates: STA-Default' dropdown menu. Below the title bar, there is a toolbar with 'Format' and 'Applied Filter: Drive Model Starts With T10' options. The main content area is divided into two panels. The left panel, titled 'Enterprise Exchange Alerts - Warning', lists various alert types and their status, all of which are 'No'. The right panel, titled 'User-Provided Information', shows 'Annotation History: None'. The interface has a light blue header and a white background for the main content area.

Alert Type	Status
Alert: Permanent Error	No
Enterprise Exchange Alerts - Warning	
Alert: Drive Clean Periodic Requested	No
Alert: Drive FW Failure	No
Alert: Hard Error	No
Alert: Load Failure	No
Alert: Media Cart Memory Failure	No
Alert: Media Directory Invalid	No
Alert: Media Lost Statistics	No
Alert: Media MIR Invalid	No
Alert: Media RFID Warning	No
Alert: Read Warning	No
Alert: Write Warning	No

User-Provided Information
Annotation History: None

LTO メディア交換に関する詳細 (パート 1)

Exchanges Overview Templates: STA-Default

Format: [Icons]

Details for Exchange Recorded on 2015-01-07 16:45:17

<p>Exchange Health and Activity</p> <p>Exchange Start: 2015-01-07 16:45:17</p> <p>Exchange End: 2015-01-07 16:46:58</p> <p>Exchange Elapsed Time: 0:01:41</p> <p>Exchange Mount Time: 0:00:31</p> <p>Drive Exchange Status: GOOD</p> <p>Media Exchange Status: GOOD</p> <p>Exchange Tape Alerts - Severe: 0</p> <p>Exchange Tape Alerts - Warning: 0</p> <p>Exchange Tape Alerts - Info: 0</p> <p>Mount Read MB/sec: 0.00</p> <p>Mount Write MB/sec: 0.00</p> <p>Mount R/W MB/sec: 0.00</p> <p>Mount Read MB: 0.00</p> <p>Mount Write MB: 0.00</p> <p>Mount R/W MB: 0.00</p> <p>Mount Sent MB: 0.00</p> <p>Mount Received MB: 0.00</p> <p>Exchange Drive Cleaning Required: No</p> <p>Current Cleaning Uses:</p>	<p>Drive</p> <p>Drive Serial Number: 1068000545</p> <p>Drive Tray Serial Number: Unknown</p> <p>Drive WWNN: 50:01:04:F0:00:A0:E5:29</p> <p>Drive Type: IbmUltrium6</p> <p>Drive Model: LTO6</p> <p>Drive Firmware Version: E6R6</p> <p>Drive Health: USE</p> <p>Drive Suspicion Level: 0.00%</p> <p>Drive Health Trend: UNCHANGED</p> <p>Drive Lifetime Cleans: 0</p> <p>Drive Lifetime Loads: 18,914</p> <p>Drive Lifetime Meters: 988,720</p> <p>Drive Lifetime Power Hours: 1,834</p> <p>Drive Start Tracking: 2014-12-18 09:15:44</p> <p>Drive Stop Tracking:</p>
<p>LTO Specific Information</p> <p>Media MB Capacity: 2,384,185.00</p> <p>Media MB Avail Pre: 2,227,464.00</p> <p>Media Length in Meters: 846</p> <p>Media Manufacturer Date: 2014-02-28 17:00:00</p> <p>Media Auxiliary Memory Capacity: 16,384</p> <p>Formatted Density Code: 90</p> <p>Lifetime Hours Incompatible: 0</p> <p>Drive Lifetime Hours in Motion: 61</p> <p>IBM Drive Efficiency: 0x0A</p> <p>IBM Media Efficiency: 0x01</p> <p>HP Device Status:</p> <p>HP Media Status:</p>	<p>Media</p> <p>Volume Serial Number: 560361</p> <p>Media Type: LTO6</p> <p>Cleaning Media: No</p> <p>Media Manufacturer Serial Number: X140301457</p> <p>Media Health: USE</p> <p>Media Suspicion Level: 0.00%</p> <p>Media Health Trend: UNCHANGED</p> <p>Data Compression Ratio:</p> <p>Exchange Recording Technique: LTO6</p> <p>Duplicate Detected: No</p> <p>Media Start Tracking: 2014-12-18 09:15:47</p> <p>Media Stop Tracking:</p>
	<p>Library Complex</p> <p>Library Complex Name: SL8500_51</p> <p>Library Model: SL8500</p> <p>Partition Type: HLI</p> <p>Partition Name: SL8500_51:HLI:0</p> <p>Partition Number: 0</p>

Drive Bay Location

LTO メディア交換に関する詳細 (パート 2)

The screenshot displays the 'Exchanges Overview' interface with the following sections:

HP Media Status:

LTO Exchange Alerts - Severe

- Alert: Drive Automated Interface: **No**
- Alert: Drive Clean Now: **No**
- Alert: Drive Cooling Fan: **No**
- Alert: Drive Failure Predicted: **No**
- Alert: Drive Hardware A: **No**
- Alert: Drive Hardware B: **No**
- Alert: Drive Interface Fault: **No**
- Alert: Drive Temperature: **No**
- Alert: Media Clean Expired: **No**
- Alert: Media Eject Failed: **No**
- Alert: Media Error: **No**
- Alert: Media Loading Failure: **No**
- Alert: Media No Start of Data: **No**
- Alert: Media Recoverable Mechanical: **No**
- Alert: Media System Read Failure: **No**
- Alert: Media System Write Failure: **No**
- Alert: Media Unrecoverable Mechanical: **No**
- Alert: Read Failure: **No**
- Alert: Unrecoverable Unload: **No**
- Alert: Write Failure: **No**

Drive Bay Location

- Drive Library Name: **sl8500-99**
- Drive Library Serial Number: **516000200164**
- Drive Library Number: **1**
- Drive Rail Number: **2**
- Drive Physical Address: **1,2,1,1,1**
- Drive HLI Address: **1,1,8**
- Drive SCSI Element ID: **-1**

Media Source Location

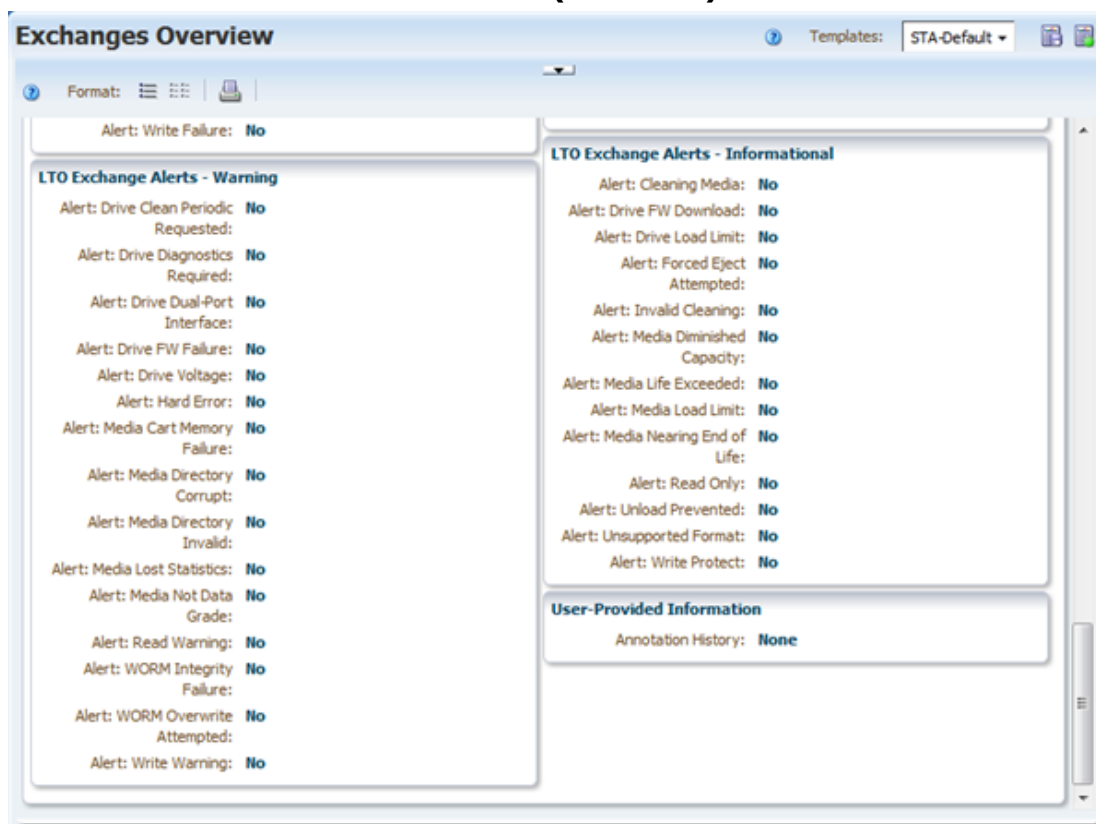
- Media Source Library Number: **1**
- Media Source Rail Number: **2**
- Media Source Physical Address: **1,2,-3,1,2**
- Media Source HLI Address: **1,2,1,0**
- Media Source SCSI Element ID: **-1**

Media Destination Location

- Media Destination Library Number: **1**
- Media Destination Rail Number: **2**
- Media Destination Physical Address: **1,2,-3,1,2**
- Media Destination HLI Address: **1,2,1,0**
- Media Destination SCSI Element ID: **-1**

LTO Exchange Alerts - Informational

LTO メディア交換に関する詳細 (パート 3)



12.2. タイトル

これらの属性の値は、交換の開始時に割り当てられます。

- [Recorded on](#)

12.3. Exchange Health and Activity

交換時のメディアおよびドライブの健全性に関する詳細。

- [Exchange Start](#)
- [Exchange End](#)
- [Exchange Elapsed Time](#)
- [Exchange Mount Time](#)
- [Drive Exchange Status](#)
- [Media Exchange Status](#)
- [Exchange Tape Alerts – Severe](#)

- [Exchange Tape Alerts – Warning](#)
- [Exchange Tape Alerts – Info](#)
- [Mount Read MB/sec](#)
- [Mount Write MB/sec](#)
- [Mount R/W MB/sec](#)
- [Mount Read MB](#)
- [Mount Write MB](#)
- [Mount R/W MB](#)
- [Mount Sent MB](#)
- [Mount Received MB](#)
- [Exchange Drive Cleaning Required](#)
- [Current Cleaning Uses](#)

12.4. Drive

交換に関与するドライブに関する詳細。

- [Drive Serial Number](#)
- [Drive Tray Serial Number](#)
- [Drive WWNN](#)
- [Drive Type](#)
- [Drive Model](#)
- [Drive Firmware Version](#)
- [Drive Health](#)
- [Drive Suspicion Level](#)
- [Drive Health Trend](#)
- [Drive Lifetime Cleans](#)
- [Drive Lifetime Loads](#)
- [Drive Lifetime Meters](#)
- [Drive Lifetime Power Hours](#)
- [Drive Start Tracking](#)
- [Drive Stop Tracking](#)

12.5. Media

交換に参与するメディアに関する詳細。

- [Volume Serial Number](#)
- [Media Type](#)
- [Cleaning Media](#)
- [Media Manufacturer Serial Number](#)
- [Media Health](#)
- [Media Suspicion Level](#)
- [Media Health Trend](#)
- [Data Compression Ratio](#)
- [Exchange Recording Technique](#)
- [Exchange Encryption Used](#) (エンタープライズ交換のみ)
- [Duplicate Detected](#)
- [Media Start Tracking](#)
- [Media Stop Tracking](#)

12.6. Library Complex

交換が発生したライブラリコンプレックスに関する情報。これは、ライブラリデータの収集が最後に完了した時点での最新情報です。

- [Library Complex Name](#)
- [Library Model](#)
- [Partition Type](#)
- [Partition Name](#)
- [Partition Number](#)

12.7. Enterprise Specific Information

交換に参与する StorageTek エンタープライズドライブに固有の情報。エンタープライズドライブが交換に参与する場合にのみ表示されます。

- [Media MB Capacity](#)
- [Media MB Avail Post](#)
- [Exchange Write Inefficient](#)

- Exchange Read Marginal
- Write Efficiency
- Read Margin
- Time Spent Loaded
- Time Spent Reading
- Time Spent Writing
- Time Spent R/W
- Read MB/sec
- Write MB/sec
- R/W MB/sec
- Read Mount Ratio
- Write Mount Ratio
- R/W Mount Ratio
- Repositioning Cycles
- Repositioning Cycles Non ERP

12.8. Additional Enterprise Exchange Information

交換中に発生したエラーに関する情報。StorageTek エンタープライズドライブが交換に関与する場合にのみ表示されます。

- Exchange FSC
- Exchange DSC
- Media Blank
- Media Write Efficiency
- RQI
- Permanent Error
- MV Test Type
- MV Test Percentage
- Perm Read Errors
- Perm Write Errors
- Servo Perm Errors
- Unload Errors
- Usage Perm Errors

- [Drive Lifetime Meters Positioning](#)
- [Drive Lifetime Meters of Head Contact](#)

12.9. LTO Specific Information

交換に関与する LTO ドライブに固有の情報。LTO ドライブが交換に関与する場合にのみ表示されます。

- [Media MB Capacity](#)
- [Media MB Avail Pre](#)
- [Media Length in Meters](#)
- [Media Manufacturer Date](#)
- [Media Auxiliary Memory Capacity](#)
- [Formatted Density Code](#)
- [Lifetime Hours Incompatible](#)
- [Drive Lifetime Hours in Motion](#)
- [IBM Drive Efficiency](#)
- [IBM Media Efficiency](#)
- [HP Device Status](#)
- [HP Media Status](#)

12.10. Drive Bay Location

交換に関与するドライブの場所。

- [Drive Library Name](#)
- [Drive Library Serial Number](#)
- [Drive Library Number](#)
- [Drive Rail Number](#)
- [Drive Physical Address](#)
- [Drive HLI Address](#)
- [Drive SCSI Element ID](#)

12.11. Media Source Location

交換開始時のメディアの場所 (マウント直前の場所)。メディアスロットとドライブの場合があります。

- [Media Source Library Number](#)
- [Media Source Rail Number](#)
- [Media Source Physical Address](#)
- [Media Source HLI Address](#)
- [Media Source SCSI Element ID](#)

12.12. Media Destination Location

交換完了時のメディアの場所。これは、ドライブからのマウント解除直後の最初の場所であるため、常に、交換が発生したときと同じライブラリ内にあります。この場所は、メディアスロットとドライブの場合があります。

- [Media Destination Library Number](#)
- [Media Destination Rail Number](#)
- [Media Destination Physical Address](#)
- [Media Destination HLI Address](#)
- [Media Destination SCSI Element ID](#)

12.13. Enterprise Exchange Alerts – Severe

交換中に発生した重大なエラーに関する情報。このセクションは、エンタープライズドライブの場合にのみ表示されます。

- [Alert: Drive Clean Now](#)
- [Alert: Drive Failure Predicted](#)
- [Alert: Drive Temperature](#)
- [Alert: Media Clean Expired](#)
- [Alert: Media Error](#)
- [Alert: Media Load Failure](#)
- [Alert: Media Maintenance](#)
- [Alert: Media No Start of Data](#)
- [Alert: Media System Read Failure](#)
- [Alert: Media System Write Failure](#)
- [Alert: Media Unrecoverable Snapped](#)
- [Alert: Permanent Error](#)

12.14. Enterprise Exchange Alerts – Warning

交換中に発生した警告エラーに関する情報。このセクションは、エンタープライズドライブの場合にのみ表示されます。

- [Alert: Drive Clean Periodic Requested](#)
- [Alert: Drive FW Failure](#)
- [Alert: Drive Hard Error](#)
- [Alert: Media Load Failure](#)
- [Alert: Media Cart Memory Failure](#)
- [Alert: Media Directory Invalid](#)
- [Alert: Media Lost Statistics](#)
- [Alert: MIR Invalid](#)
- [Alert: Media RFID Warning](#)
- [Alert: Read Warning](#)
- [Alert: Write Warning](#)

12.15. Enterprise Exchange Alerts – Informational

交換中に発生した情報エラーに関する情報。このセクションは、エンタープライズドライブの場合にのみ表示されます。

- [Alert: Drive Dump Available](#)
- [Alert: Drive Event Log Near Full](#)
- [Alert: Drive Load Limit](#)
- [Alert: Drive Model Incompatible](#)
- [Alert: Media End of Warranty](#)
- [Alert: Media Life Exceeded](#)
- [Alert: Media Load Limit](#)

12.16. LTO Exchange Alerts – Severe

交換中に発生した重大なエラーに関する情報。このセクションは、LTOドライブの場合にのみ表示されます。

- [Alert: Drive Automated Interface](#)
- [Alert: Drive Clean Now](#)

- Alert: Drive Cooling Fan
- Alert: Drive Failure Predicted
- Alert: Drive Hardware A
- Alert: Drive Hardware B
- Alert: Drive Interface Fault
- Alert: Drive Temperature
- Alert: Media Clean Expired
- Alert: Media Eject Failed
- Alert: Media Error
- Alert: Media Load Failure
- Alert: Media No Start of Data
- Alert: Media Recoverable Mechanical
- Alert: Media System Read Failure
- Alert: Media System Write Failure
- Alert: Media Unrecoverable Mechanical
- Alert: Read Failure
- Alert: Unrecoverable Unload
- Alert: Write Failure

12.17. LTO Exchange Alerts – Warning

交換中に発生した情報エラーに関する情報。このセクションは、LTOドライブの場合にのみ表示されます。

- Alert: Drive Clean Periodic Requested
- Alert: Drive Diagnostics Required
- Alert: Drive Dual-Port Interface
- Alert: Drive FW Failure
- Alert: Drive Voltage
- Alert: Drive Hard Error
- Alert: Media Cart Memory Failure
- Alert: Media Directory Corrupt
- Alert: Media Directory Invalid
- Alert: Media Lost Statistics

- [Alert: Media Not Data Grade](#)
- [Alert: Read Warning](#)
- [Alert: WORM Integrity Failure](#)
- [Alert: WORM Overwrite Attempted](#)
- [Alert: Write Warning](#)

12.18. LTO Exchange Alerts – Informational

交換中に発生した情報エラーに関する情報。このセクションは、LTOドライブの場合にのみ表示されます。

- [Alert: Cleaning Media](#)
- [Alert: Drive FW Download](#)
- [Alert: Drive Load Limit](#)
- [Alert: Forced Eject Attempted](#)
- [Alert: Invalid Cleaning](#)
- [Alert: Media Diminished Capacity](#)
- [Alert: Media Life Exceeded](#)
- [Alert: Media Load Limit](#)
- [Alert: Media Nearing End of Life](#)
- [Alert: Read Only](#)
- [Alert: Unload Prevented](#)
- [Alert: Unsupported Format](#)
- [Alert: Write Protect](#)

12.19. User-Provided Information

- [Annotation History](#)

「Drive Cleanings Overview」画面

「Drive Cleanings Overview」画面には、ドライブクリーニングの交換に関連する属性が表示されます。

注:

クリーニングメディアには、「CLN」で始まる VOLSER は必要ありません。

属性は、次のセクションで構成されています。

- [「タイトル」](#)
- [「Drive」](#)
- [「Cleaning Activity」](#)
- [「Library」](#)
- [「User-Provided Information」](#)

13.1. 「Drive Cleanings Overview」詳細ビュー

The screenshot shows the 'Drive Cleanings Overview' application window. The title bar includes 'Templates: STA-Default'. The main content area is titled 'Details about a drive clean' and is recorded on '2014-12-24 05:12:47'. It is divided into four sections: 'Drive', 'Cleaning Activity', 'Library', and 'User-Provided Information'. The 'Drive' section lists properties like Drive Type (T10000b), Drive Serial Number (572004011997), Drive WWNN (50:01:04:F0:00:BB:83:CD), Drive WWP (Port A) (50:01:04:F0:00:BB:83:CE), Drive WWP (Port B) (50:01:04:F0:00:BB:83:CF), Drive Health (USE), Exchange Drive Cleaning Required (No), Drive Lifetime Cleans (4), Drive Lifetime Loads (20,173), Drive Lifetime Meters (1,218,639), Drive Start Tracking (2014-12-18 09:13:57), and Drive Stop Tracking. The 'Cleaning Activity' section lists Clean Volume Serial Number (CLN004), Media Health (USE), Meters Between 2 Most Recent Cleans, Current Cleaning Uses (12), Theoretical Maximum Usage Count (50), Alert: Media Clean Expired (No), Exchange Start (2014-12-24 05:12:47), Exchange End (2014-12-24 05:15:39), Exchange Elapsed Time (0:02:52), Exchange Mount Time (0:00:14), Drive Exchange Status (GOOD), Media Exchange Status (GOOD), and Exchange FSC. The 'Library' section lists Library Complex Name (SL8500_8), Library Name (elib6), Library Model (SL8500), Library Serial Number (516000201238), and Library WWNN (50:01:04:F0:00:BB:83:18). The 'User-Provided Information' section shows Annotation History (None).

13.2. タイトル

これらの属性の値は、クリーニングアクションが開始されるときに割り当てられます。

- [Recorded on](#)

13.3. Drive

クリーニングアクションに関与するドライブに関する詳細。

- [Drive Type](#)
- [Drive Serial Number](#)
- [Drive WWNN](#)
- [Drive WWP \(Port A\)](#)
- [Drive WWP \(Port B\)](#)
- [Drive Health](#)
- [Exchange Drive Cleaning Required](#)
- [Drive Lifetime Cleans](#)

- [Drive Lifetime Loads](#)
- [Drive Lifetime Meters](#)
- [Drive Start Tracking](#)
- [Drive Stop Tracking](#)

13.4. Cleaning Activity

ドライブクリーンの交換に関する詳細。

- [Clean Volume Serial Number](#)
- [Media Health](#)
- [Meters Between 2 Most Recent Cleans](#)
- [Current Cleaning Uses](#)
- [Theoretical Maximum Usage Count](#)
- [Alert: Media Clean Expired](#)
- [Exchange Start](#)
- [Exchange End](#)
- [Exchange Elapsed Time](#)
- [Exchange Mount Time](#)
- [Drive Exchange Status](#)
- [Media Exchange Status](#)
- [Exchange FSC](#)

13.5. Library

ドライブクリーンが発生するライブラリに関する詳細が表示されます。

- [Library Complex Name](#)
- [Library Name](#)
- [Library Model](#)
- [Library Serial Number](#)
- [Library WWNN](#)

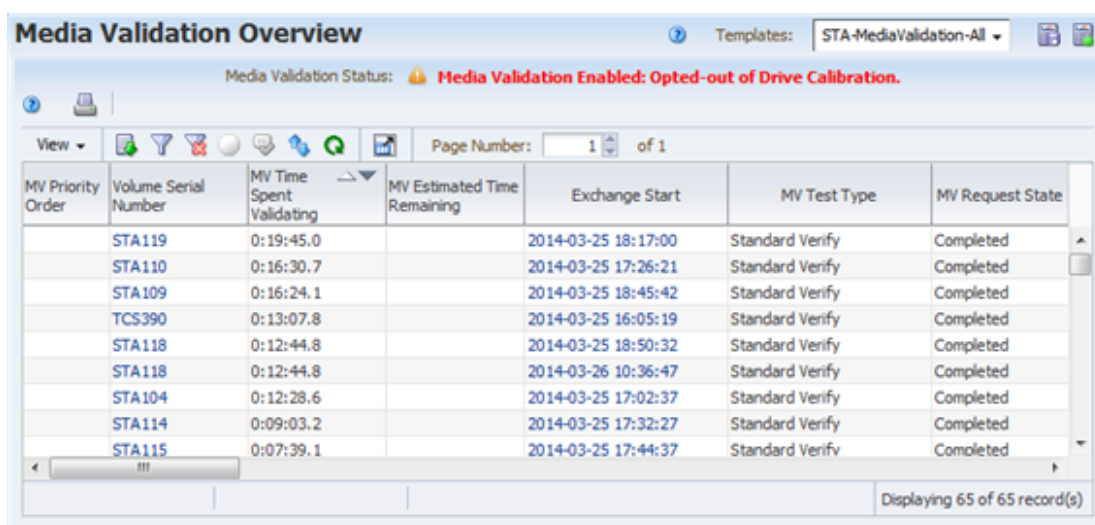
13.6. User-Provided Information

- [Annotation History](#)

「Media Validation Overview」画面

「Media Validation Overview」画面には、メディア検証アクティビティに関する詳細が表示されます。この画面には詳細ビューがありません。

14.1. 「Media Validation Overview」 リストビュー



MV Priority Order	Volume Serial Number	MV Time Spent Validating	MV Estimated Time Remaining	Exchange Start	MV Test Type	MV Request State
	STA119	0:19:45.0		2014-03-25 18:17:00	Standard Verify	Completed
	STA110	0:16:30.7		2014-03-25 17:26:21	Standard Verify	Completed
	STA109	0:16:24.1		2014-03-25 18:45:42	Standard Verify	Completed
	TCS390	0:13:07.8		2014-03-25 16:05:19	Standard Verify	Completed
	STA118	0:12:44.8		2014-03-25 18:50:32	Standard Verify	Completed
	STA118	0:12:44.8		2014-03-26 10:36:47	Standard Verify	Completed
	STA104	0:12:28.6		2014-03-25 17:02:37	Standard Verify	Completed
	STA114	0:09:03.2		2014-03-25 17:32:27	Standard Verify	Completed
	STA115	0:07:39.1		2014-03-25 17:44:37	Standard Verifv	Completed

14.2. 「Media Validation」属性の定義

属性は、STA-MediaValidation-All テンプレート内での出現順序でリストされます。

- MV Priority Order
- Volume Serial Number
- MV Time Spent Validating
- MV Estimated Time Remaining
- Exchange Start
- MV Test Type
- MV Request State
- MV Result

- MV Interrupted
- MV Incomplete
- MV Status Information
- MV Recommendation
- MV DQI
- Permanent Error
- MV Initiator
- MV Policy Name
- Drive Serial Number
- Media Type
- Exchange Recording Technique
- MV Request Start
- MV Test Percentage
- MV Last State Update
- Exchange FSC
- Exchange DSC
- MV Library Error
- Drive Model
- MV Calibration Request
- Library Complex Name
- Media Library Name
- Library Model
- Media Library Serial Number

「Messages」画面

「Messages」画面には、ライブラリから STA が受信する SNMP トラップに関連する属性が表示されます。次の画面には、これらの属性のさまざまなビューが表示されます。

- Libraries – Messages
- Drives – Messages
- Media – Messages
- All Messages – Overview
- All Messages – Analysis

「All Messages – Overview」詳細ビューの属性は、次のセクションで構成されています。

- [「タイトル」](#)
- [「Trap Details」](#)
- [「Drive Trap Details」](#)
- [「Library Trap Details」](#)
- [「Library」](#)
- [「Library Configuration Details」](#)
- [「User-Provided Information」](#)

15.1. 「All Messages Overview」 詳細ビュー

All Messages - Overview Templates: STA-Default

Format: [Icons]

Details for SNMP Trap Library Log Received on 2014-03-26 11:17:04

Trap Details

Trap Type: **Library Log**
 Device State:
 Device Address: **1.1.-2.1.2**

Drive Trap Details

Drive Type: **Stk9840b**
 Drive Vendor: **StorageTek**
 Device Serial Number: **461000027594**

Library Trap Details

Last Library Message: **UNKNOWN**
 Device ID: **KLC 464970G+1243BR0356**
 Device Time: **2015-01-07 06:53:50**
 Username: **default**
 Interface Name: **scsi-eng**
 Device Activity: **1202**
 Request ID: **0**
 Severity: **info**
 Result Code: **0000**
 Text: **2015-01-07T13:53:50.320, 0.0.0.0, 1000, scsi-engine, info, 1202, 0000, task = 0xb64016d0, cdb = 0x55 0xd0 0 0 0 0 0 0x1c 0 0 0 0 0 0, senseKey = 0x5, asc = 0x26, ascq = 0, bitPtr = 0, bpv = 0, command = 0, sksValid = 0x1, fieldPtr = 0x200**
 Agent Boot Date/Time:

Library

Library Complex Name: **SL8500_53**
 Library Complex Number: **53**
 Library Name: **s18500-163**
 Library Model: **SL8500**
 Library Serial Number: **516000000442**

Library Configuration Details

Property Name:
 New Property Value:
 New Property Effective:

User-Provided Information

Annotation History:
 2014-03-26 17:18:23 by admin-user: **2014-03-26 11:17:04**
Sample annotation for message

15.2. タイトル

これらの属性の値は、ライブラリから SNMP トラップを受信するときに割り当てられます。

- [SNMP Trap](#)
- [Received on](#)

15.3. Trap Details

SNMP トラップおよび関与するデバイスのタイプに関する情報を提供します。

- [Trap Type](#)
- [Device State](#)
- [Device Address](#)

15.4. Drive Trap Details

ドライブトラップからの詳細な情報を提供します。

- [Drive Type](#)
- [Drive Vendor](#)
- [Device Serial Number](#)

15.5. Library Trap Details

ライブラリトラップからの詳細な情報を提供します。

- [Last Library Message](#)
- [Device ID](#)
- [Device Time](#)
- [Username](#)
- [Interface Name](#)
- [Device Activity](#)
- [Request ID](#)
- [Severity](#)
- [Result Code](#)
- [Text](#)
- [Agent Boot Date/Time](#)

15.6. Library

SNMPトラップを送信したライブラリに関する情報を提供します。

- [Library Complex Name](#)
- [Library Complex Number](#)
- [Library Name](#)
- [Library Model](#)
- [Library Serial Number](#)

15.7. Library Configuration Details

ライブラリのハードウェア構成の更新トラップに関する詳細な情報を提供します。

- [Property Name](#)
- [New Property Value](#)
- [New Property Effective](#)

15.8. User-Provided Information

- [Annotation History](#)